

第六十五回帝國議會 臨時米穀移入調節法案外二件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
臨時米穀移入調節法案(政府提出)
政府所有米穀特別處理法案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和九年三月十六日(金曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 胎中楠右衛門君

理事山口忠五郎君 理事石川 又八君

理事池田 秀雄君

河野 一郎君 八田 宗吉君

高橋熊次郎君 武田德三郎君

島田七郎右衛門君 田中 貞二君

松山常次郎君 大本貞太郎君

三善 信房君 東 武君

福井 甚三君 野村 嘉六君

高田 松平君 川崎 克君

櫻井兵五郎君 原 淳一郎君

猪股謙二郎君 深水 清君

小山 谷藏君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣子爵 齋藤 實君
兼文部大臣

農林大臣 後藤 文夫君

拓務大臣 永井柳太郎君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 堀切善次郎君

農林政務次官子爵 織田 信恒君

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

農林書記官 田淵 敬治君

拓務政務次官 堤 康次郎君

拓務參與官 木村小左衛門君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

臺灣總督府財務局長 岡田 信君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 朴 春琴君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臨時米穀移入調節法案(政府提出)

政府所有米穀特別處理法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○胎中委員長 開會致シマス、總理大臣並

ニ農林大臣ハ貴族院關係デ本日午前中ハ出

席出來マセヌノデ、拓務大臣並ニ朝鮮、臺

灣總督府ノ政府委員及農林省ノ政府委員ガ

出テ居リマスルカラ、ドウゾ其範圍ニ於テ

御質疑ヲ爲サルコトヲ御願シマス——東サ

ン總理大臣ノ來ルマデ保留サレマスカ

○東委員 私ハ總理大臣農林大臣ガ御出席

ニナツタ時分ニ、少シマダ殘テ居リマスカ

ラ……

○深水委員 私ハ昨日同僚ノ小山代議士カ

ラ農林大臣ト總理ニ御尋シマシタガ、アノ

先ヲ拓務大臣ニモ御尋シタイト思ッテ居リ

マシタガ、昨日小山同僚ノ質問ニ對シマシ

テ——詰リ小山君ノ質問ノ意味ハ、此提出

サレタル法案ニ依リマス、朝鮮、臺灣ノ米

ノ生産者ノ爲ニ内地ノ米ノ生産者ガ犧牲ニ

ナルト云フ、斯ウ云フ質問デアッタノデアリ

マス、ソレニ對シマシテハッカリシタ御答辯

ガナカッタヤウデ、私共モドウモ御答辯ヲ諒

承シ得ナカッタノデアリマス、ソレデ拓務大

臣ニ伺ヒタイノハ、一體朝鮮ナリ臺灣ハ特

別會計デアアル、總テノ事ガ特別會計ニ依ッテ

處理サレテ居ルノデ、獨リ此米ノ問題ノミ

内外ヲ一緒クタニシテ、サウシテ責任ハ單

ニ内地ニ於テ負フト云フコトハ、ドウ考ヘ

テ見テモ不公平デアアル、ソレデドウ考ヘテ

見テモ内地ノ過剩米ハ内地ノ會計ニ於テ處

分シ、外地ノ過剩米ハ外地ニ於テ處分スル

ト云フ途ヲ講ズルノガドウシテモ正當デア

ル、斯ウ思フノデアリマス、此點ニ付テ大

臣ノ御意見ヲ承リタイ

○永井國務大臣 内地ト外地トハ御話ノ通

リニ社會狀態ヲ異ニシテ居リマス、又經濟

狀態ニ於テモ同ジクナイモノガアリマスノ

デ、特殊ノ統制組織ヲ以テ之ニ臨ム必要ガ

アルト云フコトハ、私共モ其通リト存ジマ

ス、併ナガラ内地ト外地トノ同化ヲ出來ル

ダケ促進シテ、兩者ノ間ニ有無相通ズルヤ

ウナ關係ヲ密接ニスルト云フコトハ、是ハ

非常ニ必要ナノデアリマス、隨テ内地ト外

地トノ間ニ存在シテ居リマシタ關稅ノ障壁

ノ如キモノモ、之ヲ撤廢スルコトヲ理想トシ

マシテ、今日ハ其理想ガ著々ト實現サレテ參

リマシタ、内地ト朝鮮トノ間ノ如キモ僅ニ

一三品ヲ餘スノミニナツタノデアリマス、今

日ハ内地ト外地トノ間ノ關稅ノ障壁ヲ撤廢

シテ、有無相通ズルヤウニスルダケデナク、出來得ルナラバ更ニ進ンデ國民同盟ナドデモ常ニ主張シテ居ラレルヤウニ、日滿兩國ノ間ニ於テモ、關稅ノ如キモノハ、出來ルダケ共通ニスルコトガ出來ルモノハ共通ニシテ、サウシテ一ツノ大キナ「ブロック」經濟ヲ建設スルト云フ所ニ進ミタイト考ヘテ居ルノデアリマス、大體ガ其統治方針デアリマスノデ、丁度内地ニ於テソレ「地方ノ事情ニ應ジマシテ、地方獨特ノ行政ヲ行ハナケレバナラヌカラ、府縣ニ自治體ヲ與ヘマシテ、サウシテ自治體ガ府縣獨特ノ地方行政ヲ行ッテ行キマサユナ風ニ、外地モ亦外地ノ社會事情、經濟事情ニ適應シタ獨特ノ行政ヲ行ウテ行クコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマスガ、出來ルダケ全般ヲ通ジテ共通經濟ノ原則ヲ確立シテ行クヤウニスルト云フコトガ、骨子ニナルベキ點ト思フノデアリマス、サウ云フ點カラ内地ノ生産物デ適當ナモノハ之ヲ外地ニモ移出シ、又外地ノ生産物デ適當ナルモノハ、之ヲ内地ニ出來ルダケ自由ニ入レルヤウニシテ行クト云フ原則ハ、必要デアルト思フノデアリマス、ケレドモ内地デ生産スルモノガ同時ニ外地ニ於テモ亦生産サレルトスレバ、調節ノ方法ヲ講ジナイ譯ニハ行カヌ、

又外地ノ生産物ガ内地ニ於テモ生産過剰ニナッテ居レバ、是ハドウシテモ調節シナイ譯ニハ行カナイト思ヒマス、ソコデ此度ハ此ノ全體ヲ通ジテノ需給調節ニ對スル特別ノ方針ガ必要ニナル、斯様ニ考ヘ居ルノデアリマス

○深水委員 御話一應御尤ニ拜聽致シマタガ、私モ朝鮮ニハ十數年行ッテ居リマシタカラ能ク朝鮮ノ事情ハ承知シテ居リマス、臺灣ノ事情モ承知シテ居ル、所デ今申シマシタ有無相通ズルト云フノナラバ、是ハ問題ハナイ、併シ有無相通ズルノデハナイ、現在デハ有餘デ居ルノニ、更ニ又出シテ來ルノダカラ内地ガ堪ラナイ、ソコデ詰リ我が内地ニ於テ米ガ足ラナイ、内地ノ需要ダケノ生産額ガナイ、隨テ米ノ値段ガ非常ニ暴騰シテ消費者ガ困ル、サウ云フ時ハ朝鮮カラ持ッテ來ルノハ結構ダガ、現在ノヤウニ有餘デ暴落ノ形ニアル、非常ナ負擔ヲ内地ノ者ニ課セナケレバナラヌト云フ時代ニハ、有無相通ズルト云フヤウナコトハ適用サレナイ、ソコデ今仰シヤイマシタ調節ト云フコトガ出デ、根本的ノ解決ヲヤル考デアルト、斯ウ云フ御話ガアリマシタガ、ソレナラバ結構デスガ、確ニサウ云フ決心デ今回ハ出來ナカッタガ、近キ將來ニ於テ徹底的

ニ調節ノ根本方策ヲ御出シニナルト云フ御言明ナラバ用捨ガ出來ル、併シ唯今日ヲ糊塗シテ、今日斯ウ云フ風ニナッテ居ルカラ、斯ウ云フ姑息ノ臨時案デ濟マシテ行クト云フナラバ中々承知ガ出來ナイ、斯ウ思フノデス、今配付サレマシタ米穀要覽ト云フモノヲ拜見致シマス、臺灣ノヤウナ處デモ蓬萊米ヲ植付ケテ居ル面積ト云フモノハ、著シク年々増加シテ居ル、昭和五年頃デアリマス、十三萬五千二百三十七甲ニナッテ居リマスガ、モウ昭和六年ニナリマス、約一萬二千以上ノ甲數ガ殖エル、更ニ昭和七年ニナリマス、十九萬三千九百四十一甲ト云フノデアリマスカラ、昭和五年ニ較ベマスト約五萬甲モ殖エテ居ル、斯ウ云フ形デアリマス、朝鮮デ見マシテモ、段々毎年殖エテ居ル、是ハ私ハ六十三議會ノ頃モ一寸農林大臣ニハ質問シタ事デアリマスガ、斯ノ如ク臺灣、朝鮮ニ於テ内地ニ移入スベキ米ノ栽培ガ殖エテ行クト云フコトニナッテ來マス、是ハ途轍モナイコトニナル、其時モ私が質問シマシタヤウニ、此位デ早ク止メテ、サウシテ是カラ先ハ蓬萊米ノ栽培ヲ擴大シナイヤウナコトニ出來ナイカト云フヤウナ質問ヲシタコトガアリマスガ、ソレト同ジコトニ、姑息ノ方法ヲ講ジテ一時

遁レヲシテ行ク以上ハ、臺灣モ朝鮮モ毎年毎年此米ノ栽培反別ト云フモノガ殖エテ行クト云フコトニナルガ、是ハ非常ナ事ニナルト思フノデアリマス、先般拓務大臣ノ御演說ノ中ニ斯ウ云フ事ガアッタト思フ、其演說ノ中ニ、朝鮮ニハ棉花ガ適當デアルカラ、棉花ノ方ヘ振向ケル、棉花ノ方ヘ轉向サセル、斯ウ云フヤウナ方針デアルト云フ御演說ヲ聽イテ居ルノデアリマスガ、此姑息ノ方法ノ爲ニ、其轉向ドロコデハナイ、却テ此情勢ハ増大シテ、詰リ米ヲ増産スルト云フ方ニコソ進ンデ行キマスガ、此米ヲ廢メテシマッテ、サウシテ棉花ト云フ方ニ轉向スルト云フコトハ中々困難ナコトニナリハセヌカト、斯ウ思フノデアリマス、轉向サセルナラバ矢張此處デ日本ニ對スル移入ト云フモノガ不可能デアル、從來ノヤウニ勝手氣儘ニ移入ハ出來ナイト云フ制裁ガ出來マス、自ラ拓務大臣ノ御方針ノ轉向ト云フコトガ容易ニ出來ルト思フノデアリマス、併シ内地ヘドン／＼出シテ宜イ、米ヲ作ッテモ作ルダケノモノガ捌ケルト云フコトニナッテ來ルト、折角ノ御方針ノ轉向ト云フモノハ、根本カラ壞レシマヒハセヌカト斯ウ思フノデアリマス、此點ヲドウ云フ風ニ拓務省ハ御考ヘニナルカ伺ヒタイト思ヒマス

○永井拓務大臣 御承知ノ通りニ内地ニ於

テハ、米ノ生産ハ大體ニ於キマシテ、矢張内地ノ需要供給ニ應ジテ、之ヲ調節スルヤウニ指導サレテ居ッタノデアリマス、御承知ノ通りニマダサウ以前ノコトデアリマセヌケレドモ、内地デ米ガ供給不足デアルト云フ場合ニハ、産米増殖計畫ヲ立テ、サウシテ之ヲ實行サセタ、其時ニハ寧ロ補助金ヲ與ヘテ盛ニ増殖サセマシタ、併シ今日ハ内地ニ於キマシテモ非常ニ豐作デアッテ、供給過剰ニナッテ居ル、ソコデ出來ルダケ其供給ヲ今度ハ制限シタイ、斯ウ云フヤウナ事ニナッタノデアリマスガ、併ナガラ内地ニ於ケル米穀ノ過剰ノ此現狀ガ、是カラ後又ドウ云フ程度ニ繼續スルモノデアルカト云フコトハ、是ハ中々觀察ハムヅカシイト思ヒマス、ソコデ米ノ生産ヲ主要ノ生活ノ基礎ニシテ居ル者ニ、絶エズ内地ノ需要供給ノ關係ニ應ジテ、或ハ増加サセ、或ハ減ジテ行クト云フコトハ、是ハ餘程慎重ニヤラナケレバナラヌ、屢々之ヲ變更サセルト、外地ノ者ノ生活ニ非常ナ影響ヲ受ケテ來ルノデアリマス、併シ政府ト致シマシテハ、棉花ノ需要ト云フモノハ、是ハ今日ハ國際貸借ノ關係カラ申シマシテモ、内地ノ生産狀態カラ申シマシテモ、是ハマダ需要ガ繼續シテ行

クモノデアルト思ヒマス、米ハ今申上ゲタヤウニ、稍、不定ノ狀態ニナッテ來タノデアリマスカラ、ソコデ棉花ノ獎勵ヲスルト云フコトニナッテ來レバ、生産者ニ對シテモ、安定ヲ與ヘルコトガ出來ルデアラウシ、又國策トシテ考ヘテ見テモ、ソレハ有意義ナコトデアルト考ヘマスノデ、政府ハ是非共棉花ノ代作ヲ獎勵シタイト斯様ニ考ヘマシテ、サウシテ從來ノ産米増殖計畫ヲ産棉増殖計畫ニ實ハ變更シタ譯デアリマス、併シソレト同時ニ此米ノ過剰ノ狀態ガ尙ホ繼續スルモノデアレバ、是ハ一層進ンデ是カラノ産米増殖計畫ヲ産棉増殖計畫ニ變ヘルダケデナク、現在米作ヲシテ居ル田モ、之ヲ棉花ノ栽培ニ變更シテ行クト云フコトヲ、ヤハリ計畫モシ、獎勵モシテ行カナケレバナラスト斯様ニ私ハ考ヘマシテ、實ハ政府ノ方デハ色々具體的ナ案ヲ立テ、見タノデアリマス、見タノデアリマスガ、曩ニ總理大臣又ハ農林大臣カラモ御話ニナリマシタヤウニ、一年間ハ兎ニ角今ノ過剰米ノ供給ヲ一時調節シテ置イテ、其間ニ尙ホ一層權威アル人々ヲ集メテ、モット徹底シタ米穀對策ガ出來ルナラバ、ソレニ移ッタ方ガ宜シイカラ、兎ニ角其案ノ實行ハ姑ク見合セタ方ガ宜カラウト云フコトデ、今ノ棉花ノ問題現

在米田ニナッテ居ルモノヲ棉田ニ代ヘルト云フコトニ付テノ計畫モ、尙ホソレト並行シテ姑クモット調査ヲ進メルト云フコトニシテ居リマス、政府ト致シマシテハ、兎ニ角外地ヲ通ジマシテ、オ互ニ扶ケ助ケラレテ行ク關係ヲ深メテ行キタイト、實ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、内地ニ於テ米ノ生産ガ過剰ニナッテ困ッテ居ルニ拘ラズ、外地ガソレニ無頓著ニ米ノ生産ヲ増加シテ行クト云フヤウナコトハ、是ハ斷ジテ爲スベキコトデナイト私共ハ考ヘテ居リマス、其方針デ總テ外地ニ於ケル米ノ生産ノ統制モ考慮シテ行クト云フ積リデゴザイマス

○深水委員 大分御話ハ分リマシタガ、併シ今ノ御答辯ノ中ニ、都合ニ依ッテ栽培物ヲ變ヘテ行クト云フコトガアリマシタガ、私ハ實際ノ計畫カラ云ヒマス、今年ハ棉ヲ植エタ、來年ハ米ヲ植エタト云フ風ニ、實際的ニハ行カナイト思フノデアリマス、ソレデ大所高所カラ割出シテ、此問題ハ解決ヲ願ハナケレバイケナイト斯ウ第一思ヒマス、ソレカラモウ一ツ拓相ニ非常ニ訴ヘテ見タイト思フノデアリマスガ、既ニ同僚ノ諸君カラ本會議デモ、或ハ昨日ノ委員會デモ、此内地ニ於ケル所ノ農村ノ狀況ヲ訴ヘテ居ル、詰リ現在ノ内地ニ出來マス

所ノ米デ、丁度内地ハ賄ハレルヤウニナッテ居ル、併シソレニ朝鮮ト臺灣カラ移入米ガアル爲ニ、斯ウ云フ詰リ過剰米ガ出來テ、國家モ背負切レヌヤウナコトニナッテ、統制法ニ依ッテ、十一億五千萬圓ト云フヤウナ巨大ナ金マデモ捻出セネバナラスト云フヤウナコトニナッテ、非常ニ困ッテ居ル、之ヲ一方カラ申シマス、詰リ鮮鮮ヤ臺灣ハ分家デアッテ、日本ハ本家デアル、分家バカリ榮エテモ本家が潰レタラ何ニモナラナイノデアル、其分家ガ本家ヲ強クスルト云フコトハ、即チ分家モ強クナルト云フ結論ニナルノデアル、此高所大所カラ問題ヲ著眼シテ、ドウシテモ徹底的ニ朝鮮或ハ臺灣ニ於ケル所ノ減反、或ハ即チ栽培物ノ轉向ト云フコトヲ一日モ早ク實行スル御氣分ニナラナケレバ、私ハ内地ニ於ケル所ノ今日ノ非常ナ財政ノ困難、殊ニ農村ノ血眼ノ叫ビト云フモノハ、消エルコトガ出來ナイト思フ、一步誤ルト非常ナ事態ヲ惹起ス、實際私共農村ニ關係シテ知ッテ居リマスガ、ソレハ非常ナモノデアル、其非常ナ狀態、疲弊困憊ノ極ドシナ事ガ起ルカモ知レヌト云フ原因ガ、詰リ外地米ノ移入ト云フコトニアル以上ハ、普通ノ考デナク、所謂本家ノ危急存亡ダト云フ考カラ、分家ガソコハ徹底的ナ自

省ヲシナケレバ、今日ノ此危急存亡ノ時期ト云フモノハ救ハレヌト思フノデアリマス、研究シテドウ斯ウト云フヤウナ生溫イコトデハナクテ、思切ッテ拓務省ガ斯ウ云フ案デ

ナクテ、モウ少シ徹底シタ、外米ノ移入ヲ以テ内地ノ米價ヲ下落サセルヤウナ、今日ノヤウナ状態ニシナイコトヲ御考ヘニナッテ、サウシテ更ニ自己ノ御主張デアル此栽培物ノ轉向ト云フコトニ、強ク御進ミニナラナカッタコトヲ非常ニ遺憾トシマス、是ハ斯ウシテ一日々々ヲ姑息ノ方法デ年々進ンデ行キマスルト、殊ニ今度ノ法案デモ通りマスト、臺灣モ更ニ栽培ガ殖エル、朝鮮モ亦殖エル、サウシテ益、移入米ハ多クナリ、國家ノ負擔即チ統制ノ爲ニ要ル金ト云フモノハ、十一億五千萬圓ナラマダ宜イケレドモ、又三億圓、四億圓ト繼タシテ行カナケレバナラヌヤウニナッテ來ルコトハ、明ナコトデアルト思フ、是ハ焦眉ノ急デアル、實ニドウモ残念ナコトヲシタ、拓務省ガ御分リニナラナケレバ別問題デアルケレドモ、既ニ氣ガ付テ居ラレコトハ今ノ御話デモ分ッテ居ル、ドウシテモ朝鮮、臺灣ニ於ケル所ノ事情カラシテ、内地ヲ苦シメテハナラヌカラ、早く對策ヲシナケレバナラヌト云フ氣ノ付イテ居ル拓務省トシテハ、何故一步

進ンデ今回此機會ニ於テ徹底的ノ、即チ自己ノ方針ニ猛進セラレナカッタコト云フコトヲ私ハ遺憾ニ存ジマス、是ダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

○池田委員 チョット私ハ簡單ニ御尋シタイ事ガアリマス、ソレハ今日米穀問題ト云フモノヨリモ、將來ニ互ッテ長ク此米穀問題ヲ論ズル基礎事實ト云フモノハ、先日來繰返シ繰返シ論議サレテ居リマスル朝鮮ノ米ノ生産費問題デアリマス、是ハ委員全體ノ空氣ヲ見マスレバ、朝鮮ノ生産費ガ如何ニモ高過ギルト云フ疑惑ガ行互ッテ居ルヤウニ思ヒマスガ、私ハ之ニ付テ私自身ノ意見ハ申シマセヌ、只今拓務大臣ノミナラズ、朝鮮ノ事務當局ノ方モ見エテ居ラレマスカラ、私ハ敢テ拓務大臣ニ此説明ヲ求メル譯デモアリマセヌ、事務當局ノ方デモ結構デアリマス、之ニ付テ私ハ淡白ニ一ツ此朝鮮ノ生産費ニ付テ詳細ナル御説明ヲ承リタイ、疑惑ノ中心ハ何處ニアルカト申シマスレバ、全體ニ互ッテ居リマスルケレドモ、最モ主ナル疑惑ヲ懷カレテ居ルノハ、勞賃ノ點、農舍ノ點、公課ノ點、是等ノ點ガ、最モインチキガアルデハナイカト云フヤウニ思ハレテ居ルノデゴザイマス、之ヲ明白ニ一ツ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○永井國務大臣 池田君ノ御質問ニ對シマシテハ、朝鮮ノ事務當局カラ詳細御説明申上ゲタ方ガ宜カラウト存ジマスガ、其前ニ一言申添ヘテ置キタイと思ヒマスガ、先月來屢、申上ゲマシタヤウニ、從來ハ總督府ノ調査シタ朝鮮米ノ生産費ト云フコトノ出來ル程ノモノガ、調査サレテ居ナカッタノデアリマシテ、追々米穀問題ガ其重要性ヲ加フニ當リマシテ、ドウシテモ生産費ニ對シテ必要デアルト云フ考カラ、此度農林省デ生産費ヲ調査サル、項目ヲ基準ニシテ、朝鮮ニ於テモ生産費ノ調査ヲシタノデアリマス、從來ヨリハ最モ整ウタ方法デ調査シタノデアリマスカラ、朝鮮ノ米穀問題ヲ御論議ニナル時ニ、一番參考ニナルグラウト思ッテ御手許ニ出シタ譯デアリマス、併シ前ニモ申上ゲマシタヤウニ、是ハ決シテ完璧ナモノデアルトハ思ッテ居リマセヌ、尙ホ一層ノ完璧ヲ期セバナラヌト思ヒマスノデ、引續イデ調査ヲスルコトニシテ、其經費モ御審議ヲ願ッテ居タノデアリマスガ、此度ハ臨時米穀移入調節法ニ基イテ、尙ホ一層ノ大規模ノ需給關係ノ調節ヲスルコトニナリマシタノデ、其調査ノ範圍モ從來ヨリハ尙ホ一層擴大シマシテ、特ニ經費ヲ増額シテ

デモ徹底的ニ生産費ノ調査ヲシテ見タイ、サウシテ出來ルダケハ完璧ヲ期シタイト思ッテ居ルノデアリマス、今日ノモノハ必シモ之ヲ以テ完全デアルト云フ譯ニハ行キマセヌ、尙ホ一層完璧ヲ期シタイト思ッテ居ル次第デアリマスカラ、其點ハ十分御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○胎中委員長 池田君ニ一寸御尋致シマスガ、政府委員カラ事務的ノ説明ヲ今直グ御急ギデアリマスカ、サモナケレバ、成ベクナラバ他ニモ拓相ニ直接御答辯ヲ願ヒタイト云フ質問者モアリマスガ、ドウデゴザイマスカ

○池田委員 私ノハ何時ノ機會デモ宜シウゴザイマス

○胎中委員長 ソレデハ三善君

○三善委員 深水君ノ質問ニ對シテ拓相ノ御答辯ガアリマシタノニ關聯致シマシテ、簡單ニ質問致シタイ、内地外地ノ米ノ需給ヲ調節スルコトニ付テ、拓相ハ、常ニ内地外地共ニ共存共榮ノ實ヲ擧ゲナケレバナラヌ、此爲ニハ朝鮮臺灣等ニ於テモ相當ニ考慮シテ行カネバナラヌ、或ハ消費ノ増進ヲ圖リ、或ハ生産ト云フ方面ニ付テモ代用作トカ、或ハ或ル程度ノ統制モシナケレバナラヌト云フ意味ノ御言明ガ屢、アッタノデアリマスガ、私ガ先般本會議場ニ於テモ質問致シマシタ通りニ、拓相

ノ申サレル事ト、朝鮮總督府ガ考ヘテ居ル事トガ矛盾シテ居リハシナイカト思フノデアリマス、ソレハ先般モ申上ゲマシタヤウニ、朝鮮ノ農林局ノ發行ノ本ニ、内地ニ米ガ不足シテ居ル、供給不足ノ状態デアルカラ、朝鮮ノ農業ハ有利デアルカラ、米ヲ作ッテ内地ニ供給シナケレバナラス、斯ウ云フヤウナコトド、増産ヲシナケレバナラスト云フ意味ガ明ニナッテ居リ、又消費ヲ節約シナケレバナラスト云フヤウナ事モ現レテ居ルヤウデアリマス、是ハ拓務大臣ガ屢、議會ニ言明セラレテ居ル事ト非常ニ喰違ッテ居ルヤウデアリマス、只今亦深水君ニ御答辯ニナッタ點ニ付テモ、非常ニ是トハ相違ガアルヤウデゴザイマスガ故ニ、此點ヲ明ニシテ置キタイト思フノデアリマスルガ、一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○永井國務大臣 三善君カラ御尋ノ事ハ一應御尤ニ存ジマスガ、私ノ申上ゲマシタ從來ノ方針ハ、朝鮮總督府ニ於キマシテモ今日ハ全然一致シタ意見ニナッテ居ルノデアリマス、實ハ色々外地自體ニ於キマシテモ、今日ノ内地ニ於ケル米ノ生産過剩ノ状態ニ適應シタ政策ヲ執ラナケレバナラスト云フコトニ付テ、協議ヲ致シマシタ時モ、拓務省ト朝鮮總督府ノ首腦部ガ寄合ッテ相談ヲシタ

ノデアリマスガ、産米増殖計畫ヲ打切ッテ、一ツ産棉増殖計畫ヲヤラウト云フコトニモ、朝鮮總督府ハ全然同意ヲ致シマシタ、既ニ産米増殖計畫ハ打切ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ又現在米田ニナッテ居ルモノヲ、或ハ棉花ノ栽培ニ變ヘルト云フヤウナコトモ、米ノ生産ヲ調節スル一ツノ方法デアルト云フコトニ付キマシテ、同ジヤウニソレヲ認識シテ、研究ヲ進メテ居ルノデアリマス、ソレカラ又此度移入調節法ニ依ッテ農林省ガ朝鮮米ヲ買上ゲルト云フコトニ付キマシテモ、朝鮮總督府ハ全力ヲ盡シテ農林省ト協力ヲスルト云フコトヲ聲明シテ居ルノデアリマシテ、其點ニ於テハ今日ハ内地ノ官廳ト全然同一ノ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、ソレヲ實ハ朝鮮人ガ今ヨリモ米食ヲ盛ニスルヤウニナッテ來マスレバ、自然ニ朝鮮米ガ朝鮮ノ内地デ消費サレルコトニモナッテ來ルノデアリマス、吾々ハ若シ朝鮮人ガ全部米食ヲスルヤウニナッテ來レバ非常ニ結構ダ、朝鮮ノ産米ハ朝鮮デ全部消化サレルコトニナルノデアアルカラ、サウ云フ獎勵モシタイト思フノデアリマスガ、其獎勵ノ必要モ朝鮮總督府ハ之ヲ認メテ居ルノデアリマス、又米ノ用途轉換ト云フコトニ付テハ、今共同シテ調査ヲシテ居ルノデ

アリマス、當ニ米食ヲ盛ニスルダケデナク、或ハ糊ヲ造リ、或ハ菓子ヲ造リ、或ハ酒精ヲ造リ、出來ルダケ米ノ用途ヲ他ニモ轉換シテ、消費ヲ大ナラシムルト云フコトニ付キマシテモ、朝鮮總督府ハ協力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、大體ノ方針ニ於キマシテハ、三善君ガ先般御話ニナリマシタ事ト私モ同意見デアリ、又朝鮮總督府モ同ジ方向ニ向ッテ協力シテ居ル次第デアリマス、唯三善君ノ先般御讀上ゲニナリマシタヤウナモノガ出テ居ッタトスレバ、是ハ以前内地デ米穀ノ缺乏シテ居リマシタ時代ニ、産米ヲ獎勵スル必要ガアッタ、其時代ニ作ラレタモノヲ、事務官ノ者ガ大體ノ方針ニ對シテ十分考ヘナイデ、或ハ下僚ガサウ云フモノヲ不用意ノ間ニ出シタルモノデハナイカト思ッテ居ルノデアリマスガ、其點ハ私ハマダ能ク存ジマセヌケレドモ、是ハ朝鮮總督府ノ政府委員カラ申上ゲタナラバ、最モ能ク御諒解ニナルダラウト思ヒマスガ、大體ノ方針ハ決シテ朝鮮總督府ト内地ノ官廳トノ間ニ相違ハナク、全然内地ノ今日ノ米穀ノ供給過剩ニ伴フ農村ノ苦境ニ對シテハ、理解モ同情モ有ッテ居ルノダ、根本ノ方針ハ茲ニ全然一致シテ居ルト云フコトダケハ、是ハ十分御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三善委員 拓務大臣ノ只今ノ説明ハ能ク分リマシタ、拓務大臣モ亦内地ノ米ニ依ッテ壓迫スルト云フヤウナ考ハ毛頭御有チナラスト思フノデアリマス、併ナガラ拓務大臣ノ監督シテ居ラレル所ノ、朝鮮總督府ノ農林局自身ガ本ヲ印刷シマシテ、サウシテ之ヲ公ニスルト云フコトハ、少クトモ拓務大臣ノ御意思ガ十分徹底シテ居ナイデハナイカ、徹底シテ居ナイト云フコトニナレバ、是ハ非常ナ由々シキ問題ヲ惹起スルト思フノデアリマス、拓務大臣自身ガ朝鮮ノ産米ニ依ッテ、内地米ヲ壓迫セナイヤウニシナケレバナラスト云フ、此御意思ハ私共ハ洵ニ同感デアリマスケレドモ、其御意思ガ徹底セナクテ、朝鮮總督府ガ勝手ニ増産計畫ヲヤルトカ、或ハ内地ニ向ッテ移出ノ方法ヲ講ゼナケレバナラスト云フヤウナコトヲ考ヘルニ至ッテハ、如何ニモ朝鮮ガ内地ニ對シテ、甚ダ抗爭スルト云フヤウナ氣味ヲ有ッテ居リハセナイカ、朝鮮自體ガ内地ノ米ヲ壓迫シヨウト云フヤウナコトニ掛ッテハ居ナイカ、是ハ朝鮮及内地ノ關係ニ於テ、非常ナ惡イ影響ヲ來スト思フノデアリマスルガ故ニ、此印刷ガ誤リデアルト致シマスナラバ、將來是ハ御慎ミ下サッテ、斯様ナモノヲ朝

鮮總督府が發刊セザルヤウニシナケレバナ
ラヌ、是ガ爲ニ朝鮮農民ハ迷ッテ來マス、今
内地ニ米ガ足ラヌ、足ラヌカラ此際作レバ、
米ノ値段ガ保障サレテ居ルノダカラ、今作ッ
テ内地ニ出セバ非常ニ金儲ケガ出來ル、コ
ンナ考デヤリマスレバ、種子ノ改良ヲ一寸
スルナラバ、三百萬石ノ增收ガアルト云フ
コトハ、是ハ明ニサレテ居ル今日ニ、總督
府自身ガ内地ニ米ガ足ラヌカラ米ヲ作レ、
斯ウ云フヤウナ事ヲ此印刷物ニ依ッテ一般

朝鮮農民ニ周知セシメマスレバ、朝鮮農民
ハ喜ンデ米ヲ栽培シ、其結果内地米ヲ壓迫
スルト云フコトハ、是ハ明ニナル譯デアル、
此點非常ニ重大ナ問題デアル、殊ニ米ノ問
題ニ對シテ如何ニ農民ガ眞劍ニナッテ居ル
カ、或ハ此議會デ眞劍ニ研究シテ居ルカト

云フコトハ御承知ノ通りデアル、唯一篇ノ
印刷物ト雖モ、之ヲ疎カニシテ、斯様ナ事
ガ農民ノ心理状態ニ徹底スルコトニナリマ
スレバ、重大ナ事ヲ惹起スト思ヒマスガ故
ニ、餘程御注意ナサレナケレバナラヌト思
ヒマス、是レ以上ハ申上ゲマセヌガ、拓務
大臣ニ將來ノ注意ヲ喚起シテ置ク次第デア
リマス

尙ホ關聯シテ居リマスガ、今回臺灣米ヲ買
上ゲルト云フコトニ依ッテ、米ノ調節ヲ圖ル

ト云フコトニナッテ居リマスガ、買上ノ價格
ハ「勅令ノ定ムル一定ノ價格」トナッテ居リマ
スガ「一定ノ價格」ト云フコトハ拓務大臣ハ
ドノ程度ガ適當ナリト御考ヘニナッテ居リ
マスカ、是ハ農林當局ニ御委セニナリマス
カ、或ハ農林省ト拓務省ト協議ノ上デ一定
ノ價格ヲ御定メニナル積リデアルカ、若シ
御定メニナル積リデアレバ「一定ノ價格」ト
云フコトニ付テ拓相ノ御意見ヲ承ッテ見タ
イト思ヒマス

○永井國務大臣 印刷物ニ付キマシテ三善
君ノ御話ニナリマシタ事ハ、十分取調ベマ
シタ、サウシテ御話ノ通り過チノナイヤウ
ニ適當ノ處置ヲ執リタイト思ヒマス

ソレカラ其買上價格ノ事ハ是ハ勅令ニ依ッ
テ定ムルコトニナッテ居リマスノデ、此事ニ
付テハ、後ニ十分關係當局ニ於テ勅令ノ内
容ナドハ御説明ヲ申上ゲルコトガ出來ルト
思ヒマス、サウ云フ事ニナルト思ヒマス

○三善委員 尙ホ御尋シマス、勅令ニ依ッテ
御定メニナルノデ、後デ詳シイ事ハ承知シ
テ宜シウゴザイマスガ、之ニ對シテ拓務省
ト農林省ハ御協議ノ上デナサルノデアアル
カ、或ハ農林省獨自ノ立場デ御定メニナル
ノカ、此點伺ッテ見タイト思ヒマス

○永井國務大臣 勅令ノ制定セラレマス時

ハ、勿論關係官廳ノ間ニ於テ十分協議ヲ遂
ゲルコトニナリマスガ、今日主トシテ其衝
ニ當リマスモノハ農林省ト云フコトニナッ
テ居リマス

○三善委員 外地所謂朝鮮臺灣ノ行政ニ付
テノ監督ハ、勿論拓務大臣ガ爲サッテ居ラレ
ルト思ヒマスガ、外地ニ對シテノ米ノ買上
ニ付テハ、主トシテ農林大臣ガ當ルト云フ
コトハ、如何ニモ其處ニ矛盾スルヤウナ氣
持ガ致シマスガ、是ハ拓相自身ガ御遣リニ
ナルコトガ、朝鮮、臺灣、所謂外地監督ノ
任ニ當ッテ居ラレル關係上、最モ良クハナイ
カ、又其方ガ適當デハナイカト思ヒマスガ、
是ハ如何御考ヘニナリマスカ

○永井國務大臣 此買上ノコトハ内地ニ於
ケル米穀需給ノ調節ガ目的デアリマシテ、
其内地ニ於ケル米穀需給ノ狀態ニ即シテ取
扱ラスルコトガ、最モ便利デアリマスノデ、
是ハ農林省ガ其買上ノ任ニ當リマスガ、併
シ外地米ノ買上ニ付テハ、外地官廳ガ十分
ニ協力シナケレバ、其效果ヲ舉ゲルコトガ

困難デアリマスカラ、朝鮮ハ朝鮮、臺灣ハ臺
灣、各、外地ニ於ケル官廳ガ十分ニ協力シ
テ、農林省ガソレヲ買上ゲル、斯ウ云フ事
ニナル手續デゴザイマス

○三善委員 ソコデ私ハ拓務大臣ニ御伺ヲ

スル譯デアリマスガ、所謂農林省ガ獨自ノ
見解ニ於テ、内地ノ需給ニ即シテ適應シタ
ル所ノ事ヲセナケレバナラヌノデアリマ
ス、故ニソレハ其方面カラ申シマス、或
ハ便宜カモ知レマセヌガ、之ヲ實行スル
ニ付テハ、只今拓務大臣ノ言ハレタ通り、
朝鮮總督府ナリ、或ハ臺灣總督府ナリ、此
行政官廳ガ、是ハ協力シテ行カナケレバ出
來ヌト云フコトデアリマスナラバ、之ヲ實
行スルト云フ上カラ言ヒマスレバ、監督ノ
權ヲ有ッテ居ラレル拓務大臣ニ於テ、之ヲ監
督シテ實行サレタ方ガ便利デアル、又效果
ヲ舉ルト思ヒマスガ、此點ハ矢張農林大臣
ニ御委セニナッタ方ガ便利デアルト御考ヘ
ニナリマスカ

○永井國務大臣 種々ナル點ニ於テ農林省
ト協議ヲ遂ゲマシテ、サウシテ農林省ノ買
上ニ對シテ、出來ルダケ便宜ヲ與ヘルト云
フコトニ協力ヲスル積リデアリマス、又色
色基準トナルベキ法規ヲ制定シ、或ハ米穀
ノ數量ノ算定ト云フヤウナコトニ付キマシ
テハ、固ヨリ農林省ト隔意ナキ協議ヲ遂ゲ
ルノデアリマスケレドモ、買上ノ其衝ニ當
ルモノハ、農林省ガ之ニ當ルコトガ便宜デ
アルト考ヘテ居ルノデアリマス

○三善委員 ソレハ見解ノ相違ニモナルカ

モ知レマセヌケレドモ、常ニ米ノ問題ニ對シマシテハ、外地、内地、所謂拓相ト農林大臣トノ間ニハ、意見ノ相違ヲ來シテ居ルヤウナコトガ新聞紙上ニ發表セラレテ居ルノデアリマス、ソレデ今回ノ臨時米穀輸入調節法ニ於キマシテモ、吾々ノ期待ニ反スルヤウナ點モアルヤウニ思フノデアリマスルガ、今後米ヲ買ハル、上ニ付キマシテモ、矢張意見ノ扞格ヲ來シマシテ、ソレハ或ハ朝鮮デハ時價ハドノ位ガ適當デアル、農林省カラ言ヘバ此位ガ適當デアル、或ハ數量ハドウダ、斯ウ云フ風ニナッテ參リマス、兩省ノ中ニ矢張協議ガ纏マラズシテ、其爲ニ時機ヲ失シテ、效果ヲ舉ゲルコトガ出來ナイヤウナ場合モアルカモ知レヌト思ヒマスガ、私ハ少クトモ是ハ拓務省ノ方デ監督シ、拓務省ノ方デ買上ニ從事セラル、方ガ、監督ノ上カラ申シマシテモ、實際之ヲ運用スル上カラ申シマシテモ、最モ便利デアルト思ヒマス、例ヘバ一例ヲ申上ゲマスルガ、倉庫ノ如キモ何百萬石御買上ニナルカ、ソレハマダハッキリ明瞭致シマセヌノデアリマスルガ、私ノ調査スル所ニ依リマスレバ、倉庫ハ僅カシカナイ、恐ラク今後政府ガ買上デラレントスル所ノ米穀ノ數量ヲ、收容スルダケノ倉庫ハナイト私ハ思ッテ居リマ

ス、此點ハ拓務省ハ如何ナル考ヲ有ッテ居レルカ、農林省ハ倉庫ハ必要ガナイ、斯ウ言ハレルガ、拓務省自身ハ倉庫ノ必要ガアルト御考ヘニナルノデアアル、其點ハ矢張兩方ノ間ニ、私ハ少クトモ意見ノ扞格ガアルト思ヒマス、此點ハ農林大臣ハ先般今ノ倉庫デ差支ナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレマスガ、恐ラク拓務大臣ハ現在ノ倉庫ヲ以テ差支ノナイト云フコトヲ御言明ガ出來ナイト思フ、御言明ガ出來マスレバ、ドレダケノ收容力ノアル倉庫ガ何處ニアルト云フコトヲ明言シテ下サレバ、私ガソレニ對シテ自由ノ判斷ヲシタイト思ヒマス、斯ウ云フコトハ一例デアリマスガ、少クトモ農林省、拓務省ノ間ノ意見ノ扞格ヲ來スモノナリト思フノデアリマス、又行政上カラ申シマシテモ、當然拓務大臣ガ爲サルベキモノダト思ヒマスカラ、重ネテ御伺致シマス

○永井國務大臣 色々米穀政策ヲ實現スルコトニ付キマシテハ、關係省ノ事務官ガ集リマシテ、一番效果ノアル方法、又一番能率ヲ舉ゲ得ル方法ト云フヤウナモノニ付テ、各、其意見ヲ吐露致シマスルカラ、色々異ナッタ議論ガ出テ來ルト云フコトハアリマセウケレドモ、併シ究極ハ矢張米穀政策ノ目的ヲ遂ゲタイト云フコトニ於テ一致ス

ルノデアリマスルカラ、是ハ其過程ニ於テ色々議論ガアルカラト云ッテ、決シテソレハ永久ニ對立ヲスルトカ、衝突ヲスルト云フモノデハナイノデアリマス、色々報道ガ世間ニ傳ヘラレルコトモアリマスケレドモ、併ナガラ政府當局者ハ全ク隔意ナキ協議ヲ遂ゲデ、サウシテ財政上、又實行上全ク效果ノアルト云フ方法ニ歸著致シテ居ルノデアリマシテ、此度モ外地自身ガ之ヲ買上ゲル、拓務省並ニ外地ノ官廳ノ間ニ於テ、之ヲ買上ゲル方ガ宜シイデハナイカト云フコトモ考ヘマシテ、サウ云フヤウナ意見モ出タノデアリマスケレドモ、併シ色々ナ人件費ヲ節約シ得ルヤウナ點モ考慮シ、財政上最モ經費ノ掛ラナイ點ヲ考慮シ、又内外地ノ最モ統一ノ取レル方法モ考慮シ、ソレカラ臺灣ノヤウナ、特別會計ヲ持タセテモ、米ノ貯藏ノ出來ナイヤウナ土地ノ、特殊ノ事情ヲモ考慮シ、サウシテ結局ハ只今御審議ヲ願ッテ居ルヤウナ風ニ、之ヲ農林省ニ於テ統一シテ買上ゲル方ガ一番宜イト云フコトニ、意見ガ一致致シタノデアリマス、其點ニ於テ既ニ其意見ガ一致シテ之ヲ實行スルト云フコトニナリマスレバ、各關係官廳ハ何レモ出來ルダケ協力致シマシテ、サウシテ農林省ガ其目的ヲ遂ゲルノニ出來ルダ

ケ便宜ヲ圖リ、又外地ノ官廳ハ外地ノ住民ヲシテ、出來ルダケ其趣旨ヲ徹底セシムルヤウニ、之ヲ統制シテ行クト云フコトハ、努力スル積リデアリマス、又サウスレバ相當ナ效果ヲ舉ゲ得ルモノデアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○深水委員 チョット牽聯シテ——先刻拓相ノ御答辯ノ中ニ、朝鮮ニ於テ成ベク米ノ消費ヲ増ス方針ヲ執ル積リダト、斯ウ云フ御答辯ヲ伺ヒマシタ、私ハ此點ニ付テハ別ニ農林大臣ニモ後デ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ重大ナル問題デアルト思フ、現在ノ消費ヨリモ消費ヲ朝鮮ニ増スト云フ方針ヲ執ル積リダト云フコトデアアルガ、是ハドウ云フ拓相ノ御方針ガアルデアラウカ、是ハ社會政策上容易ナラヌ問題デアルト思フ、實際私ノ知ル限りニ於テ、朝鮮ニ於ケル朝鮮人ノ米ノ需要ト云フモノハ、詰リ高イ米ヲ賣ッテ、安イ粟其他ノ物ヲ消費シテ居ル、ソコデ實際ニ總テノ朝鮮ノ人ガ米ヲ消費シテ居レバ、米ハ餘ラヌノデアアル、約四割位ノ人口ノ人ガ米ヲ消費セズニ、代用物ヲ喰ベル爲ニ、益、米ガ餘ル、之ヲ總テノ者ニ消費サセルト云フコトハ、非常ニ人道上カラモ、朝鮮ノ特性ト云フコトカラ推シテモ、是ハ必要ナコトニ相違ナイ、私ハ此拓

相ノ御方針ハ非常ニ結構ト思フガ、然ラバドウ云フ方法ヲ御考ヘニナッテ居ルカ、ソレヲ承ッテ見タイ、是ハ非常ニ大切ナ事デ、私カラ見マスレバ、或ハ朝鮮ノ費用デ相當ノ價格デ買上ゲテ置イテ、サウシテ現在米ヲ喰ハズニ粟ヲ喰ッテ居ル多數ノ鮮民ニ對シテ、米ヲ安ク賣ッテヤル、是モ一ツノ方法、又或ハ現在朝鮮ニハ非常ニ御承知ノ通りニ貧農ガ多イ、殆ンド喰フニモ困難ト云フヤウナ、朝鮮ノ農民ノ困難ト云フモノハ、想像ニモ及バヌ程低級ナモノデアル、殆ド惡ク申シマスルト、人間ノ喰ベル物ハ喰ベテ居ラヌト言ッテ宜イ位デアル、之ヲ普通ノ人ノ生活ノ程度マデ引上ゲテヤルト云フコトハ、是ハ非常ニ人道上必要デアルガ、ソレニ對シテサウ云フ事ガ出來ルナラバ、恐ラク朝鮮ノ移入米ト云フモノモ非常ニ減ッテ來ルデアラウ、是ハ非常ニ結構ナコト、思フノデアリマスガ、拓相ノソレニ對スル實際ノ御考ヲ一ツ伺ッテ見タイ、是ハ内地デモ同ジコトデ、私ハ農林大臣ニ聽カウト思ッテ居ルノデアリマスガ、内地デモ約三割ノ人ハ米ヲ消費シテ居ラナイ、地方ノ田舎ニ行キマスト麥ト米ヲゴッチヤニシテ食ベル處モアル、粟ト米トゴッチヤニシテ食ベル處モアレバ、或ハ混合ト云ッテモ米ヲ少シ入

レテ麥バカリ、或ハ粟バカリト云フ風ニシテ居リマスカラ、サウ云フノガ平均的ニ、總テノ人ガ米ヲ當リ前ニ食ベルト云フコトニナレバ、米ノ問題ハ寧ロ足ラヌト云フ位ニナルト思フ、是ハ非常ナル社會上重大ナル問題デアルト思フ、之ヲ研究シナケレバ實際ノ政治家トシテ濟ナイコト、思フ、唯米ヲ高ク吊上ゲサヘスレバ宜イト云フコトハ、消費者ノ利害ヲ考ヘナイコトデアル、此事ハドウシテモ國家ノ力ヲ以テ、生産者ニモ利潤ヲ與ヘ、消費者ニモ満足シテ米ヲ消費スルコトガ出來ルヤウニスルト云フノガ、即チ米ノ問題ノ本當ノ根本デアルト思フ、之ニ對シテ拓相ニ何カ御意見ガアレバ是非承ッテ置キタイト思フ

○永井國務大臣 深水君ノ御意見ハ私モ全然同感デアリマス、唯米ノ値段ヲ人爲的ニ吊上ゲテ見ルトカ、或ハ一時米ヲ唯買上ゲテ置クト云フコトハ、決シテ根本的ノ救濟デハナイト思フ、一方ニ於キマシテ代作獎勵ガ出來ルナラバ、代作ヲ獎勵シマシテ、サウシテ有利ナ産業ニ轉向サセルコトガ一ツト、他方ニ於キマシテハ米ノ消費ヲ獎勵シテ行クト云フコトガ伴ハナケレバ私モ根本的ニハナラヌト思フ、實ハ吾々モ甚ダ粗末ナ調査デアリマスケレドモ、色々ソレニ付キマシテハ外地ノ官廳トモ協力シテ、色々ノ案ヲ研究ヲ實ハ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、マダ斯ウ云フヤウナ方法デソレヲヤルト云フ、決定シタ案ガ消費ノ方ニ付キマシテハ實ハ出來テ居リマセヌ、ソレデ今朝鮮ノ報告ニ依リマス、例ヘバ農村デ、負債ニ非常ニ困ッテ居ル村落ニ對シテ、朝鮮總督府ノ方デハ負債整理ニ對シテ助力ヲ與ヘ、色々ナ補助ヲ與ヘテ整理ヲ促進サセテ居ルノデアリマスルガ、其農村ナドノ負債整理ノ出來タ村落ノ狀況ヲ見ルト、米食ガ著シク増加シテ居ルト云フコトヲ申シテ居リマス、今仰セノ通り生活ガ或ル程度マデ向上シテ來ルト、必ズ其處ニ行クデアラウシ、サウ向ケテ行クト云フコトモ一ツノ方法デアルト思フ、小作人ナドノ生活ガ安定シテ來ルヤウニナルト、是モ段々生活程度ノ向上ヲ促シテ行クデアラウト云フコトモ言ハレテ居ルノデアリマス、併シ朝鮮總督府又ハ關係官廳ト致シマシテハ、今日有ユル研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、勿論此度米穀政策ノ根本的ノ國策ヲ樹立スルニ付キマシテ、是等ノ問題ヲ總テモツト完備シタ方法デ研究セラレルノダト思ヒマスガ、ソコデ吾々ノ色々研究致シマシタモノモ、姑クソレ等ノ研究ト共ニモツト進メ

テ行クト云フコトニナリマシテ、各關係官廳トモ其研究ヲ進メルコトニナッタノデアリマスルガ、ドウニカシテ朝鮮人ニモツト米ヲ食ベサセタイト私共ハ考ヘマス、一千八百萬石出來ルニシマシテモ、朝鮮人ガ食ベルヤウニナッテ來マスレバ、全部消費出來ルノデアリヤス、ドウカサウサセタイト思ヒマス、ソレカラ酒精ノ生産トカ、菓子、糊トカ、或ハ外國ニ對スル輸出、サウ云フヤウナモノ、獎勵ノ方法モ色々講ジタイト思ヒマス、現ニ臺灣ノ如キモ米粉デ特別ノ麵類ヲ拵ヘマス、アレハ非常ニ臺灣人ガ好ムダケデナク、南支那ノ人モ非常ニ好ム、米ヲ紛ニシテ麵類ヲ拵ヘテ、ソレヲ輸出スルコトヲ研究シテ居リマス、是モ相當ノ成績ガ舉ルト云フコトデアリマスガ、サウ云フ風ニ色々方法ヲ講ジテ居リマス、御話ノ通り生産ニ對シテ適當ニ無理ノナイ統制ヲ加ヘテ、代作ガ出來ルナラバ代作ヲ獎勵シテ行クト云フコト、消費ヲ獎勵シテ行ク、茲ニ入ラナケレバ根本的ノ解決ニナラナイト云フコトハ、私モ全く同感デアリマス

○深水委員 御答辯能ク分リマシタガ、遺憾ナガラマダ徹底シタ御考ガナイヤウニ承ッテ失望シマス、斯ウ云フ事ヲ更ニ今ノ問題トシテ伺ヒマスガ、實際朝鮮ニ於ケル地

主ト小作人トノ關係カラシテ、餘リニ地主ノ得分ガ多イノデハナイデセウカ、其御研究ハ如何デセウカ、第二ニハ此地主ガ植付ノ上ニ於テ、小作人ニ對シテ金ヲ貸シマシテ、其金ガ高利デアッテ、其結果トシテ誅求サレテ、折角小作人ノ得分ガ其爲ニ差引カレルト云フコトデ、非常ニ朝鮮人ガ困ッテ居ルト云フヤウナコトハ御考ヘニナリマセヌカ、ソレカラ更ニ用排水工事ヲ濫ニ朝鮮全體ニ對シテ總督府ガ御獎勵ナリ、若クハ補助サレル結果トシテ、増産ハシマスガ、地主モ小作人モ其爲ニ非常ニ負擔ニ苦ンデ困ッテ居ルト云フコトハ御考ヘニナリマセヌカ、詰リ從來ノ灌溉ノヤウナ方法デアレバ、地主モ負擔ガ輕イシ、小作人モ輕カッタモノガ、生ナカニ文化的排水トカ灌溉ノ道ヲ拵ヘ過ギタノデハナイカ、其費用ノ爲ニ非常ニ困ッテシマッテ、小作人ノ如キハ直チニ其負擔ヲ轉嫁サレテ、非常ニ窮地ニ陷ッテ居ルト云フヤウナコトハ御考ヘニナリマセヌカ、其他先刻モ一寸申シマシタ通り、朝鮮人ノ生活ヲ向上サセルノニハ、單ニ負債バカリデナク、今申シタヤウナ、詰リ小作人ト地主トノ關係ヲモウ少シ調和シテ、有利ニ持ッテ行クト云フ御考ハナイデセウカ、モウ一ツハ詰リ隣ニナッテ居リマス滿

洲、滿洲ハ人口ガ御承知ノ通り三千萬人、而シテ消費シテ居ル米ノ石數ハ五百萬石位ダト私ハ承ッテ居ル、是ハ間違カモ知レマセヌガ、サウ云フヤウニ私ハ承知シテ居ル、三千萬人ニ對シテ五百萬石デアアル、非常ニ是ハ米ヲ消費シテ居ラナイ、成程趣味嗜好ガ違フ、日本製ノ米ヨリモ、モウ少シ淡泊ノモノガ好キダ、斯ウ云フ關係モアリマセウ、ソレカラ生活困難ノ爲ニ玉蜀黍ヲ食ッテ居ルト云フヤウナ關係モアリマセウ、併シ兎ニ角三千萬人ニ對シテ五百萬石ト云フノハ非常ニ米ノ消費ガ少イ、デアルカラシテ滿洲ニ向ッテ朝鮮米ヲ輸出スルト云フコトヲ、總督府ハ御考ヘニナッタコトガアルデアラウカ、斯ウ云フ事ヲ伺ヒタイ、更ニモウ一ツハ臺灣ニ於テ御承知ノ通り蓬萊米ト云フノハ内地人ノ嗜好品デアアル、臺灣人ハ矢張是ハ強過ギテ食ベナイ、故ニ臺灣ノ土人ニ蓬萊米ハ適當デナイ、臺灣人ハ在來ノ淡白ナ粗惡ナ米ノ方ガ好キデアアル、隨ッテ支那モ同ジコトデアアルカラ臺灣デ年々蓬萊米ヲ殖スガ、是ハ日本ニ持ッテ來ルヨリ外ニ途ガナイ、若シ在來米ヲ獎勵シテ行キマス、是ハ一衣帶水ヲ隔テ支那ノアノ大キナ處ニ持ッテ行クトガ出來ル、蓬萊米ヲドンナニ作ッテモ、日本ニ持ッテ來ルヨリ外ニ途ハナ

イ、在來米ナラバ一衣帶水ヲ隔テ、居ル支那ヘドンノ需要ガ出來ルト思フ、サウ云フコトニ付テ、生活ノ向上ト云フコトニ付テモ御考ヘニナッテ居ルダラウカ、斯ウ云フコトヲ御伺シテ置キマス

○永井國務大臣 御質問ノ朝鮮ニ於ケル農民ノ大多數ハ小作人デアアルガ、其小作人ノ生活ガ向上スルト云フコトガ、又米ノ消費ニモ影響シテ來ルデアラウト云フ御見解ハ御尤ト思ヒマス、詳細ナコトハ政府委員カラ御説明申上ゲル方ガ宜シイト思ヒマスガ、地主ト小作人トノ間ニ於キマシテ、從來地主ガ其土地ニ居ラナイデ、舍音即チ中間ノ監督者ガ小作人ニ對シテ、其待遇ノ方法ヲ誤ッタト云フヤウナコトカラ、屢ニ不幸ナ出來事ヲ見ルヤウナコトモアリマシタノト、ソレカラ從來朝鮮ノ小作人ガ契約ノ期限ニ付キマシテ、確乎タル基礎ヲ持ッテ居ラナカッタ爲ニ、其時々々ノ雇人ノヤウナ状態ニナッテ居ッテ、落ッテイテ其土地ニ自分ノ勞力ヲ投ジ、其農業ノ改良ヲ圖ルト云フヤウナ精神ガ非常ニ缺ケテ居リマシタ、サウ云フ事ガ又彼等ノ收入ノ上ニモ反映シテ來テ、彼等自身ニ取ッテモ非常ナ不幸ナ状態ニナッテ居ルト云フコトヲ考慮致シマシテ、此度朝鮮農地令ヲ設ケテ、地主ト小作人ト

ノ關係ヲ一層圓滿ニシ、延イテ小作人ノ生活ヲ向上サセル爲ニ貢獻シタイト云フヤウニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ朝鮮米ヲ出來ルダケ滿洲ノ方ニ輸出スルト云フコトモ計畫スベキデナйкаト云フ御意見モ、是モ御尤ト思ヒマス、大キナ數量ニハ達シテ居リマセヌケレドモ、昨年ノ滿洲ニ對スル輸出額ハ、一昨年ノ輸出額ニ較ベマス、慥カ三倍位ニナッテ居ルト思ヒマス、ケレドモ全體ノ數量ハ極ク僅カナモノデアリマスガ、追々日本人モ滿洲ニ増加シテ來マス、サウ云フ勢ガ増加スルダラウト思フノデアリマス、ソレカラ今御話ノヤウニ、又滿洲ニ於キマシテ追々米食者ノ數ガ日本人デナクテモ増加シテ來マスレバ、サウ云フヤウナ方面ニ於テハ一層有望ニナルカト思ヒマス、併シ是ハ今日ノ所大シタ數量ノ輸出ハ望ミ得ラレナイノデアリマス、其他ノ點ニ付キマシテ、尙ホ詳細ナコトハ政府委員カラ申上ゲル方ガ宜カラウト思ヒマス

○三善委員 只今配付ニナリマシタル所ノ材料ニ依ッテ見マスルト、外地米ノ昭和八九年度產米ノ移出餘力ト云フモノガ七百四十萬石アルヤウデアリマス、此七百四十三萬石ノ移出餘力ガアルモノニ對シテ、ドレ

ダケ御買上ニナレバ内地ノ米ヲ壓迫シナケ
イトカ、或ハ今回ノ臨時調節法ノ目的ヲ達
セラル、ト御考ヘニナルノデアリマスガ、
是ハ拓務大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○永井國務大臣 ソレハ農林省ノ方カラ御
答スルコトニシタイト思ヒマス

○荷見政府委員 其事ニ付テ全ク見込デア
リマスガ、實際ノ先ノ米穀事情ニ依ッテハ色
色變化スルコトモアルト云フコトヲ前提ト
シテ、一應私共ノ考ヲ述ベテ見タイト思ヒ
マス、大體臨時米穀移入調節法ノ施行ハ此
議會デ成立致シマシテモ、其後勅令其他ノ
施行ノ準備ガ要リマスカラ、急ギマシテモ
五月早々デナケレバ施行出來ナイカト考ヘ
テ居リマス、ソレデ今年度ノ外地米穀ノ内
地移入ノ見込數量ハ拓務省ノ御見込デハ朝
鮮ガ八百三十七萬石、臺灣ガ四百十三萬石
ト云フコトニナッテ居リマスガ、其中五月マ
デニハドレ位内地ニ移入スルデアラウカト
云フコトヲ、過去五箇年間ノ月別移入平均
割合ヨリ算出致シテ見マスルト、朝鮮米ガ
約五百四十九萬石、臺灣米ガ約百八十四萬
石、合計七百三十三萬石位ガ、五月一日以
前ニ内地ニ入ルデアラウト考ヘラレルノデ
アリマス、隨ヒマシテ此法律ヲ實施致シマ
シタ後ニ内地ニ移入スル朝鮮臺灣米ノ數ヲ

見レバ、朝鮮米ガ約二百八十八萬石、臺灣
米ガ約二百二十九萬石、合計五百十七萬石
位ノ總數ニナルカト考ヘラレマス、是ハ全
ク私共トシテハ見込ノ計算デアリマス、併
ナガラ其見込ニ依リマシテ數字ヲ立テマシ
テ、又今年ノ米穀年度ニ於キマシテハ、需
給推算上、前カラ申上ゲテ居リマサウニ、
内地ハ非常ニ供給過剩ニナッテ居リマスカ
ラ、サウ云フ點ヲ考ヘマシタリ、又買入
ノ程度ヲドレ位ニスルカト云フコトヲ考ヘ
マシテ、本米穀年度ニハ内地ヘノ移出見込
數量ノ中ノ半額位、詰リ朝鮮米ガ前ニ申シ
タ二百八十八萬石ノ半分ノ百四十四萬石、
臺灣米ガ二百三十萬石ノ半分ノ百十五萬
石、合計二百五十九萬石位ヲ買入レマシタ
ナラバ、今年ノ米穀年度ノ分ニ付テハ稍、宜
イノデハナイカ、是ハ季節調節デ買ヒマス
ノト違ヒマシテ、需給狀況ガ惡ケレバ又賣
出スト云フコトヲセズニ、持ッテ居ルダケ
デアリマスカラ、相當效果ガアルノデハナ
イカト考ヘテ居ルノデアリマス

尙ホ昭和十米穀年度、端リ今年ノ端境以
後ニ於キマシテノ狀況ハ、全ク作柄ノ如何
ニ依ルコトデゴザイマシテ、只今カラ見込
ヲ付ケルト云フコトハ、非常ニ困難ナ事デ
ゴザイマスガ、大體ニ於テ從來通り朝鮮臺

灣ヲ通ジマシテ、約千一二百萬石ノ程度
デゴザイマスナラバ、先ヅ朝鮮米ガ約三百
萬石見當、臺灣米ガ百四十萬石見當ノ所
ヲ以テ買上ヲ致シマスレバ、相當效果ガア
ルコトデアラウト云フ風ニ考ヘマスノデ、
本日御手許ニ差上ゲマシタ此臨時米穀移入
調節法ニ依ッテ、買上ノ數量ハ約七百萬石位
ノ見當ニ考ヘテ居リマスト云フコトヲ申上
ゲタノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス、尤モ作柄ノ狀況、又ハ米價ノ
狀況ニ依リマシテ、是ガ減ッたり殖エたり幾
分伸縮スルト云フコトハ、當然有リ得ルコ
ト、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三善委員 農林省ノ御考ハ從來ノ季節調

節ノ買上ノコトカラ考ヘマス、大抵申込
ノ半分ダケ買上ゲテ居ラレルヤウデアリマ
スカラ、今回モヤハリ輸出餘力ノアル所ノ
其半分位ヲ目算トシテ居ラレルヤウデアリ
マス、ソレダカラ二百五十萬石ト云フコト
ガ出ルト思ヒマスルガ、是ハ意見ノ相違ニ
ナルカラ私ハ申上ゲマセヌ、私共ハ此程度
ノ數量デハ此臨時調節法ノ目的ヲ達スルコ
トガ出來ルカドウカト云フコトヲ、頗ル疑
問トスルノデアリマス、私ハ此處デ非常ニ
了解シ難イ點ガアリマスガ、此二百五十萬
石ヲ御買上ゲニナッテモ、之ヲ收容爲サル所

ノ倉庫ハナイト思ヒマス、是ハ現在朝鮮總
督府自身デ御調ベニナッタ倉庫ノ數ガアリ
マス、其倉庫ノ中ニ季節調節ノ爲ニ百二十
萬石ヲ收容シテアリマスカラ、收容餘力ハ
殆ドアリマセヌ、ドウシテ二百五十萬石ヲ
收容爲サル御積リデアルカ、此點ガ私ハド
ウシテモ了解ガ出來ナイ、是ハ朝鮮總督府
ノ方ガ倉庫ノ有無ニ付テハ疾ニ御承知デア
ルト思ヒマスカラ、朝鮮總督府ノ方ヘ御聽
シタ方ガ宜イト思ヒマスガ、此點ハ如何デ
ゴザイマスガ

○荷見政府委員 朝鮮總督府ノ方ノ御見込

モ十分伺ッテ、實行ノ際ニハ適當ニ出來ルダ
ケ努力致シタイト思ヒマスガ、私共ノ考デ
ハ、斯ウ云フ風ナ施設ヲ臨時ニ致マシタ際
ニハ、ソレニ應ジタ倉庫ヲ俄ニ建設スルト
云フコトモ、今カラ考ヘルノハ如何デアラ
ウカト思ヒマスケレドモ、第一出來ルダケ
朝鮮ノ内地ニ於テ倉庫ノ餘裕ヲ見付ケル、
ソレカラソレガ不足デゴザイマスレバ、相
當民間ノ倉庫業者アタリニモ建築ヲ勸メル
積リデアリマス、又ソレデモ不足ノ場合ニ
ハ、他ノ朝鮮以外ニ米ヲ移動致シマシテ、
ソレヲ一時的ニ保管フスルト云フコトニシ
テ參リタイト思ヒマスガ、ソレデモ尙ホ不
足ノ場合ニハ、急設「バラック」デモ造ッテ行

カナケレバナラスト思ヒマス、内地ノ米ノ
收容ニ付キマシテモ、隨分窮困ヲ感ジタノ
デアリマスガ、段々ソレガ買上ヲ實行致シ
テ居リマス中ニハ、急設ノ設備モ出來マシ
テ、收容ニハ事缺カヌヤウニ爲シ得タノデ
アリマスカラ、又之ヲ實行致シテ居ル中ニ
ハ、適當ノ方策ヲ講ジタイト考ヘテ居リマ
ス

○三善委員

是ハ私ハ益ヲ了解ニ苦シム、

内地ト朝鮮ト同様ニ御考ヘニナッテ居ルコ
トガ非常ニ惡イ、内地ハ相當ノ地主ハ倉庫
ヲ有ッテ居リマスガ、併シ朝鮮臺灣等ニ於テ
ハ、大地主ハ別ト致シマシテ、小サイ地主
ハ倉庫ハ有タスト思ヒマス、ソレニ對シテ、
民間ノ倉庫デモ借リテ入レ、バ支障ガナイ
ナドト言ハレルコトハ、是ハ漫然タル御意
見デアアル、朝鮮總督府ガ自身デ調ベラレテ
居ル所ノ倉庫ヲ一ツ吟味シテ御覽ナサイ、
朝鮮總督府デチャント調ベテアル、倉庫ノ
數モアル、其收容力モチャント調ベテアル
筈デアリマス、其收容力、倉庫ノ數モ分ッテ
居ル、買上ガデモ收容スル場所ガ無イ、又
倉庫モ無イト云フコトガハッキリ分ッテ居
ル、ソレニ拘ラズ此議會ヲ胡麻化シテ、買
上收容スルト云フヤウナ、ソシナコトガ出
來マスカ、是ハ責任アル當局トシテ言フベ

キ言葉デナイト思ヒマス、拓務大臣ハ如何
様ニ思ヒマスカ、收容餘力ガアリマスカ、
拓務大臣ニ之ヲ御聽ヲスルコトハ少シ見當
違ヒト思ヒマスガ、此米ノ買上ニ對シテハ、
農林、拓務相協調シテ便宜ヲ圖ッテ行クト
云フコトデアリマシタカラ、果シテ此收容
餘力ガアルカドウカ、之ヲ一ツ言明シテ戴
キタイト思ヒマス、コンナ亂暴ナ事ガアリ
マスカ

○永井國務大臣

倉庫ノコトハ實ハ私ハ今

直チニ御答申上ガ兼ネマスガ、農林省ノ方
ノ買上數量ニ對シテ、倉庫ノ十分不十分ト
云フヤウナコトモ定メラレ得ルノデアリマ
シテ、ソレハ農林省ノ方カラ大體御答申上
ガデ居ル所デ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○胎中委員長

只今ノ質問應答ハ餘程重要

ナモノト思ヒマス、當局デモ尙ホ打合セテ
午後ノ委員會ニ於テハッキリシタ御答辯ヲ
ナサルノガ妥當ト思ヒマス、丁度時間モ既
ニ十二時ニナリマシタシ、本日ハ民政黨ノ
開館式ガ正午ニアラシウゴザイマスカラ、
ソレ等モ酌量致シマシテ、午後一時半
ヨリ引續キ開會スルコトニシテ、午前ハ是
デ休憩シタイト思ヒマス

午前十二時休憩

午後一時四十九分開議

○胎中委員長

休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ

マス、午前中拓務大臣ヘノ質問事項ガアリ
マシタガ、マダ拓務大臣ガ見エマセヌデ、
農林大臣ガ見エマシタカラシテ、昨日ノ
東君ノ質問ヲ是カラ繼續シタイト思ヒマス
——東武君

○東委員

農相ニ對シテ御質問ヲ致シタイ

ノデスガ、是ハ必シモ農林大臣カラ御答ヲ
伺ハヌデモ、或ハ政府委員ノ方カラ御伺シ
テモ宜シイノデアリマスルガ、併シ相當ニ
重要ナ事ト思ッテ居ルノデアリマス、此粃貯
藏ニ對スル倉庫建設補助ニ六百萬圓ヲ計上
シテ居ルノデアリマスルガ、是ハ追加豫算
等ニ載ッテ居リマス、是ハ最初ノ政府ノ御計
畫ハ一縣一倉トカト云フヤウナ風ナ、大キ
ナ倉庫ヲ全國四十七地方ニ設ケテ、ソレデ
大量ノ粃貯藏ヲスルト云フ御計畫デアッテ、
其後經費ノ關係デ色々ノ議論ガアリマシ
テ、御修正ニナッタト云フコトヲ承ッテ居ル
ノデアリマスガ、其當時ハ十箇町村ノ單位
デ大倉庫ヲ造リ、サウシテ全國的ニ四百何
十箇所ト云フヤウナ風ニ、自治的ニ此倉庫
ヲ建設スルト云フ、具體的ノ御考デアルト
云フコトモ承ッテ居ッタノデアリマス、此點
ハ或ハ豫算總會等ニ於テ御説明ニナッタカ

モ知レマセヌガ、私マダ十分伺ッテ居ラヌノ
デ、若シサウ云フコトガアリマシタラ、恐
縮デアリマスルカラシテ、簡單ニ御答辯ヲ
願ッテ、速記録ヲ見テモ宜シイノデアリマス
ガ、此案ニ付テハ粃貯藏ヲスルト云フ全國
的ノ倉庫網ヲ作ルト云フコトハ、實ハ此案
ハ吾々ノ所屬シテ居ル黨派ニ於テモ、黨議
トシテ義倉及郷倉制度ト云フモノニ對シ
テ、非常ニ熱心ニ研究ヲ進メテ居リマス、
其趣意ハ唯今日政府ガ粃ノ貯藏ヲシテ米價
調節ノ爲ニノミスルト云フコトヲ擴大ス
ル、サウシテ此共同貯蓄ノ精神、共濟共助
ノ意義、又米價調節、此三點ヲ併用スル、
我國ノ舊イ古代カラアル歷史的ノ精神ヲ取
入レテ、サウシテ此倉庫ヲ建設スルト云フ
コトノ主義ヲ吾々ハ有ッテ居ルノデアリマ
スルガ、此政府ノ御方針ニ對シテハ、成ベ
ク吾々ノ黨派等ニ於テ研究シタ其精神ト一
致スル方針ヲ有ッテ戴ケバ、非常ニ結構ダト
考ヘテ居ルノデアリマスルガ、之ニ對シテ
ノ御考ヲドウカ御伺シクイ、斯様ニ考ヘテ
居リマス

○後藤國務大臣 粃貯藏ノ關係デ倉庫ニ助
成ヲ致シマス、政府ノ大體ノ目論見ハ、御
話ノヤウニ最初大キナ倉庫ヲ政府自ラ建設
スルト云フヤウナ案ヲ立テ、モ見マシタケ

レドモ、此計畫ハ變更シマシテ、各地ニソ
レノ農業倉庫トシテ建設ヲシタリ、或ハ
町村ニ於テ建設ヲシタリスルモノヲ助成ヲ
致スコトニシテ、此場合ノ穀貯藏ノ不足ヲ
補ハウト云フコトニ改メタノデアリマス、
其方針モ矢張只今御話ノアリマシタヤウ
ニ、此倉庫ハ今回ノ穀貯藏ニ役ニ立ツバカ
リデナク、又他日同ジヤウナコトヲ繰返シ
テヤルヤウナ場合ノ役ニモ立ツ、米穀ノ需
給調節ノ手段トシテノ穀貯藏ヲ實行シ易カ
ラシムルト云フ方法ニモナリマセウ、ト同
時ニ、又各地ニ於ケル備荒貯蓄ノ施設ヲ
致シマス爲メノ倉庫ニモ是ガ役ニ立チマス
ルヤウニ、殊ニ穀ノ貯蓄ト云フコトガ備荒
貯蓄ノ手段トシテハ古來行ハレテ居リマ
ス、御一新後ニ於テハサウ云フ習慣ハ少ク
ナリマシタケレドモ、今日デモサウ云フ習
慣ノ残ッテ居ル場所ガ稀ニハアルト云ッタ
ウナコトデ、サウ云ッタコトニ其倉庫ガ特ニ
需要調節ノ點カラ穀貯藏ノ必要ノナイ時デ
モ役ニ立ツコトニ相成レバ非常ニ結構デア
ル、其他此倉庫ガ色々ナ事ニ役ニ立ツ場合
ガ多カラウト思ヒマス、今回ノ穀貯藏ノ役
ニ立ツノミナラズ、將來ノ穀貯藏、米穀ノ
需給調節ノ用途ニ充テル倉庫トシテ役ニ立
ツノミナラズ、農村ニ於ケル一切ノ產物保

管ノ倉庫トシテモ役ニ立ツデアラウト云フ
風ナコトヲモ考慮シテ居ル譯デアリマス、
隨テ寧ロサウ云フ色々自治的ニ建テル倉
庫ニ助成ヲスルコトノ方ガ適切デハナイ
カ、又倉庫ノ建設費其他ノ事柄モ、大キナ
詰リ大倉庫ニ致シマスルコトハ、保管ノ上
カラ云ヘバ一番簡易デ、便利デ、確實デア
リマスルケレドモ、併シ斯ウ云フ倉庫ニナ
リマスレバ比較的簡易ナ方法デ金モ掛ラ
ヌ、倉庫ヲ造ルト云フコトモ容易デアルカ
モ知レマセヌ、サウ云フタヤウナ考慮カラ、
穀貯藏ノ倉庫助成ノ大體ノ企畫ヲ立テ譯
デアリマス、サウ云ッタヤウナ方針デ倉庫
ノ助成ヲ致スコトニ致シテ居リマスルノ
デ、唯實際ノ倉庫ノ建設ノ工合ハマダ申請
ナドガボツ／＼出テ居ルヤウナ形デ、スッ
カリ取纏ッテ居リマセヌノデ、ハッキリシ
タコトガ御報告ガ出來ナイサウデゴザイ
マス

○東委員 大體御趣旨ノ在ル所ヲ伺ッテ洵

ニ結構ダト思ヒマスガ、吾々ノ主張ハ成ベ
ク一村トカ、或ハ一部落ヲ單位ニシテ、サ
ウシテ全國的ニ普及サセル、サウ致シマス
レバ、米穀ノ貯藏法ニ對シテモ非常ニ簡易
ニ習慣付ケラレテ、是ハ矢張義倉郷倉ト云
フ制度デ今殘ッテ居ルモノモ東北ナドニハ

相當ニアル、福島縣ニハ三十戸、宮城縣ニ
ハ六十戸、山形縣ニハ五十七戸、秋田縣ニ
ハ八十戸、岩手縣ガ二十四戸、青森縣ニ百
十九戸ト云フヤウナ風ノ倉ノ制度ガ千二百
年以來ノ傳統的ノ自治的の制度ノ名殘リトシ
テ今日殘ッテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ
風ニシテ全國ニ倉庫ヲ助成シテ建設サスコ
トハ、是ハ鐵筋「コンクリート」トカ、石造
ト云フヤウナモノハ餘リ宜シクナイ、寧ロ
厚板ノ倉庫デ、木造デ結構ナノデアリマス、
サウスルト一坪大約五十圓以内デ出來ル
ノデアリマス、サウシテ大キナ物ハ要ラナ
イ、十五坪カ二十坪モアッタ結構ダト思フ
ノデアリマス、サウ云フ風ニシテ全國的ニ
普及サレルナラバ自ラ一千萬、二千萬ト云
フモノガ貯藏サレルコトニナル、サウスル
ト凶作ノ場合ニハ備荒貯蓄トナリ、又若シ
翌年ノ出來榮ヲ見マシテ、サウシテ貯蓄ヲ
シテ再ビ用ノアツタ時分ニハ金ニ替ヘル、サ
ウシテ持分ニシテ置クト云フコトニナル
ト、負債整理ノ元本ニナルノデアリマス、
サウシテ共同ノ精神ヲ酌入レテ、全國的ニ
ヤルト、國家トシテハ自治的ニ米價ノ調節
ガ出來ルノデアリマス、今日マデノヤリ方
ハ政府ノ一手デ、官憲中心デヤッテ居ルノデ
アリマスガ、ソレハ中々經費ガ要ッテイケナ

イノデアリマス、是ガ習慣付ケラレルコト
ハ、非常ニ國防ノ上ニ於テモ大切デアリ、
又自治的精神ニ於テモ非常ニ結構デアルト
思フノデアリマスカラ、是非ハサウ云フ
方針ヲ以テ全國的ニ普及サレルコトヲ望マ
シト考ヘテ居ルノデアリマス、同時ニ是
ハ各縣カラ出願ガアル場合ニ、ソレヲ助成
スルト云フ意味デアリマスカ、又ハ政府カ
ラ指導シテ之ヲ全國的ニヤラセルノデアリ
マスカ、其點モ併セテ伺ッテ置キタイと思
ヒマス

○荷見政府委員 大體只今ノ御質問ハ地方

ノ計畫ニ依リマシテ、出願ニ依ッテ拵ヘルコ
トニナッテ居リマス、ソレカラ大體ノ標準ハ
一箇所二十坪以上ノ大キサデナケレバイカ
ヌト云フ風ナ、極ク小サナモノデアリマス
○後藤國務大臣 一寸今ノニ附加ヘテ申上
ゲマスガ、倉庫ノ建設ノ程度等ノコトニ付
テハ、餘リムヅカシイ標準ヲ設ケテ居リマ
セヌ、唯穀ヲ貯藏スルニ十分堪ヘ得ルト云
フコトガ條件デアリマス、大キイモノニナ
レバ相當建設費ノ掛ルモノモアルカモ知レ
マセヌガ、小サイモノハ割合簡易ノモノデ
モ宜シイ、大體今申シマシタ規格、標準ヲ
簡單ニ定メマシテ、各地ニ普及シ得ラレル
ヤウナ標準デ補助スルコトニ致シテ居リマ

ス、併シヤハリ大體自治的ニ地方デソレゾ
レ考ヘテ計畫ヲ立テ、補助ノ申請ヲサセル
ト云フヤウナ段取ニナッテ居リマスガ、相當
補助率ガ好イノデアリマスカラ、方々デ計
畫中デアルヤウニ承知致シテ居リマス

○東委員 補助率ハ三分ノ二ト聞イテ居リ
マスガ、サウ云フコトデアリマスカ

○荷見政府委員 三分ノ二デゴザイマス

○東委員 此點ハ細カイコトハモウ申上ゲ
マセヌ、大體御趣意ノアル所ヲ伺ッテ結構デ
アルト思ヒマス

次ニ私ノ質問申上ゲタイコトハ、昨日農
林大臣カラ私ノ質問ニ對シテ御答辯ヲ戴イ
テ居ルノデアリマスガ、現行統制法ノ精神
ト實質ハ、公定米價ヲ定メテ、其範圍内ニ
於テ自由價格ニ依ッテ賣買ヲ許スト云フ建
前ニナッテ居ル、此精神ガ破レタ時ニハ統制
法ハ殆ド無力ト言ッテモ差支ナイト思ヒマ
スガ、昨年十一月本法施行以來統制法ノ下
ニ決定サレタ米價ハ、未ダ一回モ此公定米
價ト云フモノハ實現サレテ居ラヌ、何レモ
公定米價ヲ下廻ッテ居ルノデアリマスガ、是
ハ私ハ甚ダ失態デアルト思フ、獨逸邊リデ
ハ最近「ナチス」ガ公定價格ヲ農產物ニ立テ
テ、サウシテソレニハ非常ナ嚴罰ヲ以テ臨
ンデ居ル、嚴罰ヲ以テ小麥「ブッシュ」ガ

十八馬克ト云フヤウナ値段ヲ決メテヤッテ、
若シイカナイ時分ニハ十年以下ノ禁錮ニ處
スルト云フヤウナコトヲヤッテ實行致シテ

居ル、或ハ商業權ヲ剝奪スルトカ色々苛酷
ナコトヲヤッテ居ル、苟モ公定米價ト云フ
モノヲ定メタ以上ハ、ドウシテモ米價ヲ維
持スルト云フコトニ努メナケレバナラヌト

思フ、今日デモ矢張公定米價ハ清算市場或
ハ正米市場カラ見ルト云フト、一圓二十三

錢ハ下廻ッテ居ル、斯ウ云フコトヲ漫然トシ
テ看過スルト云フコトハ、如何ニモ此統制

法ガ無力デアル、サウシテ又法ノ精神デナ
イト思フノデアリマスルガ、私ハ絶エズ自

分ガ主張シテ居ッタノデアリマスルガ、此統
制法ニ依ッテ政府ガ買上ラスルト云フコト

ハ、是ハ第二第三ノ意義ヲ有ッテ居ッテ、第
一義ハ是ハ傳家ノ寶刀ニ屬スルモノデア

ル、傳家ノ寶刀トシテ買上ゲルゾ、公定米
價ヲ定メテ之ニ依ッテ買上ゲルト云フ威力

ヲ持ッテ居リサヘスレバ、是ハ政府ガサウ買
ハナクテモ濟ムノデアル、市場價格ヨリハ

五十錢デモ一圓デモ上廻ッテ行クト云フコ
トニナッタナラバ、是マデ政府ガ一千萬石以
上モ米ヲ買ハナケレバナラヌト云フヤウナ
コトハナイ、是ガドウモ今日マデ確實ニ實
現サレテ居ラヌト云フコトハ、甚ダ遺憾デ

アルト思フ、此點ニ付テ政府ハドウ云フ風
ニ御考ヘニナッテ居ルカ、私共ハ米ガ非常ニ

大量生産デアルカラシテ、公定米價ハ維持
ガ出來ヌト云フヤウナコトハナイト思フ、

例ヘバ此米ヲ買上ラスル手數ノヤウナモノ
デモ、先ヅ書面ヲ出シテ、サウシテ買上ノ

希望ヲ申出ル、サウスルト往復十六回ノ書
面ヲ要スル、出願ヲシ、許可ヲシ、或ハ倉

庫ニ入レテ、所謂米穀證券ヲ交付スル迄ハ
非常ナ日數ガ掛ル、大體七十日モ八十日モ

掛ルト言ッテ居リマス、今日ハ非常ニ簡便ニ
ナッタト云フコトヲ承テ居ルノデアルガ、

併シ今日ト雖モ尙ホサウ云フ非常ナ煩瑣ナ
手續ガアルト思フ、斯ウ云フ風ナコトヲ多

少簡便ニスルトカ、或ハ季節的調節ノ上デ
モ、朝鮮カラ出廻ル米ガ多イノデアリマス

カラ、今日ハ大體朝鮮カラ來ル米ニ依ッテ大
都會ノ米ハ皆消費サレテ居ル、此方面ノ季

節的調節ノ思切ッテ施設ラスル、一千萬石買
フノハ、初ノ三百萬石デモサウ云フ方面ニ

農林大臣ハ御考ハナイノデアリマスカ、又
從來ノ通りニ下廻ッテ居ッテモ、紙ノ上デ定ッ

タ價格デアッテ、實質ハドウデモ宜イト云フ
ヤウナ御考デアルノカ、其點ヲハッキリシタ

御答辯ト御覺悟トヲ承リタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 公定米價ヲ定メテ、最低
價格ニ依ッテ政府ハ幾ラデモ買上ラスルト

云フコトニ、統制法ガ規定サレテ居リマス
所以ノモノハ、矢張公定米價、最低價格ト

云フモノヲ、ソレ／＼ノ集散ノ中央市場ニ
於テ維持シテ行カウト云フ趣旨デアルコト

ハ申ス迄モゴザイマセヌ、隨テ統制法ノ運
用ニ當ッテハ、中心市場ニ於ケル米價ガ最低

價格ヨリ下ラナイヤウニ、最低價格ニ依ル
買上其他ノコトヲ敏活ニシテ行カナケレバ

ナラヌト云フコトモ、勿論吾々ノ考ヘテ居
ル所デアリマス、唯何分ニモ昨年ノ米ガ稀

有ノ大増産デアリマシテ、米價ト云フモノ
ニハ色々ナ人氣、氣分ガ作用致シマスノデ、

單リ定期市場ノ問題ダケデナク、實米ノ方

ニ於キマシテモ、矢張其氣分ノ作用ガ、的

確ニ最低價格ヲ中心市場ニ於テ維持スルト

云フコトニナリ兼テ居ルコトヲ、吾々ハ非

常ニ遺憾ニ思ッテ居リマス、此米穀統制法ノ

運用ヲ始メテ來マシタ當初ニ於キマシテ

ハ、相當ナ無論用意ハシテ掛ッタノデアリ

マスケレドモ、有體ニ申上ダレバ、千萬石近イ米ヲ買フデアラウト云フコトハ、統制法ノ運用ニ入ル前ニハ、ソレ程實ハ豫想ヲ致シテ居ラヌコトデアッタノデアリマス、併ナガラ今年ノ大增産ガ異常ナ結果デアリマシタノデ、可ナリ多額ノ米ガ殺到シタ、賣渡申込ニ政府ハ應ジナケレバナラヌコトニナリマシタ、當局ニ於キマシテハ殆ド晝夜兼行、困憊シテ倒レルニ至ルヤウナ有様ニナッテ、各地ノ米穀事務所及中央ノ米穀事務所等ガ活躍致シタ次第デアリマス、漸次總テノコトガ順序ガ立ッテ參リマシテ、米穀證券ノ交付ニ致シマシテモ、亦賣渡米ノ受入ニ致シマシテモ、出來ル限り、事情ノ許ス限りニ於テハ、敏活ナ處置ガ段々ト行ハレルヤウニナッテ參ッタノデアリマス、ソレト同時ニ市場ニ於ケル過剩ナ米ガ、漸次政府ノ手ニ吸收サレルコトニナリマシタノデ、自然ニ値ガ引締ッテ、最低價格ニ近イ所ヘト段段ト接近ヲシテ參ッタ譯デアリマス、併シマダ一種ノ人氣ノ作用ガ之ヲ完成スルニ至ッテ居リマセヌケレドモ、將來ノコトハ私ガ神ナラヌ身ノ豫言スルコトハ出來ヌノデアリマスガ、相當ニ政府ノ手ニ是ガ收マリマシタ後ニ、全體ノ需給ノ狀況ノ均衡ガ取レテ來ルヤウニ相成ルト思ヒマスカラ、サウ

シマスケレバ矢張統制法ガ當初理想トシテ常ニ懷イテ居リマシタ、米價ヲ最低價格及最高價格ノ間ニアラシムルト云フ方向ヘ進ンデ參ルコト、思ヒマス、唯間ニアラシムルト申シマスケレドモ、供給ノ非常ニ不足スル場合ハ、米價ハ上値ノ方ニ絶エズ接近ヲ致シマスシ、供給ノ方ノ多イ時ニハ、ドウシテ下値ノ方ニ接近スルト云フコトニナル形デアルト思ヒマス、供給ガ平準ヲ得タ時ニハ、一般ノ經濟事情ノ方カラ多クハ影響ヲ受ケマシテ、米價ノ高低ガ其中間ニ於テ色々ニ動搖ヲスルト云フコトニナルデアラウト思ヒマス、今日朝鮮臺灣ノ米ガ、御話ノアリマシタヤウニ出來秋カラ順次内地ヘ澤山入ッテ來ル形勢ガアリマスコトガ、此内地ノ米價ガ統制法ノ理想トシタ所ノ最高最低ノ真中ヘ入り込ムコトニ、可ナリ障礙ヲ與ヘテ居ルト云フコトモ事實デアラウト思ヒマス、之ニ對スル處置トシテ、季節調節ノ如キ方法モ、御話ノ通り出來ル限り吾々ハ敏活ニ行ッタ積リデアリマス、尙ホ併シ此季節調節ノ方法ノミヲ以テ満足スルコトハ出來マセヌノデ、今回臨時ノ立法トシテ、更ニ進ンダ買上ガ出來ルヤウニト云フノデ、此制度ヲ立テ、實行シテ見タイト考ヘタ譯デアリマス、統制法ノ理想トスル所

ハ飽マデ最低最高價格ノ間ノ平衡ヲ得タイト云フコトデアリマスガ、併シ統制法自身ガ其爲メドウ云フ働キヲスルカト申シマスルト、最低額ナラバ幾ラデモ買フ、最高價格ナラバ幾ラデモ賣ルト云フ、此二ツノ方法デ致シマス、統制法ガ堅實ニ守リ、死守スル線ハ此二ツノ線デアリマス、其外ノ色々ナ働キ、粃貯藏ノ如キ、或ハ販賣組合等ノ如キ、自治的作用ノ如キ、色々ナ事柄ガ之ヲ中ニ追込ム働キヲ實ハ致スベキモノト吾々ハ考ヘテ居ルデアリマスガ、唯經濟界ノ實際、殊ニ今日ノヤウナ内地外地ヲ通ジテノ米穀需給ノ狀況ノ異常ナ狀態ヲ呈シタ時ニ、ソレガ思フヤウニ參ッテ居ラヌト云フコトハ、吾々モ遺憾ト考ヘテ居リマスガ、併シ是ハ統制法自體ノ運用又ハ效力ノ全クナイト云フコトデハナクシテ、僅ニサウ云フ點ノ遺憾ヲ境目ノ所ニ於テ現レテ居ルト云フコトデアルヤウニ感ズルノデアリマス

○東委員 政府ノ御苦心ノ在ル所ハ私モ十分諒ト致シマス、此大量ノ米ヲ扱ヒマスコトハ尋常一樣ノコトデ出來ルコトデハナイ、殆ド寢食ヲ忘レテ御苦心ニナッテ居ルコトモ能ク承知致シテ居リマス、併シ私ガ昨日モ申上ダマシタ通り、農家ノ生産シタモノヲ販賣スルノハ、十一月カラ十二月、一月、二月、三月、是デ約七割ノ米ハ市場ニ出デシマフノデアリマスカラ、今日マデニ於テ或ハ或ル程度ノ公定價格ヲ維持シ、尙ホ農相ノ理想トスル中心點ノ最高ト最低ノ中ニ持込ンデ行クト云フ理想ガ、是ガ實現ヲシナイト云フコトハ甚ダ遺憾デアルガ、是カラ後ニ矢張理想ハ或ル程度マデ實現ヲスル期待ヲ有ッテ居ルト云フ御説明デアリマスガ、ソレデ私ガ甚ダ遺憾ニ思フノハ、モウ既ニ三月ヲ過ギテ四月ニ入レバ各農家ノ生産シタ米ト云フモノハ大體市場ニ出デシマフ、政府ガ買ッテシマフ、又外ニ移出シテシマフ、眞ニ貯藏シテ持ッテ居ルモノハ一部ノ地主ト云フヤウナモノ、或ハ商人ト云フヤウナモノ、手ニ屬シテ來ルノデアリマスガ、最近デモ此米價ノ調節ノ、政府ガ提案ヲスル需給調節會計、是ガ完成ヲスルト云フノデ、或ル程度ニ米價ヲ維持ガ出來テ居ッタ、所ガ是ガ非常ニ不徹底デアルト云フノデ一躍シテ五十錢モ下ッテ居ルノデアリマス、サウ云フコトニナリマス、政府ハ段々買ハナクテモ宜イモノヲ買ハナケレバナラヌヤウニナシ、其處ニ非常ニ私共ト考ガ違フ所ガアリマス、ソレデ若モ眞ニサウ云フ理想ヲ實現シヨウト思フナラバ、矢張此三月マデニ、遅クト

モ三月マデニサウ云フ理想ヲ實現シナケレバ農家ニハ效能ハナイ、却テ六月トカ七月ノ端境期ニナルト、貧農ハ米ヲ買ハナケレバナラスト云フヤウナ狀況ニアルノデアリマスカラ、此點ニ付テ季節調節ニ百六十萬石今日マデ買ッテ居ルガ、朝鮮ヲ合セルトマダ百五十萬石モ買フ餘力ガアルノデアリカラ、今殺到シテ居ル三百五十萬石モ、調節ヲサレルト云フ爲ニ、此外地ノ米ト云フモノハ今殺到ヲシテ居ル、例年ヨリハ非常ニ多クノ數ガ殺到シテ居ルノデアリガ、之ヲ季節調節デ兎ニ角百萬石モ直グ買フト云フコトニナレバ、モウ市場ニハ一圓二圓直グ響クノデアリマス、サウ云フヤウナ點ニ想ヲ致セバ、是ハ運用ノ妙ヲ得レバ相當ノ效果ガアルト思フガ、其點ガ甚ダ遺憾ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、必ズ統制法ノ命ズル所デアルカラ此買上ノ申込希望ガアレバ幾ラデモ買フ、此點ハ宜イガ、幾ラデモ買フト云フコトガ目的デハナイノデアリマス、或ル程度ニ米價ヲ維持シテ、サウシテ農家ノ收入ガ豊富ニナッテ、農村ガ助カルト云フ意味ニ於テ、今日マデ幾多ノ苦心ヲ重ネラレテ居ルコト、考ヘルガ、其點ガ如何ニモ私共ハ當局者ノ御考ト吾々ノ考ト違フ點ガアルト思フガ、斯ウ云フ方面

ニ付テモウ少シ御考ヲ持ッたらドウカト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此點ニ付テ尙ホ御考ガアルナラバ、一ツ御考ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○荷見政府委員 只今御尋ノ點ハ色々御尤ナ御話ト伺ッテ居ルノデアリマスガ、私共モ斯ウ云フ點ニ付テハ考ヘテハ居ルノデゴザイマスガ、ドウモ時機其他ノ米穀事情ガ、今直チニドウト云フコトヲ決シ兼ねテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソレデ此處デハハッキリ申上ゲル譯ニハ參リマセヌノデスガ、御話ノ點ハ能ク考ヘテ見マス

○河野委員 チョット關聯シテ——今ノ政府委員ノ御答辯デアリマスガ、私モ東サント全然同感デアリマシテ、買上餘力ノアルモノヲ、外地米ノ調節ヲドウシテ殘シテ置クノデアルカ、米價ガ適當ノ値段ニ維持サレテ居ルナラバ宜イガ、維持サレテ居ラヌノニ、買上餘力ガアリナガラヤラナイ、而モ昨日請求シテ戴イタ表ヲ見マスト、申込ハ政府ノ買上ニ決メタヨリ餘計申込シデ居ル、申込ガナクテ買上ゲナイデハナイ、申込ガ多イ、ソレヲ三錢五錢ノ値段ニコダハッテ——實際事情ヲ調ベテ見ルト僅カ三錢五錢ノ値段ニコダハッテ五萬、十萬、モウ少シ餘計取レバ宜イノヲ取ラヌ、其米ガ内地

ノ米價ヲ壓迫シテ、現ニ東京大阪ノ期米ノ狀態ヲ調ベテ見ルト、大阪ハ何時デモ東京ヨリ五十錢、六十錢下廻ッテ居ル、是ハ明ニ外地米ノ壓迫ト云フコトハ何ヨリノ證據デアル、而モ今申上ゲタヤウニ外地米ヲ調節スル金ガナイナラバ宜イガ、アリナガラヤラナイ、ヤラナイト云フコトナラバ、此法律ヲ作ッテモ、幾ラドソナモノヲ作ッテモヤラナケレバ駄目デアル、去年此議會デ協賛ヲ求メル時ニ、拓務大臣ハ此處ニ御出デニナラヌカラ甚ダ遺憾デアリマスガ、農林大臣モ拓務大臣モ此統制法ヲ通シテ、之ニ加フルニ朝鮮デハ穀貯藏ヲヤッテ、季節調節ヲヤレバ、是デ以テ當分ノ間ハ絕對ニ米穀對策ハ完全デアルト言ハレテ居ル、昨晚モ私ハ去年ノ委員會ノ速記録ヲ讀ンデ見ルト、拓務大臣モ農林大臣モモウ一遍讀ンデ見レバ恥カシイヤウナ大キナ口ヲ利イテ居ル、此統制法ニ加フルニ穀ノ貯藏ヲヤル豫算ヲ別ニ協賛願ッテ居ルカラ、是ダケヤレバモウ完全ナモノデアルト、ハッキリ拓務大臣ハ言ッテ居ル、ソレニ決メタコトモヤラズニ放ッテ置イテ、金ガ無イナラモ兎ニ角、金ハ餘ッテ居ル、三百萬石買フ豫定ヲシテアルノニ買ハズニ置イテ、サウシテ米ガ安クテ困ル、外地カラ殺到シテ困ルト政府ハ言ハレルガ、此點

ニ付テハ農林大臣カラ明確ニ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ、現在デモ米ハ安イ、少クトモ最低價格ニハ速ニ戻スヤウニシナケレバナラス、私ハ何モ無闇ニ米價ヲ上ゲロト言フノデハナイ、而モ金ガ餘ッテ居ルノニ、其餘ッテ居ルモノヲ使ハナイノハ、何かソコニ特別ナ理由ガアルカドウカ、忙シクテ手が足りナケレバ、手ヲ殖シタラ宜シイ、米穀部長一人デ足りナケレバ、モウ一人部長ヲ殖シタラ宜シイ、農林大臣ハ何故ニ買上ヲナサラズニ放ッテ置クカト云フコトヲ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ

○後藤國務大臣 買上ガ出來ルノニ買ハズニ放ッテ置クト云フ譯デモ何デモアリマセヌ、季節調節ノ買上ノコトニ付テハ、其時ノ狀況ヲ見テ、出來得ル限り適切ナ手段ヲ講ジテ居ルノデアリマシテ、今後ト雖モ其方法ハ講ズル積リデ居ルノデアリマス、中心市場ニ於ケル米價ガ最低價格ヲ下廻ッテ居ル狀況ニアルト云フコトハ、吾々モ遺憾ニ思ッテ居リマス、併ナガラ昨年非常ニ大キナ口ヲ利イタデハナイカト言ハレマスガ、サウ云ウ大キイ口ヲ利イタカドウカ知リマセヌガ、相當確信ノアル御答ヲシタト思ヒマス、併ナガラ昨年ノ米ノ農作ガ、斯様ナ異常ナモノデアッタト云フコトハ、實ハ

吾々全ク想像シナカッタ事デアリマシテ、サウ云フ結果ガ、實際ノ運用ノ時ニ當ッテ、多少ノ手違ヒヲ來タシタト云フコトモ、御諒承ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、併シ斯ノ如キ一回ノ經驗ニ依ッテ、將來再ビ此經驗ヲ繰返サナイヤウニ色々ナ事ヲ準備シテ見タイト、只今折角苦心シテ居ル譯デアリマス、唯如何ニ供給過剩ノ時デアッテモ、如何ニ買入資金ヲ多ク有ッテ居ッテモ、如何ナル手段ヲ講ジテモ、何時デモ最低價格ニギリ／＼ニキチット中心市場ノ米價ガ釘付ニナルカ、或ハ上ヘ上ッテ行タヤウニ、屹度ナルカドウカト云フコトハ、是ハ何トモ私ハ請合ヒ兼ネルト思ヒマス、供給ガ均衡ヲ得テ居ルカ、或ハ供給ガ少イト云フ風デアレバ、是ハ殆ド心配ハアリマセヌケレドモ、何シロ米ガ生産サレテ間モナク色々ノ經濟ノ事情ニ依ッテ、賣出サレテ參リマシテ、ソレニ立向ッテ政府ガ買上ゲマスルガ、民間ノ取引商人其他賣ラウト云フ者ト買ハウト云フ者トガ、全國ニ無數ニ入り亂レテ、此市場ノ相場ト云フモノヲ作出スノデアリマスカラ、是ハドウモ思フ通りニキチット必ズ行クト云フコトハ、私ハ何人ト雖モ斷言ハ爲シ得マイト考ヘテ居リマス、實ハ出來ル限りソレニ近付ケルヤウニ、出來ルダ

ケ其差ヲ小サクスルヤウニ努力ヲシテ、サウシテ旨ク行ケバ上ヘ持ッテ行クト云フコトニ努メテ居ルト申スヨリ外ハナイト思ヒマス

○河野委員

關聯事項デアルカラ一寸御伺

致シタイ、何レ悠ク農林大臣ノ御意見ヲ伺フコトニ致シマスガ、今ノ御意見デハ出來ルダケ努力シテヤッテ居ルト仰シヤルガ、先程東サシノ御意見モアリマシタガ、今月ノヤウニ外地米ガ入ッテ來ル時ニ、此季節調節ヲヤラナイデ、一體何時季節調節ヲオヤリニナル御積リデアルカ、今之ヲヤラヌデ、ドウ云フ場合ニ此季節調節ノ必要ガアルノカ、私ハ甚ダ疑問ダト思フ、モウ今月ノ如キハ遅クトモ今月來月ニハ、最近ノ實情デハ外地米ノ輸入ヲ制限スルカモ知レナイト云フ噂ガ立ッタノデ、外地米ガドン／＼殺到シテ來テ居ル、此時ニ季節調節デ以テ、其法規ノ許ス範圍ニ於テ運用ヲ爲サラヌデハ、オヤリニナル時機ハ絶對ニ私ハナイト思フ、其通りダト呼フ者アリ、而モ農林大臣ハ今非常ニ努力ヲシテ御出デニナルト仰シヤルガ、私ハ農林大臣ノ努力ハ認メマス、併シソレハ消極的ノ努力デ、唯農家ガ持ッテ來ルカラ、ソレヲ買フ爲ニ徹夜シテヤルダケデアル、農林大臣ハ斯ウ云フヤウニ資金

ガ有ッテモ、調節スル爲メ積極的ニヤラヌ、即チ積極的ニ出動爲サラズシテ、唯持ッテ來ルモノヲ買フコトニ努力スルダケデアル、一體米價ヲ維持スル爲ニハ積極的ニ努力シタト云フ例ヲ私ハ見ナイ、更ニ農林大臣ハ只今何人モ豫想出來ナカッタ大農作ダト仰シヤッタガ、昨年ノ速記録ニハ何ト書イテアリマスガ、今度ノ追加豫算六百萬圓、是デ豐作ガ二年續イテモ大丈夫デアル、季節調節トシテ一年三百萬圓見デアルカラ、一年五十萬石ヅ、二年間買ッテモ宜イダケノ資金ヲ準備シテ置イタカラ、是デ大體心配ハアリマセヌ、又サウ云フ豐作ガ續クトハ思ヒマセヌカラ、是デ満足デアルト仰シヤッタ、之ヲ具體的ニ今年ニ當嵌メマシタラドウナリマスガ、未ダ御買上ニナラヌ分トモ千二百萬石、即チ千萬石ト一寸デアリマス、サウシテ見レバ去年ノ言明ハドウナル、今年ノヤウナ豐作ガモウ一年續イテモ大丈夫ダト云フ言明ヲ去年ノ委員會デ爲スッテ居ル、ソレガ今年ノ豐作ト云フモノハドレダケデアリマスガ、僅カ二百萬カ三百萬ノ手違ヒデハアリマセヌカ、アトハ消費ノ減退デ、是ハ農林大臣ノ本當ノ見込違ヒデアリマス、決シテ天然自然的ノ壓迫デモ何デモアリマセヌ、人智ヲ以テスレバ、不可抗力ノ出現

デモ何デモアリマセヌ、現在ノ經濟界ノ實情ト、現在ノ農村ノ實情、又一般財界ノ狀態ヲハッキリ見極メテ、消費ガドウナルデアラウカト云フコトヲ、去年カラ考ヘテ御出デニナレバ、大シタ事ハナカッタノデアアル、ソレヲ宜イヤウニバカリ解釋シテ、サウシテ二百萬カ三百萬ノ違ヒノ六千七百萬ト云フ數字ハ今マデニモアッタノデス、ソレニ較ベテ去年ハドレダケ多カッタト云フト、ソナニ人智ヲ以テ豫想スベカラザル大豐作ト云フ程ノモノデハアリマセヌ、サウシテ見レバ、唯人智ヲ以テ豫想スベカラザル大豐作大豐作ト仰シヤルケレドモ、ソレニ近い所ノ豐作ガ二年續イテモ、ソレダケノ準備ハ爲シテアルト言明シテ御出デニナル、ソレヲ私ハ甚ダ遺憾ニ思フ、今ノ外地米ノ問題ニ付テハ、ドウ云フ工合ニ爲サルカト云フコトヲ伺ヒマス、他ノ問題ハ何レ私ノ質問ノ番ノ時ニ致シマスカラ、其點ダケ此處デ明確ニ願ヒマス

○後藤國務大臣

其點ニ付キマシテハ只今

政府委員カラ申上ゲタ通りデ、吾々ハ善處シタイト常ニ時機方法ヲ考ヘテ居リマスルガ、只今何時ドウ云フ事ヲスルトモシナイトモ申スコトハ、此席デハ出來兼ネマストモ申スコトハ、只今問題ニナリマシタ事ハ、私

○東委員

只今問題ニナリマシタ事ハ、私

ハ非常ニ遺憾ダト思フ、河野君ノ言フ通り、私モサウ云フ風ニ考ヘテ居ル、ダカラ上ゲル時ニ上ゲサヘスレバ、何モ政府ハサウ餘計ナ國費ヲ使フ必要ハナイノデアル、今米價ガ下廻テ居ルト云フコトモ極メテ明瞭デアリマス、仁川、木浦ナドニ非常ナ米ガ集積シテ居テ、サウシテ何カ外地米ノ統制ト云フヤウナ名前ニ威嚇サレテ殺到シテ來ルモノヲ此儘ニ置ケバ、ダラ／＼幾ラデモ買ハナケレバナラヌコトニナル、季節調節ノ餘力ガ五十萬石マダアルシ、又内地デ買フベキモノモアルノデ、百萬石ノ餘力ハアルカラ、最初之ニ手ヲ著ケテ、外地米ノ買上ヲスルト云フコトニナレバ、餘リ其多クヲ買ハナイデモ、米價ニ反映シテ、略、或ル程度マデノ値段ノ維持ガ出來ルト云フコトニナル、サウスルト政府ニハ賣込ミニハ來ナイト云フ結論ニナッテ行ク、是ハドウシテモ傳家ノ寶刀デ、ヤハリ買上ト云フコトハ一ツノ傳家ノ寶刀ト云フヤウナ意味デヤラスト、國費ガ是デハ迎モ濫費サレテ堪ヘラレナイデアラウト思フ、此ノ點ハ餘リ執拗ニ申上ゲマセヌガ、恐ラク農林大臣、米穀部長等ハ、相當ニ成算ヲ有ッテ居ルト思ヒマスガ、此處デ説明ヲスルコトガ出來ナイ事情モアラウト思ヒマスカラ、餘リ多ク申上

デマセヌ、唯一日モ早クサウ云フヤウナ方針ヲ執ッテ戴キタイト思ヒマス
ソレカラ昨日私ガ農林大臣ニ此米穀資金ノ一億五千萬圓増加ハ、外地米ノ昭和八年度產米ト、九年度產米トヲ購入スル、又ソレニ對シテ豫備金トシテ三億萬圓ヲ何時デモ使ハレルヤウナ準備ヲスル、之ニ依ッテ外地米ノ統制ヲスルト云フコトハ、買上ヲスルコトデアルガ、ソレハ米價ノ調節ト云フ上ニ於テハ、所謂價格ノ調節デアッテ、量ノ調節ハ必要デナイ、價格ノ調節ガ出來ルカト云フ質問ヲ致シタ所ガ、農林大臣ハ甚ダ心許ナイ御説明デアッタ、幾分カ效力ハアラウト云フ御説明デアッタ、是デハ吾々此案ヲ審議シテ贊成スル勇氣ガドウシテモ出ナイ、七百萬石御買ニナル、ソレハ昭和八年度ト又來年ノ十年度トニ對シテ——米穀年度カラ云ヘバ九年度ト合セテ七百萬石ヲ買フ御覺悟デアリマセウガ、之ヲ買ッテ米價ノ或ル程度ノ維持ガ出來ルデアラウト云フコトニ付テ、非常ナ確信ガナケレバ、吾々此案ニ贊成出來ヌノデアリマス、只今マデノ御答辯ト今後ノ御方針ヲ、從來ノ經過ニ依ッテ徵スルト、唯ダラ／＼ニ外地ノモノヲ七百萬石モ買フト云フコトニナルト、而モ時價ニ依ッテ買フト云フコトニナレバ、朝鮮ノ外地

米ヲ徒ニ買ッテ、サウシテ増產計畫ニ陥ッテ、サウシテ政府ガ數億ノ國帑ヲ濫費ト言ヘバ語弊ガアリマスガ、支出シナケレバナラス、財政上ニモ非常ナ惱ミヲ生ズルノデアリマスガ、此點ガドウモハッキリシテ居ラス、ソレデアルカラ此地米ヲ七百萬石買ッテ、之ニ依ッテ外地米ハ暫定的デアリマスガ、之ニ依ッテ或ル程度ノ米價調節モ出來ル、外地米ノ統制モ之ニ依ッテ出來ルト云フ確信ガナケレバ、吾々ハ此案ニ贊成スルコトハ出來ナイ、況ヤ一億五千萬圓ノ上ニ三億圓、即チ四億五千萬圓モ資金ガ要ル、唯徒ニ從來ノヤウニ七百萬石増加シテ、ソレダケ餘裕ノアッタモノヲ、一年經タヌ中ニ使ヒ盡シテシマッテ、四億五千萬圓使ッテモ何等ノ效果ヲ發揮シナカッタト云フヤウナコトデハ、吾々如何ニシテモ協賛スル勇氣ヲ持ツコトガ出來ヌノデアリマス、此點ニ付テモウ少し覺悟ノアル所ヲ——確信ノアル所ヲ、吾ガ是ナラ安心ガ出來ルト云フ所ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

ス、又效果アラシメルヤウニ資金ヲ運用シテ參リタイ積リデアリマス、併ナガラ是デ完全デアアルカト云フト、完全トハ申サレナイ、是デ如何様ニデモ内地ノ米價ト云フモノヲ、買ヒサヘスレバドン／＼最底ノ値段マデ下ゲナイデ、高イ所ヘ吊上ゲテ行クコトガ出來ルカドウカ、效果ガアルカドウカト云フコトハ、私ハサウダトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス、併ナガラ今日ノヤウナ米穀ノ供給過剩、殊ニ外地米ガ澤山殺到シテ、内地ノ米價ヲ壓迫シテ居ル情況ヲ相當ニ緩和シテ、米價ノ調節ノ上ニ效果ノアルモノデアアル、又アラシムルヤウニ運用シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○胎中委員長 東君ガ總理ニ對スル質問ヲ保留シテ置キタイサウデアリマス、高田耘平君ニ質問ヲ許シマス

○高田委員 私モ總理ニ伺ヒタイ點ガアリマスガ、本日御出席ガナケレバソレハ保留シマス、大體ノ問題カラ伺ヒマスケレドモ、實ハ速記録ガマダ出來テ居リマセヌカラ、昨日總理大臣ガドウ云フ御答ヲ東君ニナサツタカハッキリ分リマセヌ、根本問題ハ、先ヅ今回御提案ニナツタモノハ一年限りノモノデアルト云フコトデアリマス、但シ其根本問題ハ、此間ノ農林大臣ノ説明デハ、政府

ハ引續キ朝鮮米、臺灣米ニ對スル根本對策ヲ考究シ、更ニ成案ヲ得ルコトニ致シタイ、斯ウ云フノガ農林大臣ノ本案ノ説明ニ出テ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ此間河野君其他ノ質問ノ後ヲ受ケテ、ソレデハ足りナイデハナイカト云フコトヲ伺ヒマシタ所ガ、御答辯ガアリマシタケレドモ、一寸ハッキリシナイ、私共此三案ニ同意スルコトガ出來ルカドウカ、勿論今尙ホハッキリ分リマセヌガ、兎ニ角根本問題ヲ解決シナケレバナラスト云フコトハ、總テノ人ガ一致シテ居ルヤウニ思ヒマス、併シ私ノ考ヘル所デハ、唯農林大臣ガ御説明ニナッタヤウニ、朝鮮米、臺灣米ニ對スル根本對策ト云フコトダケハ、ドウシテモソレハ本當ニ根本對策ト言ヘナイノデハナイカト思ヒマスケレドモ、果シテ内地ニ關シテノ根本對策ハ立テナイデ、朝鮮臺灣カラ移入スル米ニ付デダケ根本對策ヲ解決スル意味デゴザイマスカ否ヤヲ伺ヒタイ、何故サウ云フコトヲ伺フカト申シマス、朝鮮臺灣ニ對スル根本問題ト云フコトニナレバ、結局移入ヲ制限スルト云フコトガ一つノ問題デ、同時ニ朝鮮臺灣ニ於テドウ云フコトヲ爲サルカ知リマセヌケレドモ、先以テ代作ヲ獎勵スルカ、或ハ又朝鮮ノ人ニ成ルベク米ヲ食フヤウニ

スルトカ、主トシテ代作ノ問題デアリマス、朝鮮臺灣ノ移入ヲ制限スルト云フ問題ガ纏ルトスレバ、今デモ纏ル筈デアル、今纏ラナイデハドウモ纏ル時期ガナイカト思フヤウナ感じガスル、内地ノ農民關係カラ申セバ、朝鮮臺灣ノ米ニ依ッテ壓迫セラレタ爲ニ、内地ノ米ノ値段ヲ相當ニ維持スルコトガ出來ナイデ、現ニ統制法ガ出來タケレドモ、常ニ最低基準以下ニ米價ガ廻ッテ居ルノハ、朝鮮臺灣ノ米ガ入ルカラデアルト考ヘナケレバナラスト、故ニ之ヲ制限シナケレバナラスト思ヒマスガ、閣議ニ於テソレガ實行出來ナイト云フコトノ結果、一時限リノ此案ガ出來タモノト思ヒマスルガ、ドウシテモ内地ヲ合シタモノニ付テノ根本對策デナケレバ、本當ニ根本對策ト云フモノハ出來ナイノデハナイカト思ヒマスルケレドモ、農林大臣ハ果シテ此間御説明ノ通りノ朝鮮臺灣ノ移入米ニ付デダケノ根本對策デアリマス、ソレデ調査會ヲ設ケルト云フノハ、ソレニ付テノモノデアリマス、是非非常ニ重大問題ニナルノデアリマス、若シサウデアラバ私ハ調査會ヲ開ク必要ハナイヤウニ思フ、今デモ總理大臣ガ勇氣ヲ揮ッテ農林大臣ノ意見ニ同意スレバ、ソレデ出來ル、拓務大臣ガ辭職スルト言ヘバ辭

職シテモ構ハヌト云フ意氣デアレバ出來ルト私ハ思フ、所ガ出來ナイノデアリマス、今マデ今ノ内閣デ——或ハ後ノ内閣デモ中はハ面倒デス、故ニ私ハ根本對策ヲ立テルト云フコトガ、此間ノ本案ノ説明ノ時ノ農林大臣ノ御説明、朝鮮臺灣ノ移入米ニ付テダケノ根本對策デハナイカト思ヒマス、ソレドウ云フ御考デ居ラシヤイマス、ソレヲ伺ヒマス

○後藤國務大臣 米穀移入調節ノ臨時ノ法案ヲ提案致シマシテ、御協賛ヲ仰ギマシタ譯デ、其説明トシテノ移入米ノ調節ニ關スル點ダケヲ、私ハ提案ノ理由ノ説明ニ申上ダタノデアリマス、此臨時ノ買上ト云フコトノミヲ以テ、是デ終ッテ居ルト云フ譯ニハ參ラナイノデアリマス、矢張臺灣米ノ移入ノ調節ト云フヤウナコトモ、更ニ是レ以上ノ色々ナ方策ト云フコトニ付テハ、今後講究シテ成案ヲ得タイ、是ハサウ云フコトニ皆デ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ併シ米穀ノ問題ヲ内地外地ヲ通ジマシテ、全體ノ需給ノ調節ヲ圖ル、一ツノ米穀對策トシテ、只今ノ統制法ヲ運用シテ行クコトハ勿論デ、之ヲ實行シテ參リマスルコトシテモ、尙ホ其他ニ於テ基本的ナ問題ガ幾ツモアルノデアリマス、ソレハ御承知ノ通り生産統

制ノ關係ノ問題モアリマスルシ、内地外地ヲ通ジテノ生産政策等ノ大キナ問題ガ存在シテ居ルノデアリマス、是ヲモ無論政府ニ於テハ併セテ講究ヲシテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ趣旨デ今後政府ハ調査ヲ續ケテ參リタイト思ッテ居ルノデアリマス、只今御引用ニナリマシタ私ノ説明ハ、移入調節法案ニ即シテノ此臨時調節法ダケデハ、是ハ臨時ノモノデアル、尙ホ是レ以上ノ色々ナ方策ニ付テハ講究シヨウト考ヘテ居ルノデアルト云フコトヲ申上ダタノデアリマス

○高田委員 サウナケレバナラスト思ヒマスカラ、内地外地ヲ通ジテノ根本對策ヲ立テルコトノ意味ニ於テノ調査會ニ致シタイト思フノデアリマス

更ニ御同致シタイコトハ、今ノ米ノ過剩ノ問題ハ一時的ノモノデアルカ、或ハ又將來モ此狀態ガ續クモノデアリヤ否ヤト云フコトガ、極メテ根本對策ヲ決定スルニ方ッテ樞要ナル前提デアルト思フノデアリマス、ソコデ昨年ノ豐作ハ、成程内地外地ヲ通ジテ農林大臣ノ所謂異常ナル豐作デアリマセウ、斯ウ云フ異常ナル豐作ガ年々續クカドウカト云フコトハ、何人ト雖モ無論豫想ハ出來マセヌ、ソコデ大正十一二年頃カ

ラ米穀統制トハ申シマセヌガ、米穀委員會
カ何カノ調査ノ材料ニ、農林省デ將來三十
年ニ互ル米穀ノ需給ノ狀態ヲ豫測シタモノ
ガノッタノデアリマス、私共ソレヲ拜見シタ
コトモノッタノダ、其當時ノ大體ノ調査ニ依
ルト云フコト、中々今日ノヤウニ米ガ餘ル
ナント云フトハ豫期出來ナカタモノデ
アル、所ガ現狀ノ如キ現象ヲ來シテ、非常
ニ困ッテ居ルノデアルケレドモ、政府ハ何カ
是等ノ點ニ付テ最近御調べニナッタモノガ
多少ナケレバナラヌヤウニ思ヒマス、ソレ
ハ何デアルカト言ヘバ、昨年今ノ米穀統制
法ヲ統制委員會ガ決議ヲスル場合ニ於キマ
シテモ、生産統制ノ案ヲ立テルガ宜イデハ
ナイカト云フヤウナ、附帶決議ガアッタノデ
アリマス、其附帶決議ヲ全然無視シテ政府
ガ居ルナラバ、何モ言ハナイガ、生産統
制ト云フコトニ付テノ案ヲ立テルトスレ
バ、將來果シテ米ガ澤山ニナルノデアルカ
ドウカ、今こそ米ガ餘ッテ居ルガ、人口ガ是
カラ百萬殖エルトスレバ、朝鮮、臺灣モ其
意味ニ於テ人口ガ殖エルノデアリマス、私
ハ其詳細ハ分リマセヌガ、兎ニ角殖エル、
サウスルト今ノ過剩米ハ果シテ一時的ノモ
ノデアルカ、或ハ恆久的ト云フ言葉ハ當ラ
ヌデセウガ、今後十數年、或ハ二十年後ニハ、

此過剩ト云フコトヲ前提トシテ對策ヲ立テ
テ居ルノデアルカ、或ハ又全然昨年ノ豐作
ノミニ依ッテ出來タモノデアルカラシテ、今
後ハ不足スルモノト見テ立テルコトガ宜イ
ノデアルカ、ドウシテモ根本對策ヲ決メル
ニハ、今申上ゲマシタヤウナコトノ大體ヲ
政府ニ於テ御調査ガナケレバ立タナイノデ
ゴザイマセウ、ナケレバ仕方ゴザイマセヌ
ケレドモ、多少デモアルデアラウト思ヒマ
スカラ、大體ノ御見込デモアリマシタナラ
バ此處デ御漏シ願ヒタイト思ヒマスガ、如
何デゴザイマスカ

○後藤國務大臣 當局ニ於テモ今御尋ノ點

ニ付テハ、色々調ベハ致シテ居リマスケレ
ドモ、今申上ゲル程ノモノハアリマセヌ、
將來我國ノ米ガ足りナクナルカ、矢張餘ル
ノガ續クノデアルト云フ問題ハ、非常ニム
ヅカシイ問題デアルト私ハ思ヒマス、是マ
デ非常ニ不足スルト云フコトヲ申シテ居
タノデアリマス、然ルニ其不足ハ一時的
デナク恆久的デアルト考ヘテ、色々ナ計畫
モ進シタノデアリマス、サウスルト今度ハ
餘ルト云フ實情ガ今出テ居リマス、併シナ
ガラ此餘ルト云フ實情ガ一時的デアルカ、
此儘通り行クナラバ、何等變化セズニ此儘
進ムナラバ、恆久的デアルト云フコトモ出

來マセウガ、全ク是ハ色々ナ事情ト關係シ
テ參リマス、若シ經濟上ノ非常ナル繁榮ガ
參リマシテ、又人口ノ増加ノ速度等モ非常
ニ速ク、消費ガ増スト云フコトニナルト、今
マデノ需給ト云フコトニ付テハ直チニ一變
スルノデアリマス、デ我國ノ食糧政策トシ
テ見ル時ニハ、私ガ若シ茲ニ勝手ニ理想ヲ
言フコトヲ御許シ戴クナラバ、米ノ生産ノ
如キハ非常ニ彈力ヲ有ッテ居ナケレバナラ
ナイ、併シ是ハ將來ノ問題デアル、何時デ
モ多クモナレバ少クモナルト云フ彈力性ヲ
有ッテ居ナケレバ、此問題ハ中々解決出來ヌ
ト思ヒマス、併シ此五百萬戸ノ農家ガ殆ド
全部米ノ耕作ニ從事シ、又臺灣ノ農家ヲ合セ
レバ非常ニ多クノ者ガ從事シテ居ル、之ニ
向ッテ米ノ生産ヲ市場ノ需要ニ應ジテ彈力
性ヲ有タセルト云フコトハ、非常ニ困難デア
リマス、併ナガラ何トカシテ或ル程度ノ彈
力性ヲ有タセルト云フコトハ、將來ノ一ツ
ノ政策ノ方法ガ立チマスレバ、具體的ノ方
策ガ立チマスレバ、米ガモウ餘ッテ居ルカラ、
モウ是レ以上ノ米ノ出來ルヤウナコトハ一
切考ヘナクテモ宜イト云フコトハ、非常ニ
私ハ冒險デアルト思ヒマス、併ナガラ現在
及近キ將來ニ於テ過剩デアル狀態ハ事實デ
アリマスカラ、之ニ處スルノ方策ヲ以テ此農

家ノ經濟ノ困窮ヲ緩和スルコトヲ吾々ハ常
ニ考ヘテ行カナケレバナラナイノデアリ
マス、隨テ米穀對策ガ其中ニ恆久的ナ一ツ
ノ統制法ノ如キモノガ運用サレテ進シテ居
リマスケレドモ、其外ニ於テ過不及ヲ生ズ
ル時ニ、著シイ過剩、或ハ著シイ不足ヲ生
ジタ時ニ、他ノ補助工作ガ要ルト云フコト
ハ是ハ考ヘナイコトデアアリマセヌ、可ナ
リ有力ナ補助工作ヲスルコトガ必要デア
ルト思ヒマス、尙ホ進シデ米穀對策ノ理想的
ノモノニナリマス、色々ナ案ハアルト私
ハ思ヒマス、殊ニ我國ノ米ガ將來何時マデ
モ餘ルデアラウカ、又不足スルノデアルカ
ト云フコトヲ斷定シテ、ドツチカニ片付ケテ、
サウシテ米穀政策ノ現在ニ處シヨウトス
ルトハ、非常ニ困難デアルヤウニ感じテ居
リマス、サウシテ將來ノ見込ト云フコトニ
付テハ、吾々ハ色々ナ豫想ヲ立テ、見ナケ
レバナラヌノデアリマス、若シ現在ノ儘
デ、行クトシテ、即チ生産ガ今ノ儘デアリ、
又消費ガ今ノ儘デ進ムナラバ、將來何年、或
ハ何十年後ニハドウ云フ關係ガ生ズルカ、
勿論狀況ガ變化スルモノトシテ考ヘタラ、
十年、二十年先ニドウナルカ、色々ナ場合ヲ
想像シテ、前途ノ豫想ト云フモノヲ立テ、
政策ヲ考ヘナケレバナラヌコトハ、其通り

デアルト思ヒマスケレドモ、今御話ノヤウニ、直チニ何レカニ問題ヲ片付ケルト云フコトニ付テ答ヘロト云フコトニナリマスト、一寸ハッキリシタ御答ハ今申シ兼ネルト思ヒマス、長イ先行ニ付テノ御尋ドラウト思ヒマスガ、近キ將來ニ付テノ想像ハ凡ソ付クノデアリマス

○高田委員 御話ノ通り非常ニムヅカシイ問題デハゴザイマスケレドモ、色々ノ場合ヲ豫想シテ、何カ調査シタ案ガ出來ナケレバ、根本對策ノ御研究ヲナサルトシテモ、案ノ出來ヤウガナイト私ハ思ヒマス、故ニ今ノ機關ダケデ、ソレ等ノ根本方策ヲ立テル材料ヲ得ルニ十分デゴザイマシタナラバ、内外地ヲ通ジテ是等ノ調査ノ機關ヲ作ッテサウシテ根本問題ノ解決ノ材料ヲ、一日モ早く確實性ヲ帶バシメラレンコトヲ御願スル次第デアリマス

次ニ拓務大臣ニ伺ヒマス、先ヅ臺灣ノ方カラ言ヒマス、粳貯藏ハ内地ニ於テ六百萬石、朝鮮デ三百萬石、及臺灣ニ於テ一百万石カ百五十萬石ノ貯藏ヲナサルト云フ最初ノ計畫デアッタヤウニ聞イテ居リマスガ、其計畫ヲ中止シテ、臺灣ニ於テハ粳貯藏ヲセズニ、昭和九年度ノ米作ヨリ代作獎勵ヲスル、斯ウ云フコトニナッタヤウニ承ッテ居ル

ノデゴザイマスルケレドモ、其代作獎勵ノ

大體ノ計畫ハドウ云フモノデアリマスカ、私ハ是ハ書面デ認メテ御出シテ願ヒタイト思ヒマス、御話ヲ承レバ分ルヤウデゴザイマスケレドモ、ソレヨリモ書面ニ認メテ、ドウ云フ計畫デ、或ハ補助金ヲ出ストカ出サナイトカ、反別ハ幾ラトカ、代作獎勵ニ付テノ

——粳貯藏ニ代ハル代作ニ付テノ、其問題ニ即シテノ計畫ヲ御示シテ願ヒタイト思フ、是ハ文書デ願ヒマス、明日デ宜シウゴザイマス、第二ニ朝鮮及臺灣ノ方ノ方ニ御答ヲ願ヒタイコトハ、例ヘバ移入制限ガ出來タト致シマシテモ、若シ移入制限ヲスルト假定致シマシテモ、結局朝鮮臺灣ニ於テ起ル問題ハ、移入制限ハ内地ニ對シテ朝鮮八百萬石、臺灣四百萬石ト云フヤウニ限定シテ、而シテ今日迄ノ趨勢ヲ以テ進メバ、何カ特殊ノ方法ニ於テ米ノ增收ヲ抑ヘル方法ヲ講ゼナケレバナラヌ、ソレハ或ハ増殖計畫ヲ打切ルコトモ其一ツデゴザイマス、併ナガラソレノミデハ中々ニ抑ヘ切レナイ、結局サウスルト代作ノ獎勵ト云フコトニナルドラウト思ヒマス、先程拓務大臣ノ御説明ノ一端ニ、何カ代作ニ付テノ案デアルヤウデアリマス、米ヲ獎勵スルコトノ方針ヲ變ヘテ、サウシテ棉花獎勵ノ方針ト云フコトニ

ナッテ居ル、尙又臺灣ノ方ニ於テモ、代作ノ方針ヲ執ラナケレバ、是モ抑ヘ切レナイト思フ、サウスルト結局將來ニ於テ代作ヲ獎勵ルトセバ、其代作ニ對スル代作可能地ノ面積ハ凡ソ幾ラ位アルカ、今水田トナッテ居テ米ヲ穫ッテ居ルガ、是デハイカナイカラ棉花作ニシヨウ、唐芋ヲ作ラウト云フヤウナ意味ニ於テノ可能地ハ幾ラ位アルカ、幾ラ政策ヲ立テ、モ、實際之ニ適シタ土地ガナケレバ實行ガ出來ナイ、實行スルニハ誠意ガナケレバ是モ亦不可能デアル、誠意ハアルト見ナケレバナラヌガ、誠意ハ幾ラアッテモ、土地ガナケレバナラヌ、其代作可能地トシテノ反別、代作ヲ獎勵スル場合ニ、特殊ノ補助金デモ總督府ヨリ支出シテ、棉花作ニ轉換サセルノデアアルカ、甘藷作ニ轉換サセルノデアリマス、之ニ對シテノ大體ノ計畫ヲ承リタイト思ヒマス、是モ文書デ宜シウゴザイマス、文書ノ方ガ却テ誤リナイト思ヒマス、拓務大臣ノ御話ニハ何カ案ガアルヤウデアリマス、案ノ内容ヲ具體的ニ文書デ明日迄ニ願ヒタイト思ヒマス

ソコデ先程ノ所謂根本問題ニ立至ルノデアリマスガ、拓務大臣ガ御出席ニナラヌ時デゴザイマシタガ、農林大臣ニ、農林大臣ノ本案ニ付テノ説明ニハ、政府ハ朝鮮、臺灣

米ノ根本對策ガアルト云フ、果シテ臺灣米ノミニヤルカト云フコトヲ伺ヒマシタ所ガ、農林大臣ハサウデヤナイ、内地米モ併セテヤルト云フコトデゴザイマシタ、サモナケレバ目的ヲ達シナイト思フ、ソコデ拓務大臣ハ、若シ根本對策ヲ立テル場合ニ於テハ、拓務大臣トシテドノ程度ニ於テ根本對策ヲ立テル御考ヲ有ッテ居ルノデアアルカ、ソレヲ先ヅ伺ヒタイ

○永井國務大臣 最初ニ朝鮮及臺灣デ代作獎勵ヲスルト云フ話ヲシタガ、其案ノ概要ヲ書面デ見セテ吳レト云フ御話デアリマシタガ、先程申上マシタヤウニ、單純ニ米ヲ買上ゲテ置クトカ、一時米價ヲ吊上ゲテ置クト云フコトデハ、是ハ眞ノ解決ニハナラナイノデアッテ、矢張恆久的ノ性質ヲ有スル對策トシテハ、若シ米穀ノ需給關係ガ現狀ノヤウナ狀態ヲ繼續スルモノデアルトスレバ、朝鮮ニ於テモ、亦臺灣ニ於テモ、代作ヲ獎勵スルト云フ必要ガ起ッテ來ルト思フ、其代作ヲ獎勵スルト云フコトガ根本的ナル對策ノ一ツト自分ハ考ヘテ、ソレニ對シテ色々案ヲ立テ、見タノデアアル、併ナガラ單ニ朝鮮米ダケデナク、米穀政策其モノニ對シテ、徹底シタ國策ヲ調査シ、確立シヨウト云フコトニナッテ居ルノデアアルカラ、ソ

レ等ノ研究ト並行シテ、尙ホ更ニ續ケル積
リデアルト、斯ウ云フヤウニ申上ゲタノデ
アリマシテ、今日具體的ニ斯ウ云フ案ガ既
ニ出來テ居テ、之ニハ是ダケノ經費ガ掛ル
ト云フヤウナコトヲ此處デ申上ゲルトカ、
或ハ書面ニシテ申上ゲルト云フ譯ニハ實ハ
參ラナイノデアリマス、色々未定稿ハアリ
マスケレドモ、ソレハ紙ニ認メテ御覽ニ入
レル程正確ナモノデナイ、又各省ノ間ニソ
レニ對シテ意見ガ定マツテ居ル譯デハアリ
マセヌカラ、是ハ御覽ニ入レル時機ニハマ
ダ達シテ居リマセヌ

ソレカラ假ニ代作獎勵ヲヤルトシテ、ド
レ位ナ面積ヲソレニ充テル積リカト云フ御
質問モアリマシタケレドモ、是ヲ其計畫ニ
依ッテ必シモ一定シマセヌ、如何ナル程度ニ
補給ヲスルコトガ出來ルカ、又ドウ云フ規
模デソレヲヤルカト云フヤウナコトガ決リ
マセヌト、其面積ニ付テ的確ナルコトヲ申
上ゲ兼ネルノデアリマス、大小色々未定
稿ノヤウナモノハ出來マスケレドモ、併
シソレハ各省ノ間ニ於テ意見ガ定タモノ
デナケレバ、政府ノ一ツノ意見トシテ御參
考ニ供スル譯ニハマダ參ラナイノデアリマ
シテ、其點ハ御了承願ヒタイと思ヒマス
ソレカラ外地米ダケデナク、内地米ヲ通ジ

テ其需給ノ調節ニ對シテ根本的ノ方策ヲ研
究シナケレバナラスト云フ意味ノコトヲ、
農林大臣ガ御答ニナツテ居ルガ、拓務大臣ハ
ドフ云フ風ニ思フカト云フ御尋デアッタト
思ヒマス、先程モ申上ゲマシタヤウニ、外
地ノ官廳ニ於キマシテモ、内地ノ農村ガ米
穀ノ供給ノ過剩ノ爲ニ壓迫ヲ受ケテ、非常
ナ苦境ニ居ルト云フコトニ對シテハ十分ナ
ル理解ヲ有チ、又其不況カラ内地ノ農村ヲ
救済スルト云フコトニ付テ、出來ルダケ協
力致シタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、其趣
旨ニ於テ色々共同ノ研究モ致シ、又粃ノ長
期貯藏ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、
全部外地自身ノ負擔ニ於テ長期貯藏ノ計畫
ヲ立テ、居ルヤウナ譯デアリマシテ、出來
ルダケ農林省ト協力ヲシテ、全體ノ米穀ノ
調節ニ對シテ安心ノ出來ル政策ヲ樹立スル
ヤウニ協力シタイ、斯ウ云フヤウナ考ヲ有ッ
テ居ルノデアリマス、大體ニ於キマシテ農
林大臣ガ御答ニナリマシタコト、並行シテ
努力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○高田委員 先程ノ御話デハ代作獎勵ニ付
テノ大體ノ案ガ出來テ居ルカノ如ク伺ヒマ
シタノデゴザイマスガ、今ノ御話ニ依ルト代
作可能地ノ反別モ未ダ分ラスト云フヤウナ
コトデアリマシテ、甚ダ遺憾ニ堪ヘマセヌ、
併ナガラ世間デ能ク減反々々ト言ヒ、又内
地デモ減反ト云フコトヲ言ッタノデ、農林大
臣ハ大分評判ガ悪い、併シ減反ト云フコト
ハ要スルニ代作デアッタノデアリマス、吾々
ハ減反ト云フ言葉ハドウカ知りマセヌガ、
減反ト云フコトハ代作ト云フ意味デ或ル程
度マデ宜イト私ダケハ思フタ、併ナガラ非常
ナ反對ガアッタガ爲ニ、途中デ立消エニナッ
タノデアリマス、要スルニ朝鮮臺灣ニ於テ
ハ殊ニ代作ヲサセナケレバナラスト思ヒマ
ス、或ル程度ノ國家ノ犧牲ヲ拂ッテモ代作ヲ
獎勵ヲシテ、一面ニ餘ッテ困ル物ノ數量ヲ減
シテ、他面ニ國家ガ足りナクテ困ッテ居ル所
ノ綿作ヲ獎勵スルト云フコトハ極メテ適當
ナ政策デアルト考ヘマスカラ、其代作案ニ
付テ至急一ツ御調査ヲ遂ゲテ戴キタイと思
ヒマス、サウデナケレバドウシテモ是ハ内
地、外地ノ融和ハ付カヌト思フ、融和ト云フ
ト當ラヌカモ知レマセヌガ、ドウシテモ内
地外地ヲ通ジテノ政策ハ立チマセヌ、朝鮮
ハ作ッテハナラス、内地ハ勝手ニ作ル、結局
ニ於テ内地ニ於テ代作可能性ノ處ハ或ル意
味ノ代作ノ必要ヲ認メナケレバナラス、併
ナガラ主トシテ朝鮮ノ棉花ノ代作、臺灣ニ
於テノ米ニ代ヘルニ甘蔗其他ノモノガアレ
バ宜イノデアリマスケレドモ、代作問題ニ

付テハ臺灣、朝鮮ヲ通ジテ徹底的ニ研究
テ、ドノ程度マデ代作ガ出來ルカト云フコ
トヲ御決メニナルコトガ、何ヨリモ米穀ノ
根本政策トシテ必要ナコト、思ヒマスカラ
シテ、其意味ニ於テノ希望ヲ申上ゲテ置ク
ヤウナ次第デアリマス

次ニ私三億萬圓ノ豫備費ノ問題ニ付テ御
伺シタイと思ヒマス、其點モ實ハ昨日要求
致シマシタガ、今年ノ端境期ニ於ケル資金
ノ殘額ガ幾ラニナルカト云フコトデアリマ
スガ、是ハハッキリ御分リニナルノデアリ
マスカ、御分リニナレバ數字ヲ仰シヤッデ
戴キタイと思ヒマス、私ハ一億一千萬圓ト
言ヒマシタケレドモ、疎漏ノ點ガアッデモ
ナラスノデ之ヲ承ッテ置キマス

○荷見政府委員 昨日御尋ニナリマシタ米
穀需給調節特別會計ノ買入餘力ノ問題デア
リマスガ、是ハ賣買ノ豫定計畫ト云フモノ
ガ米穀需給ニ依ッテ色々變化致シマスノハ
御承知ノ通りデアリマスノデ、餘リドウト
云フコトハ申上ゲラレナイノデアリマス
ガ、大體御尋ノヤウナ趣旨ニ依リマシテ計
算ヲ致シテ見マシタ、其計算ヲ致シタ徑路
ヲ簡單ニ申上ゲマス、昭和九米穀年度ノ米
穀ノ買入ハ、公定價格ニ依リ買入ガ只今九
百二十萬石位ニナツテ居リマス、大體千萬石

アルモノト見マシテ、ソレヲ季節調節ノ爲ノ買入ガ内地ガ約三十五萬石既ニ買入レタノガアリマス、朝鮮米、臺灣米ヲ通ジマシテ約百二十四萬石買入デ居リマスカラ、總計デ千五百五十九萬石買入ヲ致シテ居ル譯デアリマス、此金額ハマダ米穀證券ノ發行ノナイモノモアリマスシ、ソレカラ公定價格ノ買入ハ全然申込モナイモノモ豫定シテ居ルノデアリマスカラ、正確ニハ申上ゲラレマセヌガ、凡ソ二億七千六十萬圓位ト見テ居リマス、ソレカラ金利、倉敷、事業費等ノ諸掛リガ大約二千五百五十萬圓位ノ見込ニナッテ居リマス、今年度内ノ米穀ノ賣却ハ季節調節ノ爲ノ賣却ガ内地米ガ約三十五萬石買入タノデアリマスカラ、三十五萬石賣却致ストスレバ、此金額ガ八百四十萬圓位ト思フノデアリマス、ソレデサウ云フ風ニ致シマシテ差引致シテ見マス、此米穀年度末ノ買入餘力ガ約九千二百萬圓ト云フコトニナリハセヌカト思ヒマス、尤モ是ハ米穀年度中ニ多數ノ米ヲ有ッテ居リナガラ、整理賣却ナドハ一ツモ致サヌ計算ニナッテ居リマスガ、一ツモ致サヌト云フコトハ、ドウモ無理ナコトデアルカモ知レマセヌ、ソレデ此年度内ニ相當供給ガ狭マリマシテ、米價ガ騰貴シ、又貯藏ニ不適當ナルモノヲ整

理賣却デモスルト云フヤウナコトニナリマスレバ、ソレダケ餘力ガ増加致スコトニナリマスシ、又公定價格ノ買入、其他ノ季節ノ買入ヲ又實行致スト云フコトニ致シマスト云フト、ソレダケ減額スルトコトニナリマスガ、大體只今ノ特別會計ノ限度ニ於キマシテハ、年度末ニ約一億圓——九千二百萬圓カラ一億圓バカリガ持ッテ居レルヤウニナルト思ヒマス

○高田委員 此數字ニ關スルコトデアリマスガ、今ノ數字ハ、最低公定基準ニ依ル買上ハ幾ラスルノデアリマス

○荷見政府委員 一千萬石デアリマス

○高田委員 整理賣却ハ必ズ或ル程度マデセナケレバナラヌト私ハ思フノデス、若シ整理賣却デモセナカッタナラバ、七月、八月、九月ニナルトモウ内地ニ米穀ト云フモノハ、私民間ニアルノハ殆ドナクナッテシマフヤウニナリハセヌカト思フ、是ハ別問題デアリマスガ、整理賣却ハ大體六年度ノ分モアリマス、七年度ノ分モアリマス、八年度ノ米ノ中デモ本年ハ相當ニ軟質米ヲ買ッテアルヤウデアリマスカラ、貯藏ニ堪ヘナイモノガアルト思ヒマス、八年度ノ米ハ全部貯藏ニ堪ヘ得ル御見込デゴザイマス、私共常識的ニ考ヘテハ、相當ニ軟質米ヲ買ッテア

リマスカラ、整理賣却米ガ相當ニ出來ルモノト思ヒマス、サウスレバ少クトモ三四百萬石ノ整理賣却ヲシナケレバナラヌト云フヤウニ判斷シマスガ、其點ハドウデアリマス

○荷見政府委員 御尋ノヤウニ、今回公定價格デ買上ゲテ居リマスノハ、モウ道府縣ノ検査合格米ノ約九五%カ九六%迄買上ゲテ居ルノデアリマスカラ、軟質米デ買上ゲタモノモ相當アリマスシ、整理ノ爲ニ賣却致シタ方ガ適當ナモノモ幾分ハアルガラウト思ヒマス、併ナガラ又一面此數年間ハ保存ノ方法ナドヲ餘程注意シテ居リマス、併シ今度ハ幾ラカ不十分ナ設備ノ倉等ニ入ッテ居ル物モアリマスカラ、幾分カソレガアルモノト思ッテ居リマス、併シ若シモ米價ガ崩

弱イヤウナ場合ニハ、ソレニ依ッテ米價ガ崩レルヤウニナッテハ、ソレダケ處分致シマシテモ、亦新シイノヲ買フト云フコトニナッテハ宜シクアリマセヌカラ、其邊ハ見込デアリマスガ、私ハ幾分アルト思ヒマス、ソレダケハ計算ニ入レベキダト思ヒマスガ、御話申上ゲタノハ整理賣却ヲ一ツモ見込ミマセヌデ計算ヲ立テタモノデ、アトハ餘リ不確カナコトヲ申上ゲテモ如何カト思ヒマスカラ、御想像ニ委セマス

○高田委員 整理賣却ノ物ガ幾ラアルカト云フコトハ、是ハ實際何人モハッキリシタコトハ分ラヌデセウ、少クトモ六年ノ米ハ賣ラナケレバナラヌヤウニ思ヒマス、七年度ノ米ハドウカト思ヒマスケレドモ、八年度ニモ賣ラナケレバナラヌ米ガ相當ニアリハシナイカ、私ハ數百萬石ノ整理賣却米ガアルト云フコトヲ自分ダケハ常識的ニサウ判斷シテ居リマス

次ニ三億萬圓ノ豫備ノ問題デアリマスケレドモ、大體米穀需給特別會計ノ資金ト云フモノハ、見様ニ依ッテハ豫備費ダト見テモ宜イ、何トナレバ例ヘバ昨年七億萬圓トシタ所ガ、昨年凶作デアレバ僅カデモ宜カッタノデアルガ、大體作デアッタカラ七億萬圓ガ一億圓シカ殘ラナイト云フコトニナッタ、是ハ殆ド豫備費デアリマス、或ハ豫備費的ノモノト考ヘテ宜イト思フ、サウスレバ一方ニ一億五千萬圓ノ特別會計ガアリ、七億圓ノモノガアルカラ、八億五千萬圓アル、其上ニ玆ニ三億圓ノ豫備金ガアルト云フノハ、ドウモ意味ヲ爲サヌ、ドツチカト云フト米穀需給特別會計ノ資金ト云フモノハ殆ド全部豫備費ト云ッテモ宜イ、他ノ歳出入ハ必ズ必要ガアルノデアルカラ、歳出入ヲチャント決メテ置ク必要ガアルガ、必シモ是ハ必要ガ

アルモノデハナイ、サウスレバ此一億五千萬圓ダケハ此會計法ノ方ニ廻シテモ、何ノ爲ニ特ニ三億萬圓ト云フ豫備費ヲ置キマスカ、其意味ヲ了解シ得ル程度ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、此避クベカラザルト云フコトハ、何カ非常ナ豐作デモ豫想サレテデアリマス、大暴風トカ何トカ天災ナラバ、是ハ買上ラセヌデモ宜イカラ、資金ハ少クテ宜イ、天變地異ヲ稱シテ避クベカラザルト云テ居リマスガ、所謂天變地異ノ場合ナラ資金ヲ増加スル必要ガナイ、デアリマスカラ此避クベカラザルト云フコトハ、非常ナル大豐作ヲ豫想セラレテノ處置デアリマス、若シ非常ナル大豐作ヲ豫想シタ所デ何モ豫備費トシテ區別スル必要ハナイト思ヒマスガ、之ヲ増額スルノト更ニ區別スル必要ハナイト思ヒマスガ、是ハドウ云フ譯デスカ

○後藤國務大臣 御尋ノ御趣旨ハ、二ツノ意味ヲ有ッテ居ルト思ヒマス、先ヅ第一ニ豫備費ト云フ言葉ヲ御使ヒニナリマスガ、此言葉ガ與ヘテ居ル意味ガ間違ッテ居ルノデハナイカ、一寸私共ガ此處デ使ッテ申上ゲテ居ルノト、變ッテ御考ヘニナッテ居ル點ガアル、或點デ混同サレテ居ル點ガアリマスカラ、ソレヲ最初ニ一寸申上ゲマス、今度ノ

特別會計法ノ改正デ、三億圓マデ事業資金

ヲ増額シ得ルト云フコトニ勅令決メラレルト云フ改正ガ一ツアリマシタ、是ハ私共ハ豫備費ト云フ言葉ハ之ニハチットモ使ッテ居ラナイ、是ハ今マデノ一億五千萬圓ノ事業資金ノ増額ト云フコト、殆ド内容ヲ同じウスルノデアリマス、ケレドモ一億五千萬圓ノ事業資金ノ計畫、即チ臺灣米買上ノ計畫ハ、一定ノ略計畫ガアリマシテ、見込ヲ付ケテノ一億五千萬圓デアリマス、是ダケハ増額シテ置カウ、尙ホ後ノ三億圓ト申シマスノハ、今後起ルベキ豐凶ノ工合等ニ處シテ、又非常ナ大豐作——今年ノ如キ大豐作ガモウ一遍繰返サレルト云フ時ヲ見テ、而モソレニ相當ナ安全ノ資金ト云フモノヲ考ヘテ、昭和九年度ニ再ビ稀有ノ大豐作ガ來ッテ、之ヲ昭和十年マデ持ッテ行クヤウナ場合ノ安全ヲ尙ホ其處ヘ置カウ、米價ノ安定維持ト云フモノニ不安ノ來ナイヤウニスル爲ニハ、三億圓限度マデ増額ヲシ得ルコトニナッテ居ラナケレバナラヌダラウト云フノデ、此三億圓ト云フモノヲ茲ニ増額シ得ルノ途ヲ開イテ戴イタノデアリマス、是ハ實際ノ昭和九年ノ米ノ出來高、一億五千萬圓増額ニ依ル臺灣米ノ買上ニ依ッテノ效果等ヲ見テ先ヲ考ヘテ、其時ニ至ッテノ程度ニ

増額スレバ——或ハ一億圓デ済ムカモ知レ

マセヌ、或ハ五千萬圓デ安心ダト言ハレルカモ知レマセヌ、或ハ二億圓増額シテ是デ初メテ安心ダト言ハレルカモ知レマセヌ、是ハ先ヲ見ナイト判定ノ出來ナイ問題デアリマスガ、併シ斯様ナ見込ヲ付ケマスレバ、隨テ一億五千萬圓ノ外ニ三億圓ノ増額ト願ッテ置ケバ簡單明瞭デアアルノデアリマス、又高田サンノ仰セラレルヤウニ、米穀事業資金増額ト云フコトハ大體豫備費デ、場合ニ依レバ要ルカモ知レマセヌ、要ラヌカモ知レマセヌモノデアリマスガ、先ヅ安全ヲ取レバ此通りデヤッテ行クノガ至當ダト思ヒマス、三億圓ヲ増額シテ行クコトノ方ガ簡單明瞭デアアルカモ知レナイ、併ナガラ吾等トシテハ其處マデマダ踏出サナクテモ、是ハ大體一遍アッタ大豐作ダカラ再ビサウ云フ豐作ガナイトハ必セラレマセヌカラ、ソレニ對スル最高限ノ考ヲ付ケタノデアリマス、實際ノ必要ニ應ジテ其限度内ノ増額資ヲ得ルコトニ致シタイト考ヘテノ事業資金ノ増額ノ問題デアリマス、ソレカラ豫備費ト云フコトガ改正案中ニ申シデアリマスノハ、是ハ全ク其資金増額ノ金トハ違ッタ金デアリマス、特別會計ノ豫算中ノ事業ノ費用ハ色々アリマス、此事業ノ費用ガ、

幾ラ米ヲ買フカト云フ、計畫ノ立方ニ依ッテ

非常ニ違ッテ來ルノデアリマス、普通ノ最低米價ノ買上ガ二三百萬石ニ止マル、或ハ四五百萬石ニ止マル、斯ウ考ヘマスル場合ト、千萬石デアルト考ヘマスル場合トハ、事業費ガ大變違ッテ來ルノデアリマス、大體通常ノ場合ヲ想像シテ、事業費ノ特別會計ヲ立テ、居ル、色々ナ事務費トカ、獎勵金トカ、色々ナモノ、經費ガ特別會計ニ出ルノデアリマスガ、買入ノ資金トハ別デアリマス、併シ若シ非常ナ豐作ガアルトカ、或ハ避クベカラザルト云フノハ、非常ナ災害ニ遭フトカ、色々ナ事ガアリマス、事業資金ノ特別會計ノ足りナクナルコトガアリマス、其場合ノ爲ニ豫備費ト云フモノヲ組ンデ置カウト云フノガ、此豫備費ヲ立デタ所以デアリマス、若シ豫備費ト云フモノヲ立デヌトシマスレバ、起ルベキ色々ナル場合ヲ可ナリ多ク想像シテ置イテ、ソレヲ豫算ニシテシマヘバ、一ツノ豫算ニナルノデアリマスガ、サウスルヨリモ通常ノ場合ヲ大體豫想シテ豫算ト云フモノヲ立テ、アトハ豫備費ト云フモノニシテ置イタ方ガ、經理ノ方デ多少嚴格ニモナルシ、經濟的ニ總テノコトガ有利ニ考ヘラレルヤウニナルノデハナイカト云フ意味デ、此豫備費ト云フ制度

ヲ設ケタノデアリマシテ、直接ニ今ノ三億圓ノ増額ト云フコト、關係ガナイノデアリマス、併シ三億圓ノ中デモ増額スルト云フ場合ハ、自然豫備的ナ經費モ要ルト云フコトニナリマスカラ、絶對ニ關係ガナイトハ言ヘマセヌケレドモ、豫備費ヲ立テタ場合ハソレト直接關係ヲ付ケテ立テタノデハナイノデアリマシテ、特別會計ノ經理ニハ豫備費ト云フモノヲ設ケタ方ガ都合ガ好イガラウト云フコトデ立テタノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○武田委員 今ノ高田君ノ質問ニ關聯シテ一寸伺ヒタイ、私ハ外ノ委員會ヘ出テ居マシテ、缺席シテ居マシタノデ、前ノ質問應答ヲ詳細ニ承知致シマセヌケレドモ、今高田君ノ御質問ニ對シテ、農林大臣ノ御答ノ中ニ、朝鮮米ノ買上ニ依ッテ、一億五千萬圓ヲ増額ヲシタノハ、ソレハ大體ノ計畫ガ立ッテ居ルカラ、ハッキリト法律ニ於テ増額シタノデアアル、三億圓ノ豫備費ノ方ハ、九年度産米ノ豐凶如何ヲ見ナケレバ、ハッキリシナイカラ、ソレデソレハ勅令ニ依ッテ増額シ得ル程度ニシテ置イタノデアアルカラ、ソレヲ豫備費ト稱スルノデアアル、斯ウ云フ御説明デアアルノデアリマスガ、他ニ此委員會デアリマスカ、豫算委員會デアリマスカ、農林

大臣ノ御答辯ノ中ニ、斯ウ云フコトガアッタヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、此一億五千萬圓ノ朝鮮米ノ買上ハ、九年度ノ産米ラモ——多分九年度ノ産米ヲ主ニ買上ゲルコトニナルデアラウト云フヤウナ、御意見ヲ御發表ニナッタヤウニ私ハ承知シテ居ルノデアリマス、サウスルト、今ノ御話ト少シ喰違ッテ居リハシナイカ、斯様ニ思フノデアリマスガ、九年度ノ産米ガ豐凶如何ガ分ラナイカラ、其豫定計畫ヲ立テルコトガ出來ナイ、ソレデ三億圓ヲ豫備費トシタノデアッテ、一億五千萬圓ノ計畫ハ、大體ノ計畫ガ立ッテ居ルカラ、ドレダケヲ買上ゲルト云フ見込ノ數量ガ分ッテ居ルカラ、一億五千萬圓ノ金ガ要ルト云フコトハ稍ハハッキリシテ居ル、ソレデ今日ノ法律ニ於テ、一億五千萬圓ヲ増額シタノデアルト、斯ウ云フ御答辯ニナッテ居ルヤウニ、私ハ承ッテ居ルノデアリマス、サウシマスルト、此九年度ノ豐凶如何ニ依ッテ、若シ非常ナル凶作ガ九年度ニ、臺灣ニ於テ、内地ニ於テ、アッタト致シマスルナラバ、一億五千萬圓ヲ増額ナサッテモ、朝鮮米ハ買ハナクテ宜イト云フコトニナリハシマセヌカ、サウシマスナラバ、計畫ガ立タスト云フコトニトッテハ、同一デアアリマセヌカ、若シ農林大臣ノ御答辯ヲ、終始一貫

シタ御言葉トシテ拜聽スルノニハ、此一億五千萬圓ハ昭和九米穀年度内ニ於テト云フコトデアルナラバ、是ハ九年度ノ産米、即チ八年度ノ産米ノ總額ガ決ッテ居ルノデアリマスカラ、今日ノ朝鮮、臺灣ヲ入レタ全國米穀事情トシテハ、一億五千萬圓ヲ以テ外地米ヲ買上ゲタカラ、此需給ハ斯ウナル、斯ウ云フ計算ガ立ッタト云フコトハ吞込メマスケレドモ、九年度ノ産米ヲモ買上ゲルト云フコトデアレバ、其計畫ハ立タヌ譯デハアリマセヌカ、其三億圓ノ金モ、一億五千萬圓ノ金モ、性質ハ同一ノヤウニ思フノデアリマスガ、之ヲハッキリト御答辯願ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 御尤ナ御質問ト思ヒマスガ、臺灣、朝鮮ノ米ノ買上ハ凡ソドウ云フ風ナ見込デ居ルカ、是ハ實際ノ場合ニ於テ最モ適切ナ買上ノ仕方ヲ致サウトスルノデアリマスカラ、今立テテ豫定ヲ其通り實行スルト云フコトハ申上ガ兼ネマスケレドモ、凡ソドウ云フ風ナ見込デ居ルノダト云フコトハ、先刻慥カ申上ゲタト思ヒマスガ、昭和九年度ノ米ニ相當之ヲ用ヒタイ積リデ居ルノデアリマス、併シ昭和九年度ニ若シ凶作デアッタナラバ、ソレハ要ラナクナルガラウ、御話ノ通りデアリマス、併ナガラ通常

ノ場合ヲ吾々ハ想像シテ掛リマス、通常ノ場合ヲ想像シマシテ、臺灣米ノ内地移入ガ内地ノ米價ノ糯米ノ所ヲ押シテ壓迫ヲスル事情ガ随分アリマスノデ、此臺灣米ヲ買上ゲルト云フコトニ依ッテ、内地ノ米價ノ維持ト云フコトニ相當ナ效果アラシメヨウトスルノデアリマス、是ハ通常ノ場合ニ於テモ、ヤハリ臺灣、朝鮮ノ米ヲ昭和九年度ノ産米ニ於テ相當ナ數量買上ゲタイ、斯ウ云フ計畫デアリマス、併シ若シ幸ヒト申スカ、不幸ト申シマスカ、凶作ノヤウナコトガ起ッテ、左程買ハヌデ済ムト云フコトガ起リマシレバ、或ハ是ハ使フコトガ少クテ済ムカモ知レマセヌ、併ナガラ大體先ヅサウ云フコトヲ實行スルト云フ積リデ掛カルノデアリマス、アトノ三億ノ増額ノ用意ヲ致シテ置キマスル方ハ、是ハドウゾ豫備費ト云フ言葉ハ成ベク御使ヒ戴カヌ方ガ、私共ノ觀念ガ混同セヌデ宜イノデアリマス、豫備費ト云フノハ事務費ノ豫算ノ方ニ使ッテ居リマスノデ、事業資金ノ増額ヲ三億マデ至ラシムル途ヲ茲ニ開イテ居ルト云フノデ、成ベク御話ヲ進メテ参リタイト思ヒマス、此方ハ只今ノ臺灣米ノ買上ノ效果ノ如何ト云フコトハ、ソレカラ内地、外地ヲ通ジテノ豐凶如何ト云フコトハ、二ツノ條件ガアラ

ウト思フノデアリマス、無論相當ナル效果ヲ臺灣米ノ買上ニハ吾々豫想致シテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ内地ノ豊凶ノ狀況、又臺灣、朝鮮ヲ通ジテノ豊凶ノ狀況ニ依リマシテハ、ドウ云フ風ナ結果ガ茲ニ生ジテ參リマスルカ、豊凶ト臺灣米買上ノ實際的ノ效果ト、二ツノ點カラ相當ニ茲ニ統制法運用ノ特別會計資金ノ餘力ト云フモノヲ準備致シテ置クコトガ安全デアラウ、只今政府委員カラ申シマシタヤウニ、約一億ノ端境期ニ於テハ餘力ヲ持ツ見込デ居リマス、或ハソレ以上デアアルカト存ジテ居リマスケレドモ、極ク／＼安全ヲ取ツテ見テ、約一億ノ餘力ハアルデアラウ、若シ是ガ半年デアリマシテ、別ニ何モ格別ノ供給過剩ガ來年ノ作柄カラハ思ヘナイ、臺灣米ノ方デモ一億五千萬圓ノ資力ガ相當ニ働クト云フコトデアリマス、格別ノ増額ハナクトモ、九年度ノ米穀需給ニ對應シテ行カレルカモ知レマセヌ、併ナガラ需給ノ關係ガ少シデモ變調ヲ生ジマスレバ、一億ノ餘力デアリマシテモ、先行キガ非常ニ不安ニナッテ參リマス、順當ナ年デアリマシテモ、先行キニ不安ヲナカラシムルヤウナ準備ガナクテハナリマセヌ、若シ相當ナ豐作ガアリ、更ニ大豐作ト云フコトニデモナリマス、又増額ヲ致

サナケレバ、公定價格ノ維持ノ爲ノ買上ヲスルト云フコトニ不便ヲ感ズルヤウナコトガ起ツテ來ルト思ハレルノデアリマス、豊凶ノ事柄ハ固ヨリ前以テ豫想ハ出來マセヌシ、實際收穫ト云フモノヲ豫想致シマシテモ、實收ノ時ニナレバ、又相當ナ變化、狂ヒガ生ジテ參リマス、サウ云フ場合ニ先ヲ安全ニシテ置キマセヌト、農民ニ取リ、マシテモ、米ヲ扱フ人ニ取リマシテモ絶エズ先ガ不安心デナラナイノデアリマス、吾々ハ三億圓ト云フモノ、一部ヲ増額スルニ止マルコトガ出來レバ、非常ニ結構ダト思ッテ居リマス、併ナガラ成ベク安全感ヲ農村ノ人達一般ニ與ヘテ、先ヲ安心サセル爲ニハ、三億圓マデハ借入ガ出來ルト云フコトニ致シテ置イテ戴ク方ガ結構デアアル、一步ヲ進メテ、三億ノ増額ヲモウ見込シテ行ッテシマフト云フコトニナレバ、ソレハ或ハ尙ホ結構デアアルト私ハ申シテ宜シイノデアリマス、ケレドモ、政府ノ當局者トシマシテモ、ソレ程マデニシナクトモ、成ベク其内輪ニ於テ必要ナ限度ニ増額ヲスルト云フコトニ致シテ參リマス事ガ、經理上カラ申シマシテモ極ク緊張シタ遣方ニナルコト、思ヒマスノデ、一步引退キマシテ、斯ウ云フ増額ノ途ヲ開クト云フコトノ御協賛ヲ得テ置キ

タイト云フ風ニ考ヘタ譯デアリマス

○武田委員 只今ノ御答辯ニ關聯シテモウ一ツ御同致シマス、今農林大臣ノ御答辯ノ如ク致シマスレバ、一億五千萬圓ノ臺灣米買上ニ對スル増額ハ、大體ニ於テ計畫ガ立ッテ居ル、斯ウ仰シヤルノデアリマシテ、サウシテ其一部ハ九年度ノ產米ヲ買上ゲルコトニ充テル見込デアアル、斯ウ云フコトデアリマシタナラバ、昭和九年米穀年度内ニ於テドノ位御買上ニナル御見込デアリマス、御豫想ハ……、サウシテソレハ昭和十米穀年度ニ入ッテカラドノ位御使用ニナル御見込デアリマス、其點ヲ一ツ伺ッテ置キタイノデアリマス

○荷見政府委員 此事ハ午前中申上ゲタノデアリマスガ、大體九米穀年度ノ間デハ二百萬石カラ二百五十萬石位、ソレカラ次ノ米穀年度——來年ノ三月マデニ四百萬石カラ五百萬石ノ間ト云フヤウナ、凡ソノ見當ヲ付ケテ居ル次第デアリマス

○三善委員 一寸關聯シテ——只今農林大臣ノ御答辯ニ依リマスレバ、豫備費ト云フモノト、三億圓ト云フ借入限度ノ權限ヲ政府ニ與ヘルコトハ別ナモノダト云フコトデアリマシテ、豫備費ハ唯豫算ノ運用ノ上ニ、事務的ニサウ云フ目ヲ設ケタ方ガ宜イ

ト云フ意味ニ承知シタノデアリマスガ、サウスルト豫備費ト云フモノハ豫算ガナイ譯デ、唯三億圓ヲ借入レタ時ガ、ソレヲ豫備費ニ入レテサウシテ支出スル、斯ウ云フヤウニナルト思ヒマスガ、其點ハ如何デスカ

○後藤國務大臣 一寸サウ云フ譯デナイノデゴザイマスガ、一ツ米穀部長カラ、事業資金特別會計ニ付テ少シ具體的ニ申上ゲルト御分リニナリマセウ

○荷見政府委員 只今米穀需給特別會計法中改正ノ第六條ノ二ノ規定ノ意味ニ付テノ御質問デアリマスカラ、ソレヲ全然事務的ニ御説明ヲ申上ゲマス、從來米穀特別會計ノ豫算ヲ立テマス時ニハ、御承知ノ通り、只今カラ今年ノ十一月以後ノ豊凶ノ關係ト云フモノハ全然不明デアリマスノデ、豫算ヲ立テマスノニハ、非常ニ大キナ數量ヲ豫定致シマシテ、其數量ニ對シテ買入ヲ行フ時ニハ、例ヘバ保管料ハ何程要ル、金利ガ何程要ル、手入費ガドノ位要ル、ソレカラソレニ從事致シマスル職員ノ旅費ト云フモノハドノ位要ルト云フコトヲ、最大限ニ見マシテ、非常ニ餘裕ノアル支出豫算ヲ立テマシテ、御協賛ヲ戴ク譯デアリマス、其事ハ議會ニ於キマシテモ、ズット一永イ慣例デ、モウ豫定ト云フモノハ大マカナモノデアルト

云フコトノ御承認ヲ得テ得ル譯ナノデアリマス、所ガサウ致シマス、今年ノヤウナ豐作ニナルモノト致シマス、非常ニ大キナ事業費ト云フモノヲ豫定シナケレバナラヌヤウニナリマスノデ、實際年度末ニナリマスト使ハヌデ濟ムモノガ澤山アルノデアリマス、ソコデ大藏省ノ立場ト致シマシテハ、サウ云フ風ニ非常ナ大キナコトヲシナイデ、普通ノ年柄ト見テドノ位掛ル、保管料モ例ヘバドノ位アレバ宜イ、旅費モドノ位アレバ宜イト云フ、相當切詰メタ豫算ヲ立テ、置ク、併シ米穀直接ノ問題ハ、是ハ次ノ作柄ト云フモノガ非常ニ影響スルノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ、例ヘバ「米穀ノ數量」ノ變動ト申シマスノハ、米穀ノ生産額ガ非常ニ増加致シマスカ、又ハ市價ノ變動」ト云フノハ、是ハ價格ガ非常ニ下落致シマシテ、其爲ニ公定價格ニ依ル買上申込ガ増加シタトカ、ソレカラ「避クベカラザル事由」ト申シマスルノハ、ソレ等ノ爲ニ或ハ倉庫ガ不足致シマシタカラ造ラナケレバナラヌトカ、ソレカラ保管料ガ高クナッタカラ保管料ヲ拂ハナケレバナラヌトカ、色々ナ事情ガ起リマスカラ、サウ云フ避クベカラザル事由ニ依ッテ、普通ノ場合ヲ豫想致シマシタ豫算ニ不足ガ出マシタ

ナラバ、ソレヲ補フ爲ノ豫備費ト云フモノヲ今度ハ作ラウデヤナイカ、サウスルト今年ノ豫算ヲ經理スル爲ニ、今年ハドレ位ノ收穫ガアルト見テ宜イカト云フヤウナコトデ、色々苦心セヌデモ普通ノ年柄デ以テ豫算ヲ立テ、其外ニ豫備費ト云フモノヲ置イテ、豫備費ノ支出ヲスルト云フコトニシタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ譯デ、第六條ノ二ノ規定ノ改正ヲ御協賛ヲ願フト云フコトニ致シタノデアリマス、唯吾々ト致シマシテハ、サウ致シマス普通ノ豫算デ足りヌ場合ニハ、大藏省ヘ行ッテ豫備金ノ支出ヲ求メナケレバイカヌノデアリマスカラ、成タケ不足ヲセヌヤウニ氣ヲ付ケテ使フト云フコトモ、副産物ニハ出テ來ルカト思フノデアリマスガ、吾々ハ是マデモ非常ニ慎重ニヤッテ居ルノデアリマス、カ、モウ豫備費ヲ要求スルヤウナ時ニハ、所謂誰ガ見デモ已ムヲ得ナイ必要ナ豫備費ト思ハレル場合ニ限ルノデアリマス、サウ云フヤウナ意味デアリマス

○三善委員 私モ豫備費ハ事務的ニサウ云フ風ダト思ッテ居リマシタカラ、其點ハ能ク分リマシタ、此買入餘力ト云フノガ年度末ニ於キマシテ一億圓アル譯デアリマス、サウシテ外地米ノ買入レハ、前ノ御答辯ニ依リマスレバ、先ヅ來年ノ三月マデニ約五百萬石内外ヲ御買上ゲニナル、如何ナル豐作ノ場合ヲ見積リマシテモ、先ヅ一千萬石乃至千五百萬石御買上ゲニナレバ宜イト思ヒマスルガ、三億圓ト云フコトハ、ドウモ三億圓ヲ御考ヘニナツタ其根據ガ、如何ニモ私ニハ了解ガ出來ナイノデアリマス、一億圓ハアルシ、五百萬石ハ外地デ御買ヒニナルノデアルカラ、其外ニ若干ノ費用ガアレバ大體宜シイノデハナイカ、ソレダケヲ今度餘分ニ増額シテ置カレタ方ガ賢明デハナイカ、私共ハ借入ノ權限ヲ政府ニ御任セスルト云フコトガ、從來ノ建前ト非常ニ違ッテ參ルノデアリマシテ、餘程之ニ對シテハ基礎ガナケレバイカヌト思ヒマス、只今農林大臣ノ御説明ニ依リマスレバ、大豐作ト云フヤウナ事ガアッテハナナイカラ、サウ云フコトヲ見込ンデ居ルト云フダケノコトデアリマスルガ、ソレヲ御見込ニナツタナラバ、唯一億五千萬圓ヲ二億圓カ幾ラカニセラレ、バソレデ足リルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、如何ニ考ヘマシテモ大豐作ノ從來ノコトヲ考ヘマシテモ、此程度デ宜シクハナイカト思ヒマスガ、ソレガ見解ノ相違デアリマスルカ、其根本ノ信念ガ違ッテ居ルカ分リマセヌガ、一應承ッテ見タイ

○後藤國務大臣 ソレハ見解ノ相違デモ根本ノ信念ノ相違デモナイト思ヒマス、推算ノ大體はハズット先ノコトデアリマスカラ、大略ノコトシカ申セマセヌガ、基礎ヲ申シマスト略、御了解ガ付クト思ヒマス、政府委員カラ申上ゲマス

○荷見政府委員 大體申上ゲマスガ、此朝鮮米、臺灣米ノ輸入ヲ調節致シマス爲ノ買入ヲ、先程五百萬石程度ト云フコトヲ申上ゲマシタ、是ハ兩地ヲ通ズルノデアリマスカラ、大體普通ノ年ニ朝鮮カラ八百萬石、臺灣カラ四百萬石位平均入ルト致シマス、五百萬石買入レタト致シマシテ、アトニ七百萬石バカリ入ッテ來ル、ソレデ内地ガ今年ノヤウナ或ハ豐作ガアルト致シマス、供給數量ハ七百萬石入りマシテモ、大變ナ數ニナリマス、ソレデ其數ニナリマス、ト、公定價格ノ申迄ト云フモノモ相當内地ニ於テモ増加シ得ル場合ガ想像サレルノデアリマス、朝鮮米ヲ買ヒマシテ、ソレデ米價ガ維持出來マスレバ、公定價格ノ申込ハ減ル譯デアリマスカラ、ソレハ大變宜イノデアリマスガ、若シモ買入ヲ致シマシタモノモ、朝鮮ニ於テモ、臺灣ニ於テモ、大豐作デアルト云フヤウナ場合ニハ、又々内地ニ移出スルモノガ多クナル、サウスルト、

ソレニ對シテ公定價格デノ買入ト云フモノ
ガ可ナリ餘計ニナル、サウ云フ風ニ致シマ
スト、勿論此八年ノ產米ヲ買ッタ分ノ整理

賣却モ何モ出來マセヌカラ、ソレガズツト持
越シニナツテ、慎ガ下ッテ行クト云フ風ナコ
トニナリマシテ、特別會計ト致シマシテハ、

餘力ガ非常ニ貧弱ニナル危險ガアリマス、
ソレデアリマスカラ、サウ云フ風ニナツテ、

若シモ一面生産者ノ側トシテハ買入資金ガ
ナクナレバ、モウ出廻期ニモ賣レヌト云フ

コトニナルト、一層急イデ賣ッテ來ル、ソレ
ニ應ズルト云フコトニナルト、全ク困ッタ立

場ニナリマスカラ、相當餘裕ヲ取ッテ、資金
ノ擴張ヲ爲シ得ルヤウニシテ戴イテ、ソレ

ヲ使ハズニ濟メバ洵ニ結構デ、使ハナイデ
置イテ、皆安心シテ行クヤウニシテ置ク、

サウシテ已ムヲ得ズ使フ場合ニハ、丁寧ナ
手續デ、閣議デ決定シタ勅令ニ依ッテ、御裁

可ヲ受ケテ使フヤウニシタイ、成ダケ儉約
ニト云フヤウナ趣旨デ、是ハ出來テ居ルノ

デアリマス

○高田委員 大體分リマシタガ、私誤解シ
テ居リマシタガ、豫備費ト云ヒマス、別

ニ目ヲ置クノデゴザイマス、此三億圓ト
云フノハ……

○後藤國務大臣 豫算ノ中ニ別ニ目ヲ置キ

マスノデ、事業資金ト云フモノハソレト又
別デス

○高田委員 サウナルト益分ラヌ、今ノ御
説明ノ通りトスレバ、敢テ三億圓ト云フモ

ノヲ別ニセズニ、七億圓ヲ頭カラ四億五
千萬圓殖シテハドウカ、其方ガ却テ分リ宜

イヤウニ思フノデスガ、何ダカ知ラヌガ、
一億五千萬圓ヲ朝鮮デ買フ計算ニナツテ居

ルカラ、七億圓ヲ一億五千萬圓増シテ八億
五千萬圓トシ、別ニ豫備費トシテ三億圓置

イタト云フノデアリマスガ、ソナラ最初
カラ四億五千萬圓殖シタ方ガ宜イト思フノ

デアリマスガ、別ニシタ理由ハ私ニハドウ
シテモ分リマセヌ、是ハ意見ノ相違ニナル

カモ知レマセヌカラ、ソレ以上ハ申上デマ
セヌガ、何モ三億圓ト云ハズ、一億五千萬

圓モ買ハヌデ濟ムカモ知レナイ、今年ノ米
ガ、内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテ、不幸ニシテ

凶作デアッタナラバ、一億五千萬圓モ買ハヌ
デモ宜イカモ知レナイ、デスカラ其意味カ

ラ言ッテ、一億五千萬圓ハ條文ノ方ヘ殖シ
テ、附則ノ方デ三億圓マデ認メルト云フノ

デアリマセウガ、私ニハドウシテモ了解出
來マセヌ、併シハ意見ノ相違ニナルヤウ

デアリマスカラ、是レ以上ハ申上デマセヌ
ガ、何ノ爲ニ別ニシタカト云フ意味ガ分ラ

ヌト云フコトダケ申上ゲテ置キマス、寧ロ
一緒ニスル方ガ宜イノヂヤナイカト思ヒマ
ス

更ニ宿題ニナツテ居ルヤウナ事デアリマ
スガ、最低公定基準ノ買上ニ依ル價格ノ間

題デス、實ハ此法律ガ出來テ最低公定基準
價格ヲ定メテ、買上ニ著スル前ニ、帝國

農會ノ方ノ考トシテハ利子倉敷料ヲ見込
ンデ、サウシテ月毎ニ値段ヲ増シテ行ク、例

ヘバ十二月ニ二十三圓ナラバ、一月ニハソ
レニ利子、倉敷料幾ラカラ加ヘテズツト上

タラ宜イ、又二月ニナレバソレヨリズツ
ト上ゲタラ宜イヂヤナイカ、斯ウスレバ結局

賣急ギヲシナイデ濟ム、サウ云フコトヲ帝國
農會ノ人モ吾々モ思ッテ居ッタ所ガ、是ハ政

府ノ容ル、所トナラズ今ノヤウニナツタ、十
二月ニ賣ッテモ、今年ノ九月ニ賣ッテモ同ジ

値デアル、斯ウ云フノダカラ賣急グノハ當
リ前デアル、利息ト倉敷料ヲ月毎ニ加ヘル、

或ハ月毎ニ加ヘルコトガ面倒ナラバ、三月
毎ニ利子倉敷料ヲ加ヘテ行クヤウニスレ

バ、一度ニ賣ラヌデ、政府ハ持米ニ困ルト
云フヤウナコトハナイガラウト思ヒマス、

所ガ東君ハ前ニ「ヒットラー」ノ話ヲサレタ
ガ、先達テモ外國情報トカ何トカ云フモノ

ヲ見ルト「ヒットラー」ノ米穀政策ハ吾々ガ

言ッタヤウニ、矢張一月、二月、三月、四月
トズツト利子ト倉敷料ヲ入レテ、最低公定價

格ヲ決メテ行ク、是ハ理論ニハ反シテ居ラ
ヌガ、今言フヤウニシタ方ガ理論ニ反スル、

何トナレバ去年ノ十二月モ今年ノ九月モ同
ジデアツテ、何時米ガ安クナルカ是ハ分ラ

ヌ、ドウセ理論ニ合ハナイトスレバ政府ノ
買入ノ都合モアリマスシ、又倉庫ニ於ケル

關係モアリマスカラ、月毎ナリ或ハ三月毎ニ
利子ト倉敷料ヲ加ヘテ、サウシテ買フト云

フコトニスレバ、其方ガ統制法ノ運用上極
メテ宜イヂヤナイカト思ヒマス、サウスレ

バ一度ニ米ガ殺到スルト云フコトハナイ、
大體ニ於テ米ノ殺到ハ除カレルト思ヒマス

ガ、吾々ノ主張通り月毎ニスルナリ、三月
毎ニスルナリ、利子倉敷料ヲ加ヘテ買入ヲ

スルト云フコトハ出來マセヌカ

○後藤國務大臣 只今ノ高田君ノ御説ハ、
豫テ隨分論議サレタ問題デアリマシテ、吾

吾モ考究シタノデアリマス、併シ今直グ御
賛成ヲスルコトハ今デモ申上ガ兼ネルノデ

アリマス、利子倉敷料ヲ加ヘタ公定價格デ
買ッテ行クト云フコトガ、理論ニ合フト云フ

點モアリマスガ、併シソレハ必シモ其通り
ニハナガラカニ市場ニ出テ行クト云フコト

グ者ハ、ソレ位ナ事デハ迎テ居ルコトノ出来ナイ場合ガ多イノデアリマス、ヤハリ出来秋ニ賣急ギラスル數量ヲ何程モ阻止スルモノデナイ、而シテ人ニ依ッテハ、先ニ賣ルカラ値下リヲ來シテ古米格ニナツタ時、十月ノ端境期ニ政府ハ餘計買ハナケレバナラヌ、持堪ヘル側カラ言フト、サウ云フコトニナツテ、非常ニ妙ナ米穀市場ニ於ケル需給ノ關係ノ不調和ガ起ッテ來ルデヤナイカト思ハレル、此點ハ將來モ尙ホ考究致シテ見タイト思ヒマスガ、只今ノ所デハ矢張一本ノ値段デ行クト云フ事柄ガ適當デアルヤウニ考ヘテ居リマス

○高田委員 一本デナクシマヒノ方ヲ安クシタ方ガ理論的デアルト云フヤウニ思ハレルガ、サウデヤナイデセウカト云フノデアリマス……

○胎中委員長 農林大臣ガ今一寸急用ガアリマシテ、直グ五六分シタラ歸リマスカラ、此際拓務大臣ニ質問ノ通告ガアリマス大本貞太郎君ノ質問ヲ許シマス

○大本委員 拓務大臣ニ御質問シタイ事ハ丁度高田サンノ質問ノ關聯事項ノヤウナコトニナリマシタガ、先刻高田サンカラ外地ニ於テ米作ニ代用スル所ノ栽培物ニ付テ御調査サレテ居ル所ガアルカト云フ御質問ニ

對シマシテ、拓務大臣ノ御答辯デハ一向格別ナ調査ハシテ居ラナイト云フヤウナ御答辯デアリマシタガ、私ハ洵ニ意外ナ御答辯ヲ承ルモノデアルト思フノデアリマス、元來米ノ問題ガヤカマシイ問題ニナリマシタノハ、ズット以前カラデアリマシテ、政府ガ買上ヲ始メマシテモ、既ニ數年ヲ經過シテ居ルノデアリマス、此米穀問題ヲ解決致シマスル最モ重要ナ問題デアリマス所ノ外地米ノ生産制限、之ニ關聯シタ所ノ御調査ガ出來テ居ラナイト云フコトハ私ハドウモ信ズル譯ニハ行カナイノデアリマスルガ、拓務大臣ハ或ハ言責ヲ殘スコトガ、將來不利デアルト云フヤウナ御見地カラ、左様ナ御答辯ヲナサツタノデアリマセウカ、或ハ事實御調査ガ出來テ居ラスノデアリマセウカ、今一應御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○永井國務大臣 御話ノ通りニ内地ニ於キマスル米穀ノ生産狀態ニ適應シマシテ、外地ニ於ケル米穀ノ需給ノ問題ヲ研究スル必要ガアルト云フコトハ私モ同感デアリマス、隨テ米穀需給ノ調節ノ根本對策ニ關シマシテハ種々研究ヲ致シテ居リマス、先程申上ゲマシタ代作獎勵モ其一ツデゴザイマス、併シ單ニ將來ノ産米計畫ヲ變更シテ

一打切ッテ、産棉計畫ニスルダケデナク、現在ノ米田モ之ヲ棉作地ニ變更スルト云フヤウナコトモ、調査シナケレバナラヌト考ヘマシテ、其調査ハ進行シテ居ルノデアリマス、ソレカラ先程高田君カラ政府デ何カ調査シタモノヲ參考ノ爲ニ提出シナイカト云フコトデアリマシタガ、是ハ政府ノ調査シタモノデゴザイマスと言ッテ提出スル程ノモノハ、出來テ居ナイノデアリマス、私個人ノ考ト云ヒマスガ、拓務省ノ研究ト云ヒマスガ、サウ云フヤウナ未定稿ノモノハ色色拵ヘテ見タノデアリマス、ケレドモソレハマダ政府ノ研究シタル草案トシテ御目ニ掛ケル程ニハナツテ居マセヌ、サウ云フ意味デ御目ニ掛ケルニハ關係省ノ間ニ於テ同意モ經ナケレバナリマセヌ、又ソレ程今日ハ決定的ノ調査ハ進ンデ居ラナイノデアリマス、併シ吾々ハ是モ大切ナ研究項目、ノ一ツトシテ研究ヲシナケレバナラヌト考ヘマシテ、其研究ハ進メテ居リマス、併シ此度ノ米穀需給調節特別會計ノ適用ノ擴大ニ伴ヒマシテ、尙ホ一層根本的ノ政策ヲ、政府ニ於キマシテモ權威アル調査會ニ依ッテ大成セナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ル時デアリマスカラ、尙ホ一層吾々ハサウ云フ權威アル調査ヲシナケレバナラヌ時ニ

當ッテデスネ、マダ極ク不完全ナ未定稿ヲ御目ニ掛ケルト云フコトハ、適當ノ時機デナイ、ソレハ寧ロ不謹慎ダト思ヒマスカラ、ソレデ私ハ決シテ研究ハ怠ッテ居リマセヌ、是ハ研究シナケレバナラヌ問題デアルト云フコトハ同感デアリマスガ、政府ノ未定稿トシテ、御目ニ掛ケル程度ノモノハマダ整ウテ居リマセヌ、斯ウ云フコトヲ御答シタノデアリマス

○大本委員 是ハ或ハ見解ノ相違ダト仰シヤルカモ分リマセヌガ、米穀問題ヲ私共考ヘテ見マスルト、ドウシテモ是ハ外地米ノ生産制限マデ行カナケレバ、到底解決ハセナイモノデアルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、代作物ノ調査ト云フコトハ、此法案ノ審議ヲ進メル上ニ於テ最モ私ハ大切ナモノデアラウト思フノデアリマス、或ハサウ云フ調査ガ出來テ居ナケレバ、此法案ノ審議ヲ進メルニ行カナイ程ノモノデアラウト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、又拓務大臣ハ發表スル程ノ調査ガ出來テ居ナイト云フヤウナ御答辯デゴザイマスガ、何時カノ新聞デ私ハ見マシタガ、拓務省ノ御發表ト致シマシテ、今後十箇年ニ互ッテ朝鮮及滿洲ニ於テ米穀ノ代リニ棉花ヲ栽培シテ、現在日本ニ輸入

シテ居ル棉花ノ四分ノ一ヲ作ル豫定ヲ立テ
テ居ル、斯様ナコトガ御發表ニナツト私共
ハ記憶シテ居ルノデアリマス、或ハ拓務省
ノ公式ノ御發表デナクテ、何カ拓務省關係
ノ方ノ私ノ御發表デアツタカモ知レマセヌ
ガ、左様ナコトモ私ハ新聞デ見テ居ルノデ
アリマス、何レニ致セ米穀問題ガ斯様ナ重
要ナ問題ニナツテ居リマスル時ニ當ッテ、其
御調査ガ出來テ居ラナイ、示スベキ何等ノ
マダ具體的ノ材料モ持合セガナイト云フコ
トハ、私ハ不都合ナ話デアルト思フノデア
リマス、或ル意味ニ於テ拓務大臣御職ノ
責ヲ免レヌ次第デアルト私ハ思フノデアリ
マス、併シ只今ノ御答辯ニ依リマスルト、
或ル程度マデ調査ハ出來テ居ル、唯政府ト
シテ御發表ハ出來ヌト云フ御話デアリマス
ルガ、然ラバ今マデ調査ノ出來テ居ル程度
ノ御話ヲ一ツ聽カセテ戴キタイト思フノデ
アリマス、私共ハ此法案ヲ審議スル上ニ於
キマシテ、其御話ハ非常ニ緊切ナコト、心
得テ居ルノデアリマス

○永井國務大臣 只今ノ御尋ノ朝鮮ニ於テ
棉花ヲ栽培スルコトノ計畫ガ、何等カノ場
合ニ發表サレテ居ルト云フコトハ、ソレハ
産米増殖計畫ヲ打切りマシテ、産棉増殖計
畫ニ移ツタト云フコトノ報告デアリマス、今

日午前ニモ申上ゲマシタヤウニ、内地ニ於
ケル米ノ需給ノ状態ヲ見マシテ、外地ニ於
キマシテハ出來ルダケソレニ適應シテ、米
穀ノ需給ノ調節ニ協力致シタイト云フ精神
カラ、朝鮮ニ於キマシテハ從來内地ノ米穀
ノ缺乏シテ居リマシタ時ニ産米増殖計畫ヲ
立テマシタガ、今日ハソレヲ打切りマシテ
サウシテ新ニ産棉増殖計畫ヲ起シタノデア
リマス、是ハ二十年間ニ六億斤ノ棉ノ生産
ヲシタイ、約五六十萬町歩ニ互フ棉ノ栽培
ヲシタイ、最初十年ニ於テハ出來ルナラ
バ三四億斤ノ生産ヲスルヤウニ促進シタ
イ、斯ウ云フ計畫ヲ立テマシテ、其計畫ニ
從ヒマシテ既ニ一部分ハ豫算ノ協賛モ願ッ
テ居ルノデアリマシテ、其事ガ公表サレタ
ノデアルト存ジマス、ソレハ御覽ニナツタ通
リデアリマス、併シ今日私共ガ更ニ研究シ
ナケレバナラヌコトハ、是カラ後ノ産米増
殖計畫ヲ打切ッテ、棉花ノ栽培ニ移ルト云フ
コトダケデナシニ、米ノ生産ガ尙ホ過剰ニ
ナッテ來ル形勢ガアリマスルナラバ、現在米
田ニナッテ居ル部分ニ對シテモ、米ノ栽培ニ
代フルニ棉花ノ栽培ヲ以テスルヤウナ、代
作獎勵ノ方法ヲ立ツル必要ニ臨ムカモ知レ
ナイ、サウシナケレバ若シ米ノ生産過剰ノ
状態ガ繼續シテ來ルト、其處マデノ代作獎

勵ヲ徹底サセナイト、本當ニ根本的ノ對策
ニナラヌカモ知レナイ、斯ウ云フヤウニ私
ハ考ヘマシテ、單ニ過剰米ヲ買上ゲテ置ク
ト云フダケデナク、若シサウ云フ状態ガ繼
續スルナラバ、米ノ現在生産サレテ居ル部
分ニモ棉花ノ代作ヲ獎勵スルコトガ必要デ
アルト考ヘマシテ、ソレニハ財政上ノ都合
モ考慮シナケレバナラナイ、又其棉花ノ栽
培ニ適スル土地ノ状態モ見ナケレバナラナ
イ、又現ニ米作ニ從事シテ居リマシテモ、
米作カラ棉作ニ移ルトヲ好マナイ者モ少
クナイト思ヒマスノデ、ソレ等ニ對スル獎
勵金ヲ交付スル必要モ起ッテ來ルカモ知レ
ナイ、サウ云フ點ヲ考慮シテ、色々未定稿
ノモノハ、今日ト雖モ吾々ハ研究ヲ既ニ進
メテ居リマスガ、併ナガラ此根本對策ニ
付キマシテハ、政府ハ是カラ尙ホ權威アル
人々ノ協力ヲ得テ、對策ヲ確立シタイト思
フノデアリマスカラ、ソレ等ノ時ニ尙ホ十
分徹底シタ研究ヲ進メテ行キタイト思ッテ
居リマス、今日ハ政府ガ斯ウ云フ未定稿ヲ
有ッテ居リマスと言ッテ、ソレヲ御目ニ掛ケ
ルコトハ、是ハマダ時機ヲ得テ居ナイ、斯
様ナ意味デ私ハ御答ヲシタノデアリマス

○大本委員 私ハ拓務大臣ノ御答辯甚ダ遺
憾ニ思フノデアリマスガ、今回出マシタ此
法案ハ、政府ニ於カレマシテハ如何様ニ御
考ヘニナツテ居ルカ分リマセヌガ、私ハ非常
ニ是ハ重大法案デアルト思フノデアリマス
ス、端的ニ申上ゲマシテモ、三億圓ト云フ
ヤウナ金ヲ政府ニ勝手ニ使ハシテ呉レ、斯
様ナ法案ヲ御出シニナツタコトハ、議會始ッ
テ今マデ曾デナイ法案デアラウト私ハ思フ
ノデアリマス、斯様ナ議會始ッテ以來ナイト
云フヤウナ重要ナ法案ヲ御出シニナルニ
當ッテ、此法案ヲ審議スル上ニ於テ、最モ重
要ナ資料トナリマス所ノソレ等ノ問題ニ對
シテ、尙ホ御研究中デアルト云フヤウナ御
答辯ニナルコトハ、私甚ダ遺憾ニ存ズル次
第デアリマス、固ヨリ拓務大臣ノ言ハレル
如ク、是カラノ開拓地ニ棉ヲ作ルト云フ意
味デナク、今マデノ水田、今マデノ米作地
ヲ棉作地ニスルト云フコトニ付キマシテ
ハ、相當ニ是ハ重大ナ事デアラウト思フノデ
アリマス、又今マデ米作ヲ致シテ居リマシ
タ所ノ農民モ、必ズ私ハ好シデ棉作ニ轉化
スルモノデハナイト思フノデアリマス、併
シ私ハソコハ金ノ問題デアラウト思フ、ソ
レニ對シテ相當ナ補償ヲシ、米作ト棉作ト
ノ收益ノ差異ニ對シマシテハ、政府ガ責任
ヲ負フ、斯様ナコトニナレバ、私ハ何モ出
來ヌ相談デハナイト思フノデアリマス、此

處ニ朴君モ居リマスガ、外地民ガ今回ノ此米穀問題ニ付テ色々喧シク言ウテ居リマスノモ、絶對ニ米ヲ作ラシテ貰ハナケレバナラスト云フ問題デハナイト思フ、要スルニ相當ノ勞銀ガ欲シイ、斯ウ云フ問題ニ歸著スルノダラウト私ハ思フノデアリマス、デゴザイマスカラ其意味デ對策ヲ御立デニナレバ、私ハ容易ニ對策モ立ツモノデアラウト考ヘルノデアリマス、現ニ臺灣ニ於ケル砂糖ノ如キ、サウ云フ意味デ政府ハヤッテ御出デニナルノデアリマス、拓務大臣モ御承知デゴザイマセウガ、國民ニ最モ安イ砂糖ヲ食ハスト云フ意味デアレバ、實際ノコトカラ申シマスレバ、臺灣デ何モ砂糖ヲ作ル必要ハナイノデアリマス、瓜哇或ハ政馬デ出來ル砂糖ヲ買ッタ方ガ遙ニ宜シイノデアリマスガ、併シ國策上臺灣デ砂糖ヲ作ルコト、致シマシテ、今日「ギルダ」ヤ弗ノ相場ガ上リマシテ、砂糖ノ海外相場ガ昂騰シテ居リマス場合ニモ、尙ホ十割近イ關稅ヲ課シテ、サウシテ臺灣ノ砂糖ヲ保護シテヤッテ行ッテ居ル現狀デアルノデアリマス、朝鮮デ今日米作ヲシテ居リマスル處ヲ棉作ニ轉換シテ、サウシテヤハリ現在臺灣ノ砂糖ヲ保護シテ居ルガ如キ方法ヲ御執リニナレバ、私ハ何モ難シイ問題デハナイト思ヒ

マス、第一ニ四億圓ダノ七億圓ダノト云フヤウナ米穀買入資金ヲ御出シニナルコトヲ御考ヘニナル前ニ、サウ云フ問題ヲ第一ニ私ハ御考究ニナッテ居ラネバイカヌコトデアット思フノデアリマス、私共ガ常識デ考ヘテ見マス、米ヲ買入レル——先達テ豫算委員會ニ於ケル農林大臣ノ御答辯デゴザイマシタカ、政府ノ貯藏米ハ一箇年ニ石五圓ノ損失ガ行クサウデアリマシタガ、サウ致シマスルト一千萬石デ五千萬圓ノ損ヲシナケレバナラスノデアリマス、二千萬石ニ上リマスと一億圓ノ損ヲセナケレバイカヌ譯デアリマス、ソレダケノ金ヲ出ス積リデ朝鮮或ハ滿洲ヘ棉ノ栽培ヲ獎勵致シマスレバ、必ズ目的ヲ達成スルコトガ出來テ實際勘定カラ申シマシテモ、何カラ申シマシテモ非常ニ私ハ都合好ク行クコトダラウト思フノデアリマス、然ルニソレ等ニ對シテ一向格別ナ御調査ヲナサラズ、サウ云フ質問ガ出レバマダ調査中デアルト云フヤウナコトハ、拓務大臣、延イテ政府ノ私ハ怠慢曠職ノ責ハ免レス次第デアルト思フノデアリマス、私共ハ此法案ヲ審議スル上ニ於テ、先程モ申上ゲマシタ如ク、ソレ等ノ問題ハ非常ニ重要ナ參考資料ト信ジテ居ルノデアリマスルガ、ドウカ只今迄ニ御調ニナッ

タ事項、二ノ事項ヲ舉ゲテ見マスルト、今日朝鮮ノ米作ヲ綿作ニ轉換サスノニハ一町歩ニ對シテ幾ラノ補償金ヲ出ス必要ガアルカ、或ハ栽培上ノ利益勘定ハドウ云フ勘定ニナルカ、斯ウ云フヤウナコトニ付テ出來得ル限リ詳細ナ資料ヲ至急私ハ御提出願ヒタイト思フノデアリマス、只今迄ニ御調査ノ出來テ居ル限度デ宜シウゴザイマスカラ、至急資料ノ御提出ヲ御要求申上ゲテ置キマス、ソレカラ總理大臣モ……

○胎中委員長 一寸御待チ下サイ、アナタハ拓務大臣ニト云フコトデアッタカラシテ、拓務大臣ニ對スル分ダケ……

○大本委員 ソレデハ私ノ今申上ゲタコトニ付テ拓務大臣ニ御意見ガアレバ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○永井國務大臣 午前ノ時ニモ申上ゲマシタヤウニ、今御話ニナッタト同ジヤウニ、吾モハ米ノ代作獎勵ト云フコトニ付キマシテモ十分研究ヲ進メテ居リマス、併シハ今直チニ代作獎勵ヲシテ、ソレガ直グニ效果ノ現レテ來ルモノデモアリマセヌ、中々適當ナ、相當ノ規模ニ之ヲ實現スルニ付キマシテハ、相當ナル日時ヲ要スルノデアリマス、臺灣ノ如キハ、是モ小規模デハアリマスケレドモ、穀ノ長期貯藏ノ案ニ付テ御審議ヲ

願ヒマシタ時ニ申上ゲテ置キマシタヤウニ、只今御話ニナリマシタ通り、吾々モ甘蔗、ソレカラ麻、蓖麻ト云フヤウナモノニ付テ代作ノ獎勵ヲ致スコトニシマシテ、是ハ計畫通りニ進ミマスレバ、第一年度ニ於テ概八十萬石、第二年度ニ於テ約百萬石、計畫通りニ進行スレバ第三年度ニ於テ八百二十萬石位ハ節約ガ出來ルダラウト思ヒマセガ、是等ノ如キモ一時ニ中々多數ノ廣イ面積ニ互ッテ實行スルコトハ餘程困難ナノデアリマス、ソコデ今御審議ヲ願ッテ居リマスル此特別會計ニ付テ、過剩米ノ買上ヲ致シマスルノハ一年ノコトデアリマシテ、此間ニモット徹底シタ、ソレヨリモモット有效ナル方法ガアレバ、尙ホソレヲ實行スルコトハ望シイコトデアリマス、故ニ先程モ申上ゲマシタヤウニ、是カラ此米ノ需給調節ノ根本對策ノ研究ヲスル時ニ、ソレト並行シテ尙ホ研究ヲ進メタイト吾々ハ思ッテ居ル、斯様ニ申上ゲタノデアリマシテ、此御審議ヲ願フノハ、差當ッテノ應急對策トシテ御審議願ッテ、尙ホ之ニ續イテ恆久的ノ方法ヲ研究スルト云フコトガ、私共ハ順序デアルヤウニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ此代作獎勵ニ對シテ出來ルダケ參考トナルヤウナ資料ヲ出セト云フコトデ

アレバ、是ハ産米増殖計畫ヲ産棉増殖計畫ニ變更シマスル場合ニ於キマシテハ、調査シタモノモアリマスシ、斯ウ云フヤウナコトニ關スル下調査ヲシタモノヲ御目ニ掛ケルナラバ、將來ノコトヲ御調査ニナル上ニハ御參考ニナラウカトモ思ヒマス、サウ云フ點ニ於テ先程ノヤウニ全體ノ纏リタ案トシテハ、吾々ハ未ダ是ガ政府ノ調査案トシテ御目ニ掛ケルモノハ持ッテ居リマセヌ、併ナガラ棉花ノ獎勵ニ關係スル色々ノ下調査ノ材料ノ中デ、參考トナルベキモノヲ見セヨト云フ意味デアリマスレバ、ソレハ何等カ御參考ニナルモノヲ御目ニ掛ケタイト存ジマス

○東委員 簡單ナ質問ヲ總理ニ致シタイト思ヒマス、昨日本員ノ質問ニ對シマシテ總理大臣ノ御答辯ヲ伺ッタノデアリマスルガ、米穀ノ根本對策トシテ今期議會ニハ種々ノ疑問モアリ、議ガ纏ラナカッタノデアルガ、議會ノ終了後ニハ更ニ根本策ヲ研究調査ヲシテ、改メテ對策ヲ考ヘル、即チ此提案ハ一年ノ暫定的ノモノデアルト云フコトノ御答辯デアリマシタ、今朝以來斷片的ニハ此調査會ノ設置ノ御話ガアリマシタガ、臆氣ニハ調査會デモ設ケテ根本政策ヲ樹立スルト云フヤウナ御考ノヤウニ承ッテ居ルノデ

アリマスルガ、此調査會ヲ設置スルト云フコトハ御實行ニナル御考デアリマスカ、ドウデアリマスカ、是ハ總理ノ御所見ヲ伺ッテ置キマス

○齋藤國務大臣 是非サウ致シタイト云フ考デ居リマス

○東委員 調査會ヲ若シ設立スルト致シマシタナラバ、其調査ノ目的ハ何ヲ調査スル御方針デアルカ、例ヘバ外地米ノ調節ト云フコトガ非常ナ問題ニ今日ナッテ居ル、或ハ外地米ノ調査以外ニ、内地外地ヲ通ジテ更ニ一段突込シタ米穀ノ根本對策ヲ調査スル積リデアリマスカ、是モモウツ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、外地米ノ統制ヲ、假ニ移入ノ制限ヲスルトカ、或ハ買上調節ヲスルト云フヤウナ種々ナ手段ガアリマスルガ、ソレノミデハ矢張此根本策ニハナラナイ、唯一年二年ト云フ迄ノ間デアッテ、只今カラ問題ニナッテ居ル、内地外地ヲ通ズル生産ノ統制マデ行カケレバナラヌノデアリマス、デアルカラシテ是等ノ方針ニ迄向ッテ調査スル積リデアルカ、例ヘバ專賣ノ案ヲ實行スルトカ、或ハ管理案ヲ實行スルトカ云フヤウナ風ノモノマデニ考ヘテ、矢張此對策ヲ立テル調査會ヲ設置スル積リデアリマスカ、唯朝鮮、臺灣ノ外地米ノ統制ト云

フノミノ調査ヲスル積リデアリマスカ、其點ヲハッキリ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○齋藤國務大臣 是ハ外地ハ無論ノコトデアリマスガ、内地ノコトモ研究シナケレバ徹底ハ出來ナイ、私ハ左様ニ思ッテ居リマス

○東委員 併セテ御調査ニナル御方針ノヤウニ承リマシタ、此調査會ヲ設置スルトスレバ、相當ノ期間ハ要スルト思ヒマスルガ、此調査ヲ急イデ、成案ヲ立テルト云フコトハ、非常ナ國家財政ノ上ニ於テモ極メテ焦眉ノ急ノヤウニ考ヘマスルノデアリマスルカラ、此問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、昨日モ私ハ一寸政府ニ御伺致シテ總理ノ御答辯ガアッタノデアリマシタガ、之ヲ取急イデ調査ヲシテ、臨時議會デモ召集シテ、之ヲ成立サセル御誠意ガアルカドウカト云フ質問ニ對シマシテハ、總理ハマダ何トモ決ッテ居リマセヌト云フ御答辯デアリマシタガ、私ハ國政全般ニ互ッテ眞ニ國家ヲ憂フル總理大臣ノ人格ト致シマシテハ、急イデ之ヲ成立スルト云フコトハ、洵ニ國家ニ對シテ忠實ナ行動デアルト思ヒマス、之ニ對シテヤハリ總理大臣ノ御考ハマダ決ッテ居ラヌト云フコトデアリマシタガ、必要ヲ認メナイト云フコトニ承知致シテ宜シイノデアリマスカ、之ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ

○齋藤國務大臣 一寸伺ヒマスガ、臨時議會ノコトデゴザイマスカ

○東委員 サウデス

○齋藤國務大臣 ソレハマダ決定致シテ居ラスコトハ昨日申上ゲタ通りデアリマス、併シ調査ノ結果必要ヲ認メマシタ時分ニハ、其處マデ進ムカモ知レマセヌ、今此處デ私ガ斷言致シ兼ねマス

○東委員 私ハ總理大臣ガ米穀問題ニ對シテ多少認識不足ト言ヘバ恐縮デアリマスガ、多少御理解ガマダ不足ナ點ガアリハシナイカト思ヒマスガ、私ハ密カニ案ズルノデスガ、此我國ノ今日ノ狀況ハ、齋藤内閣ノ御使命モ非常時對策デアルト云フコトデアリマス、若シ非常時ト云フ言葉ヲ冠スルナラバ、此我國ノ上ニ於テノ非常時ハ、國防ト米穀對策ト云フモノガ非常時デアルト思フ、ト云フノハ本年ノ陸海軍兩省ノ軍部豫算ハ八億六千萬圓バカリト記憶シテ居ル、非常ナ大キナ豫算デアル、國防費ハ之ニ含マレテ居ルト稱シテ居ル、吾々ハ如何ナルモノヲ犠牲ニシテモ、此國防費ノ協賛ニ努力ヲ致シタノデアリマスガ、然ルニ此米價對策ハドウデアアルカト申シマスルト、丁度私ノ計算ニ依リマスルト、昨年ノ春ノ統制法ノ成立シタ時分ニ、四億萬圓ヲ七億

萬圓ニ之ヲ増額致シタ、其時ニ餘剰ガ幾ラアツタカト申シマス、餘力ガ四億萬圓生ジタ、ソレガ本年ハ此四億萬圓ヲ殆ド使ヒ盡シテ、此米穀年度ノ末ニハ僅ニ一億萬圓シカ残ラナイノデア、サウスルト、此金額ハ約三億圓以上使ッテ居ル、是ハ悉ク濫費トハ申シマセヌ、ケレドモ國家ノ國帑ヲ支出シタコトニハ相違ナイノデアリマス、是ハ細カク先程政府委員カラ數字ノ説明ガアリマシタ、本年ノ公定米價ノ買入ガ二億七千六百萬圓デア、金利諸掛リガ二千五百萬圓デア、サウシテ季節調節ナドノ賣却ノ金ガ八百萬圓デアリマシテ、是ハ收入ニ屬スルモノデアルト云フ計算ニナッテ、之ヲ通計スルト三億六千九百五十萬圓ト云フ金ハ本年ハナクナッテ居ルノデアリマス、サウシテ更ニ今回一億五千萬圓ノ米穀資金ノ増額ヲスル、其外ニマダ政府ノ委任ニ於テ三億萬圓ノ巨額ノ増額ヲスルト云フコトニナル、サウナリマス、此金額ヲ合セルト約八億一千萬圓カラニナルノデアリマス、サウスルト國防費ハ、陸海軍ノ總額ガ約八億ナンボデアリマスガ、第二次補充計畫ハ十一億圓デアルト云ッテ國民ハ驚イテ居ル、之ヲ一兩年、八年、九年ノ間、十年ヲ見越シテ殆ド八億圓以上ノ金ヲ投ジテ、餘リ生産者モ喜

バヌ、消費者モ喜バヌト云ッテ居ルノハ、財政上ノ上カラ言ッテ憂慮ニ堪ヘナイと思フ、斯ウ云フコトヲ言ウテ居テ、總理ハ調査會ヲ設ケル、調査會ヲ設ケテ研究ヲスルト云フコトニナッテ居ルガ、是ガ暫定ノ一年間デ濟ンデ、一年間經テバ、大豐作デモアレバ四億圓モ金ヲ使ハナケレバナラヌト云フコトニナッテ來ル、斯ウ云フコトヲ致シテハ、究極ハ國家ハ破滅ヲスルヨリ外ハナイト云フ結論ニ到達スル、故ニ此場合ニ於テハ如何ナルコトヲ斷行シテデモ、急速ニ是ガ解決ヲスルト云フコトハ何ヨリ必要ナコトト私共ハ信ジテ、全ク國家ノ爲ニ憂慮致シテ居ルモノデア、此點ニ於テ總理ハ議會サヘ通レバト、後ハ調査ト云フ名前ノ下ニ一日ヲ糊塗スルト云フコトハ、是ハ齋藤内閣ノ存立ト云フコトハ、國家ノ爲ニ不都合デアルト云フ結論ニナルノデアラウト思フノデアリマス、之ニ對シテ齋藤總理ノ一段ノ御考慮ヲ願ヒタイと思フノデアリマシマス、更ニ進ンデ調査ヲスルト云フコトハ洵ニ結構デアリマセウ、御調査ヲナサルノモ結構デアリマセウガ、從來モ屢調査會ト云フコトヲヤッタガ、餘リ大シタ成案ヲ得ルト云フコトニハ至ラヌ、今日迄ノ御經歷カラ見ルト云フト、私共ハ餘リ信賴スルコトガ出

來ナイノデアリマスガ、去ル二月十日ト新開ニ傳ヘラレテ居ルノデアリマスガ、總理大臣ノ官邸ニ於キマシテハ、總理大臣、大藏大臣、農林大臣、鐵道大臣、拓務大臣、此五大臣ガ協議シテ、サウシテ協議ノ決定事項ト云フモノガ新聞ナドニ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、此決定事項ヲ見ルト云フト、朝鮮臺灣ニ需給特別會計ヲ設置スルコト、毎年内地カラ入ル所ノ米ノ自由移入ノ限度ヲ定メテ、其範圍内ニ於テ之ヲ月別ニ内地ニ移入ノ方法ヲ定メルコト、毎年度ニ於ケル買上及移入肥料ノ限度ニ關シテハ關係官廳ノ協議ヲ以テ決定スルコト、買上及賣渡ノ價格ハ時價ニ依ルコト、特別會計ノ資金ハ一億五千萬圓トシ、更ニ買入限度ヲ三億萬圓、其程度ニマデ範圍ヲ擴張スルコト、斯ウ云フコトヲ五大臣ノ決定事項ト云フモノニ依ッテ世間ニ公ニサレテ居ル、私ハ是ハ恐ラク事實ダラウト思フ、吾々モ非公式ニハ關係ノ一二人カラ承テ居ル、總理大臣ガ中心ニナッテ五大臣ガ申合セタコトガ、ドウシテ是ガ議會ニ提案ガ出來ナイノデアルカ、斯様ニ五大臣ノ關係ガ既ニ申合セラシテ、協議決定事項トシタト云フコトハ、今ノ日本ノ國家ニ於テ是ヨリ重要ナ申合セハナイ、是ヨリ權威アル協議ハナイノデア

リマス、之ヲ此議院ニ提案スルコトガ出來ズシテ、サウシテ更ニ議會ガ濟ンデカラ調査會ヲヤル、或ハ權威者ヲ集メテ調査實行ヲスルト言フ、是ハ實ニ天下ヲ愚ニスルモ甚シイモノト私共ハ考ヘテ居ル、左様ナ事ガアツタラウト思フノデアリマスガ、是ガ事實無限デアツタカドウデアリマスガ、併セテ此點モ伺ッテ置キタイ

○齋藤國務大臣 前段ノコトハ別ニ御答申上ゲマセヌガ、今ノ後段ノ御尋ノコトニ付テ御答致シマス、ソレハサウ云フ方針案ヲ作ッテ見ヨウト云フコトノ決議ヲシタノデアリマシテ、議會竝ニ世ノ中ニ公表スベキ程度ノモノデハナクッタノデアリマス、金額ノ如キモノモ全ク唯話合ノ程度デ、何モ決定致シタノデハナイノデアリマス、無論此案ガ出來マシタナラバ、閣議ニ諮ッテサウシテ公式ニ致サナケレバナラヌノデアリマス、ソレガ何處カラカ漏レテ、恰モ公ニ決ッタカノ如ク報ゼラレタノハ、ソレハ誤リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○東委員 此五大臣ノ協議決定シタ事項ト云フヤウナ、閣議決定シタ事項ヲ、公ニスルモノトハ勿論考ヘテ居リマセヌガ、世間ニ持步イタ閣議ノ申合セノ事項トシテ、既ニ申合セタト云フコトハ、總理モ肯定ヲ

致シテ居ル、是ハ事實ニ相違ナイ、サウシテ又之ヲ或ハ法制長局官、或ハ此處ニ御列席ノ堀切書記官長等ガ、之ニ對シテ種々ナル工作ヲ爲シタト云フコトモ、是ハ毎日新聞ニ傳ヘラレテ居タ、デアルカラ此事ガ決シテ事實デナイトハ、何人モ認メナイ、唯斯様ナ事ノ申合セガ、何故ニ提案ガ出來ナカッタノデアルカト云フコトハ、本員等ハ甚ダ不可思議ニ考ヘル、唯此點ニ於テ提案ガ出來ナカッタト云フノハ、法令ニ依ッテ或ル程度ノ輸入制限ヲスルト云フ議論ト、或ハ之ヲ勅令事項ニ讓ルト云フ、此二ツノ問題ガアルガ爲デアル、限局スレバ二ツヨリ外ニハナイ、法令ニ依ッテヤルト云フヤウナコトハ、如何ニモ外地ニ對シテ差別待遇ヲスルヤウデ、非常ナ刺戟ヲ與ヘルト云フコトカラ、此法令ニ依ルト云フコトハ出來ナカラウト云フノデ、拓務大臣、朝鮮總督ガ之ニ贊成ヲシナイ、故ニ是ハ勅令ニ依ッテヤル事項デアルト云フコトハ、是ハ實ニ明瞭ナノデアル、總理大臣ハ決ッテ居ラヌト云フ御話デアリマスガ、此協議ノ當時ニハ、毎日新聞記者ニモ、或ハ世間ニモ公表サレテ居タ、勅令ニ依ッテヤルカ、法令ニ依ッテヤルカ、此二ツノ問題ニナルト、二ツナガラ是ガ論議サレテ居ッタト云フコトハ、是ハ事實

デアルト私ハ思ヒマスガ、是等ノ點ニ付テ、私ハ斯様ナ調査會ヲ設ケタノガ、何等ノ權威ガ無クテ、何等ノ意味ヲ爲サヌ、唯徒ニ時日ヲ遷延スルノミデアル、斯様ニ考ヘテ、重ネテ御伺ヲスルノデアリマス

○東委員 モウ一ツ是ハ甚ダ失禮デアリマスガ、此法案審議ノ上ニ於テ重要ト考ヘマスルガ、一言總理ノ御考ヲ伺ッテ參考ニ資シタイト思フノデアリマス、私共ハ今度ノ移入調節ノ提案ハ、一年限りノ暫定的ノモノデアルコトハ、政府ガサウ言ウテ居ルノデアリマスカラシテ、極メテ明白ダト思ッテ居ル、此極メテ限局サレタモノニ對シテ、所謂法令事項ニ依ッテ、或ル程度ノ制限ヲスルカシナイカ、或ハ勅令ニ依ッテ、之ヲ勅令ノ委任事項ニ依ッテヤルカドウカヲ伺ッタノデアルガ、是ガ根本政策トナレバ、只今拓務大臣ニ大本君カラ御質問ニナッタヤウニ、或ハ減反トカ、代作轉換トカ色々ノ問題ガアリマセウガ、暫定的トスレバ極メテ明瞭ナモノガアルノデアリマスガ、此點ニ付テ吾々ガ若シ本案ヲ修正致シタ場合ニハ、政府ハ御同意ナサルコトガ出來マセウカ、修正ノ事項ハ色々アリマセウガ、吾々ハサウ云フ全般ニ互ッテノ修正ヲシヨウト云フ考ハナイノデアリマスガ、一向害ニナラナイ、政府ノ心配ニナラナイ程度デ、此五大臣ノ閣僚協議事項ニ對スル修正ヲ致シタ場合ニハ、政府ハ御同意ナサルカドウカ、其點ヲ一言御伺致シマス

○齋藤國務大臣 實行上差支ノナイ修正デアリマスレバ、無論差支ナイト思ヒマスガ、是ハ其モノヲ拜見シナイ中ハ、私ハ何トモ申上ゲヤウガアリマセヌ

○高田委員 私モ此際東君ト同ジヤウナ意味ニ於テ更ニ伺ッテ置キタイ、本會議ニ於テ臨時議會ヲ開イテマデ、此問題ヲ根本的ニ解決スルカドウカト云フ河野君及私ノ質疑ニ對シテ、農林大臣ハ臨時議會ヲ開ク考ハ有ッテ居ラヌ、斯ウ云フ御答ガアッタ、所ガ昨日及本日ノ委員會ニ於テ、東君ノ質疑ニ對シテ、開クカ開カナイカ分ラヌ、都合ニ依ッテハ開クト云フヤウナ意味ニモ聞エル、絶對的ニ開ク考ハナイト云フ農林大臣ノ意見ヲ翻シテ下サッタコトハ、幾分私共モ其方宜シイコト、思フ、所ガマダ不徹底ナコトハ、私ハドウシテモ開カナケレバナラヌ、端境期マデニ開カナケレバナラヌト云フコトヲ事實ノ上ヨリ申上ゲテ、御諒解ヲ得テ置キタイト思フ、只今東君ハ財政上ノ方面ヨリ米穀問題ノ重要性ヲ申上ゲラレタガ、私ハ米ノ問題ヲ實際上カラ見テ、ドウシテモ開カナケレバナラヌト云フコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、ソレハドウ云フコトカト云ヘバ、本年ノ端境期ニ於ケル米ハ、總テ御發表ノモノヲ見ルト、大體ニ於テ千四百七十

萬石、斯ウ云フコトデアリマシテ、先ヅ平年ノ理想持越高ノ五百萬石ヨリ見レバ約千萬石ダケ餘計ナ米ガアル、併シ朝鮮ノ内情等ヲ見ルト、アノ調査ハ大體ニ於テ朝鮮ノ報告ヲ採ツタモノデアルガ、朝鮮及臺灣カラ内地ニ對シテ本年幾ラ米ヲ入レルト云フコトヲ基礎ニシテ作ツタ需給推算デアリマスカラ、私ハモット餘ルンデヤナイカト云フ感ジガスル、斯ル前提ノ下ニ於テ、昭和九年ノ作柄ガドウナルカト云フコトヲ豫想スルト、是ハ無論何人モ分リマセヌガ、政府モ此點ニ非常ナ危惧ノ念ヲ有ツテ居ラレテ、大體ニ於テ七百萬石——マア五百萬石ヲ十年度ニ於テ、詰リ本年出來ル米ヲ臺灣、朝鮮ヲ買フト云フコトヲ申シテ居リマス、ソレカラ更ニ三億圓ハ必要アルニアラズヤト云フヤウナコトデ、三億圓ヲ要求シタ、ソコデ若シ本年ガ豐作デアルト假定致シマシタナラバドウナルカ、例ヘバ昭和九年ノ米ガ八年ト同一ニ、實際ニ於テ七千萬石穫レ、バ、最近五箇年間ノ平均カラ見ルト、内地ノ米ダケデ澤山デアアル、最近五箇年間ノ内地ノ消費量ハ約七千萬石デアルカラ、七千萬石穫レ、バ朝鮮臺灣ノ米ハ一ツモ要ラヌト云フコトニナル、ソレデ朝鮮臺灣カラ幾ラ移入シナケレバナラヌカト云フト、

少クトモ今日ノ情勢カラ見ルト千二三百萬石ノ米ヲ内地ニ移入シナケレバ、朝鮮、臺灣ハ非常ニ困ルダラウト私ハ思フ、若シソレヲ買上ゲルナリ、移入スルナリシタ所ガドウナルカト云ヘバ、千三百萬石ト假定スルト、昭和八年ノ產米ノ千七百八十萬石トソレカラ千三百萬石ヲ合セルト云フト、三千百萬石ト云フモノガ來年餘ル勘定ニナルト私ハ思フ、即チ昭和九年ノ米ヲ作ツタ結果ガ、昭和十年ニ三千萬石餘ルト云フ狀態ニナルト思ヒマス、大體ニ於テ若シ豐作デアレバ……マアサウナツタ所ガ仕方ガナイ、天候ガサウスルノデスカラ——故ニ若シサウ云フ狀況ヲ呈シテカラ、臨時議會ヲ開カズニ本議會マデ待ツテ、調査研究ノ結果ヲ具體的ニ實行スルトスレバ、ドウ云フモノガ出來ルカ知ラヌケレドモ、若シサウ云フ狀態トスレバ、内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテ生産制限ヲスルヨリ仕方ガナイと思フ、移入制限ヲシタ所ガ、朝鮮臺灣ガ餘レバ同ジデアリマス、三千萬石バカリノ米ガ餘ルト云フコトガ——來年ノ端境期ニ繰越ノ米ガ三千萬石ト云フ狀態ニナル、ナツタ所デ仕方ガナイ、所ガ若シ本年ノ九月カラ十月頃ニ臨時議會ヲ開イテ、何等カノ具體的方針ヲ決定シテ、將來ノ根本的ノ米ノ政策ヲ立テレバ、來年

ノ米カラハ相當ニ生産ノ制限モ出來、對策モ出來マセウ、ソレデ九月カラ十月ニ大體方針ヲ決メテ、サウシテ昭和十年ノ米作ニ當ツテ、生産制限ナリ、代作獎勵ナリスレバ出來マスケレドモ、若シソレガ十二月、一月ニナレバドウナルカト云ヘバ、十年ノ米ヲドウスルカト云フコトニ付テ、各般ノ方面ニ付テ行政的施設ヲ急ニヤツタ所ガ間ニ合ヒマセヌ、何故ナラバ現ニ糶貯藏ノ問題ハ十一月カ十二月頃始マツタモノデ、ソレデモマダ徹底致シマセヌデ、朝鮮ハ三百萬石ノ貯藏ハ出來タサウデスガ、内地ハ私ハ六百萬石ノ貯藏ハ出來ナイと思フ、政府ガ出來ルト言フノニ私ガ出來ナイと言フノハ失禮デスケレドモ、ドウモ私ハ六百萬石ハ出來ナイと思ヒマス、斯様ニ單純ナル糶貯藏デサヘ、十二月カラ著手シテモ中々サウ行カナイノヲ、若シ減反ヲスルトカ、代作スルトカ云フヤウナ、非常ニ徹底的ナ、是コソ非常時ノ米作ニ付テ政策ヲ執ラナケレバナラヌト致シマスレバ、通常議會マデ待ツテ其斷案ヲ下シテ解決シタノデハ、十年ノ米ヲ作ル者ニ對シテ、生産制限ヲセヨト云フコトハ絶對ニ出來マセヌ、事實上無理ニナルト思ヒマス、斯様ナ見地カラ致シマスレバ、私ハドウシテモ少クトモ端境期マデニハ大體ノ

斷案ヲ下シテ、決定シテ、大體十年ノ米作ニ對スル、或ル程度ノ制限ヲ加ヘルナリ、何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラヌノデゴザイマスルカラシテ、先程東君ノ御話ノ財政上ノ見地ヨリ見マシテモ無論ノコト、更ニ米作ノ實際ノ問題カラ言ヒマシテ、ドウシテモ斯ウシテモ來年ノ議會マデ待ツテ之ヲ解決スルト云フコトハ、實際ニ於テ十年度ノ米ニ對シテ何等ノ處置ヲ執ルコトガ出來マセヌカラシテ、少クトモ端境期マデニハ臨時議會ヲ開カナケレバナラヌト思ヒマス、故ニ此意味ニ於テ通常議會マデ待タズシテ、成ベク早く調査會ヲ開イテ根本的對策ヲ立テ、サウシテ臨時議會ヲ開クト云フコトガ當然デアアル、サウデナケレバドウシテモ押ヘガ付カナイと思ヒマスガ、如何デスカ

○齋藤國務大臣 御意見ノ所ハ明瞭ニ分リマシタ、分リマシタガ、私ガ此處デ即斷ニ御答ハ出來マセヌガ、考究致シマシテ御答致シマス

○高田委員 私ガ申上ゲマシタコトガ御諒解得マシタコトヲ感謝致シマス、ドウシテモ通常議會マデ待ツタノデハ間ニ合ヒマセヌ、糶貯藏ガ好イ實例デゴザイマスカラ、ドウゾ其意味ニ於テ一日モ早く調査會ヲ開イテ、

少クトモ端境期マデニ此問題ヲ解決スルコトヲ御願シタイト思ヒマス、私ノ總理ニ對スル質疑ハ之ヲ以テ打切りマス

○胎中委員長 御諮リ致シマスガ、委員外デハアリマスルガ、非常ニ深く執望サレテ居リマスノデ、此際朴春琴君ニ關聯シテ質問ヲ許シタイト思ヒマス——朴春琴君

○朴春琴君 私ハ内地、朝鮮、臺灣ノ米ノ問題ハ刻下ノ重大ナル問題デアラガ故ニ、内閣總理大臣ニ簡單ニ承リタイト思フノデアリマス

齋藤内閣成立以來一年數箇月、滿洲國ハ既ニ承認シ、國際聯盟ハ脱退シ、是ハ我國ニ取ッテハ現内閣ノ大政策ト私ハ思フノデアリマス、殊ニ各委員カラ朝鮮臺灣ノ問題ニ對シテ色々述べラレテ居リマスガ、本員ハソレヲ聽ク度ニ、大日本帝國ハ大陸ノ政策ガ狭イヤウナ氣持ガスルノデアリマス、殊ニ現内閣ノ總理ハ十年間朝鮮ニ居ラレタ關係上、此朝鮮ノ二千萬ノ新日本國民ノ有ユルコトニ付テハ詳シク御承知ダラウト思フノデアリマス、而シテ齋藤内閣總理大臣ハ、朝鮮ニ依ラザレバ内地ノ食糧問題ハ解決ガ出來ナイト云フ點カラ、朝鮮總督時代ニ產米増殖ヲ行ッタコトハ事實デアリマス、ソコデ產米増殖ノ方法宜シキヲ得タ

結果、朝鮮ハ米ガ餘計ニ穫レルヤウニナツタ、

又内地モ三年間ト云フモノハ豐年ノ爲ニ米ガ餘計ニ出來タノデアリマス、ソコデ過日ノ本會議デ東武委員ノ演說ニ依リマス

ト云フト、内地デ生レタ此七千萬ノ日本國民ハ、七千萬石デハ米ガ足りナイ、二百萬石乃至三百萬石不足デアアル、斯ウ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、此問題カラシテ所謂日本國內ニ不足シテ居ル米ヲ朝鮮カラ求メナケレバナラナイト私ハ思フ、所ガ同ジ國內デアアル、例ヘバ北海道デ出來タ米ニ對シテ、移入制限ト云フコトガ出來ルカ、又九州

デ出來タ米ニ對シテ移入制限ト云フコトガ出來ルカ、朝鮮ハ日本國內ノ朝鮮デアアル、同ジ國內デアリナガラ、朝鮮ノ米ノ……移入制限ヲスルト云フコトハ出來ナイト私ハ思フ、吾々ハ同一國民トシテ權利モ主張シ、又義務モ

果シタイト思フノデアリマス、悲シイ事ガアルニシテモ、嬉シイ事ガアルニシテモ、日本デ生レタ日本人モ、朝鮮デ生レタ日本人モ、何等變ルコトナク、共ニ生キルト云フコトガ同一國民デアアルノデハナイカト思フノデアリマス、然ルニ此問題ニ付テ同ジ日本國內ノ朝鮮ノ米ノミニ此移入制限トカ、許可制度トカ云フコトヲスルトナルト、此朝鮮デ生レタ日本國民二千萬ノ感情ヲ害スルコトハ當然デ

アリマス、是ハ米ノ三百萬石ヤ四百萬石ノ問題デハナイト私ハ思フ、此問題ハ恐ラク

大正八年萬歲騒動ノ當時ニ朝鮮總督デアラレタノデアリマスカラ、現内閣總理大臣ハ能ク御承知デアラウト思ヒマス、併シ私ハ是ハ決シテ感情デ言フノデハアリマセヌ、

日本國民ノ一人トシテ國家ノ爲ニナラヌコトハ何處マデモ之ヲ鞭撻モシ、又自分モ盡力ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス、例ヘバ此處ニ居ラレル政友會ノ方モ、

民政黨ノ方モ、日本デ生レタ人デアリマスカラシテ、我儘ノコトヲ言ヘルガ、若シモ朝鮮カラ出タ議員ガ多數アルナラバ、恐ラク此問題ハ起ラナカッタト思フ、悲シイ哉今

ノ所デハ訴ヘル所ガナイ、四百六十六名ノ中私一人ガ朝鮮デ生レタ日本人トシテ議員ニ加ッテ居ルノミデアアルカラ、國家ノ爲ニモ皆サンニ此點ハ能ク考ヘテ貫ヒタイト思ヒマス、是ハ感情デ申スノデハアリマセヌ

ソレカラ私ハ斯ウ云フ考ヲ有ッテ居ル、例ヘバ朝鮮ノ米ハ要ラナイト云フコトニナレバ、土地モ要ラナイ、人間モ要ラナイ、斯ウ云フコトニナル、是ハ決シテ理窟デハナイ、米モ要ラナイ、人間モ要ラナイ、土地モ要ラナイト云フコトニナル、結論ガ朝鮮ハ獨立セヨト云フコトニナラナケレバナラ

ヌ、サウナレバ今日ノ米ノ問題ハ起リハシ

ナイ、併ナガラ日本ノアル限りハ、日本ノ國防上朝鮮ト云フ國ヲ切離ス譯ニハ行カナ

イ、此前モ私ハ農林大臣ニ申上ゲマシタガ、我國ノ國防上、日本ガ大亞細亞民族ヲ指導シテ行カナケレバナラヌ、聽テハ世界ヲ指

導シテ行クベキ大日本帝國ガ、同ジ國內ニ於テ左様ナ事ヲスルト云フコトハ、大國民ノ爲スベキコトデナイト思フ、現内閣總理大臣ハ、先ニ申上ゲタ通り、日本ノ國ノ大

政策ヲ行ッタ内閣總理大臣デアルト私ハ信ジテ居リマス、又此内閣ニ於テ齋藤閣下ハ朝鮮ニ十年間ト云フ功績ガアリマス、國家ノ功績ハ無論デアリマスケレドモ、齋藤サ

ン個人トシテノ功績モアル譯デアリマス、其功績ノ中ニ所謂產米増殖ト云フモノガ私ハ入ッテ居ルト思フノデアリマス、下岡政務總監ガ、名政務總監トシテ、各驛ニ朝鮮人

ノ出迎ヘガ多イト言ハレタ、齋藤總理モ朝鮮ニ居ラレタ時ニ、各驛ヲ通ル時ニ朝鮮人ガ出迎ヘテ崇拜シタノハ、所謂產米増殖ヲ行ッタト云フコトノ私ハ偉大ナル力ノ爲メデハナイカト思フノデアリマス、此意味合カラアナタハ舉國一致内閣ノ總理大臣デア

タイ

私ハ忌憚ナク申上ゲマス云フト、日本ノ政治ハ咽喉元過ギレバ熱サヲ忘レルト云フヤウナ、所謂政治ノ缺陷ガアルヤウニ思ヒマス、此缺陷ヲ根本カラ叩キ壊サナケレバ相成ラスト私ハ思フ、自分サヘ良ケレバオ前ハ死ンデモ宜イト云フ左様ナ政治デハイケナイ、海外ノ者ハ日本人ニ向ッ

テ何ト言ヒマスカ、島國ノ根情デアルトカ何トカト言ハレルコトヲ、總理大臣ハ能ク御承知ドラウト私ハ思ヒマス、吾々日本人トシテ左様ナ言葉ヲ受ケルノハ、悲シイト思フノデアリマス、デアリマスカラサウ云フ事ノナイヤウニ、私ハ此前モ言ヒマシタガ、

本當ニ國家の見地、日本ガ今後大陸的ニ發展スルト云フ大政策ヲ立デマスルニハ、朝鮮ト日本トヲ併合シテ、二十五年間デハアルガ、此朝鮮ト云フ皆サンノ弟ガ我儘ナコトヲ言フニシテモ、日本ノ大國民トシテハ、ソレハ我慢ラスル、又自分ガ食料ガ不足デアルニシテモ、弟ニ食ベサシテヤラウト云フ位ノ考ヲ有ッテコソ、私ハ大和民族ノ精神デアラウト、斯ウ思フノデアリマス、大和民族ノ魂ト云フモノハ弱イ者ハ助ケ、強イ者ハ倒スト云フコトガ、即チ日本精神デハナイカ、私ハ左様ニ考ヘテ居リマス、其意

味合カラ内閣總理大臣ハ國家ノ大政策ヲ行ッタ總理大臣デアルカラシテ、國家ノ爲ニ不利益ナ事ハ絶對ニシナイコトガ宜イト私ハ思フノデアリマス、此點カラシテモ内鮮人ハ共ニ同一國民デアルカラシテ、左様ナ差別ヲシナイト云フコトヲ内閣總理大臣ハ考ヘテ居リマスカドウカ承リタイト思フノデアリマス

○齋藤國務大臣 朴春琴君ノ御話ハ承リマシタガ、私ハ恐ラク此委員會ニ居ラレル諸君モ別ニ何等異論ハナイコトドラウト思ヒマス、何等偏見ヲ以テ臨ンデ居ラレル方ハナイト考ヘマス、ドウゾ其處ハ間違ノナイヤウニ御願シタイト思ヒマス

○朴春琴君 能ク分リマシタ、私ハ總理大臣ニ少クトモ十年間可愛ガッテ貰ッタ一人デアリマスカラ、能クアナタノ心持ハ承知シテ居リマス、併ナガラ今日此處ニ御出デニナル各委員ノ方々ノ氣持ハ、私ハ能ク承知シテ居リマスガ、人間ト云フモノハ良心ヲ必ズ有シテ居ル、私ガ此處デ喋ルコトハ國ノ爲ニナル事ダト云フコトハ、各委員ノ方方モ能ク御承知ドラウト思ヒマス

唯此内鮮人間ニ、私ハ外地トカ内地トカ云フコトヲ聞ク、先刻モ或ル委員ノ方ハ外地ト云ハレマシタガ、何ダガ私ハ外國人ノ

ヤウナ氣持ガスル、併シ植民地ガ今度外地トナルトカ、朝鮮トカ、日本トカ云フ言葉其モノヲ、私ハ一日モ早クナクナスヤウニシタイト思フ、是方即チ一緒ニナッタ、所謂同一國民ノ氣分デアル、又内閣總理大臣モ能ク御承知ノ通り、滿洲事變ノ勃發シタ當時ニ、朝鮮デ生レタ日本人モ多大ナル功績ガアルノデアリマス、其點カラ見テモ、内地デ生レタ日本人ガ、此朝鮮デ生レタ日本人

二千萬ニ對シテ、指導宜シキヲ得タナラバ、私ハ此朝鮮デ生レタ日本人二千萬ニモ大和魂ヲ植付ケルコトモ出來ルシ、彼等ハ決シテ日本ニ對スル反抗心ト云フモノハナイト云フコトヲ確信スル、又内閣總理大臣モ能ク御承知ドラウト思ヒマス

其意味合カラ今日此内鮮間ニ於キマシテ、色々ナ不便ナ點ガアリマスガ、私ハ齋藤内閣ニ於テ關釜連絡、アノ下關ト釜山トノ間ノ差別撤廢モシテ貰ヒタイト思フノデアリマス、例ヘバ鮮人ノ方々ガ内地ヘ來ル時ニハ、旅行證明ガナケレバ來ラレナイ、是ガ爲ニドノ位鮮人ノ方々ガ憤慨シテ居ルカ分ラヌ、同ジ國內デ交通スルノニ、之ヲ制限スルト云フコトハ、何事デアルカ、ソレカラ又紙幣統一ノ問題ノ如キモ、朝鮮カラ内地ヘ來ル時ニ、例ヘバ十圓デモ、二

十圓デモ、百圓デモ持ッテ居ル、所ガ是ハ關釜連絡デ替ヘナケレバ内地デ使用ガ出來ナイト云フヤウナ不便ガアル、今日内地人ハ四十八九萬カラ五十萬近クヨリ朝鮮ヘ行ッテ居ナイ、何故ニ同ジ日本ノ朝鮮デ、内地人ガ殖エナイカト言フト、此海一ツノ間ニ左様ナ差別ガアル爲ニ、朝鮮ヘ行ク日本人ハ、同ジ日本ノ國トナッテ居ルケレドモ、朝鮮ヘ行ク時ハ丁度英米ヘ行クヤウナ氣持ヲ與ヘラル、ノデアル、ソレガ爲ニ同ジ日本國內ノ朝鮮ニ於テ内地人ガ殖エナイ、斯ウ云ッタヤウナ不便ナ、所謂障害物ヲ取除クト云フコトハ、普通ノ内閣ナラバ中々朝鮮ニ對シテ認識ヲ誤ッテ居ル爲ニ出來ナイト思フガ、併シ齋藤内閣ニ於テハ、總理大臣閣下ガ、此關釜連絡ノ交通ハ鮮人ノ方々ニ非常ニ不便デアルト云フコト、朝鮮ニ生レタ日本人ガ此關釜連絡ノ實情ニ付テ不平ヲ有ッテ居ルト云フコトハ能ク御承知デアリマス、此問題ヲ根本的ニ叩キ壊サナイト、オ前ハ朝鮮ダ、俺ハ日本ダ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

農林大臣ガ今内地ニ出來ル米ガ不足デアルカナイカト言ハレル時ニハ、先ヅ私ハ十年ノ後ニナルト、年々百數十萬ト殖エル日本人ニ對シテ米ハ無論不足デアル、此足ラナイ

米ト云フモノハ、朝鮮カラ持ッテ來ナクッテ
ハナラヌ、私ハ齋藤總理大臣ガ朝鮮ニ居ラ
レル時、内地ヘ早ク米ヲ寄越セ〜ト云フ
コトガ屢、アッタト思ヒマス、是等ノコトヲ
考ヘテ見マシテモ、此内鮮人間ニ於キマシ
テ、少シ位ノ利害關係ヲ以テ此新附ノ二千
萬ノ感情ヲ害スルト云フコトハ、私ハ非常
ニ國ノ爲ニ不利益デアルト思フ、又日滿經
濟「ブロック」ヲ作ルト云フ今日ニ於キマシ
テ、之ヲ英米諸國ガ聞キマス、如何ニモ
此日本ノ國策ガシミタレナヤウナ國策デ
アルト云フ感ジヲ英米諸國ニ與ヘルダケデ
モ、私ハ諸外國ニ對シテ不利益デハナイカ
ト思フノデアリマス、故ニドウカ内鮮人間ノ
問題ニ付テハ、此處ニ御出デニナル皆様モ、
本當ニ皆様ノ弟ヲ愛シテヤラウト云フ氣持
ヲ忘レズシテ、國策ヲ誤ラレナイヤウニ總
理大臣ニ吳々モ御頼ミ申上ゲテ私ノ質問ヲ
打切リタイト思ヒマス（拍手）

○三善委員 私モ簡單ニ總理大臣ノ御答辯
ヲ得タイト思ッテ居ルノデアリマス、先ヅ總
理大臣ニ御聽シタイト思ヒマスコトハ、先
般總理ガ豫算總會ニ於キマシテ言明セラレ
タ所ト、今回御提案ニナッタ所トハ其内容ガ
違ッテ居ルヤウデアリマス、之ニ付キマシテ
一通リ總理ノ御辯明ヲ得タイト思ヒマス

ガ、先般豫算委員會ニ於テ總理ガ言明セラ
レタノハ、朝鮮臺灣ニ米穀需給調節特別會
計ヲ設置致シマシテ、臺灣過剩米ノ買上ヲ
ナス等、外地米調節ノ方法ヲ講ズルコト、
斯ウ云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、此外
地米ノ調節ノ方法ヲ講ズルコト云フコトハ、
外地米ノ調節ニ依ッテ内地米ヲ壓迫シナイ
ヤウニスルト云フ御方針デアルト承ッテ宜
シイノデアリマス、如何デアリマセウカ
○齋藤國務大臣 左様デゴザイマス、其間
ニ都合ノナイヤウニ致シタイト云フ考ヲ
有ッテ居リマス

○三善委員 ハッキリ分リマシタ、總理大
臣ハ外地米ノ調節ニ依ッテ内地米ヲ壓迫シ
ナイヤウニスルト云フコトニ付テハ、其通
リダト云フ御意見デアリマスガ、然ラバ御
尋致シマスガ、私ハ今回ノ御提案ノ内容ヲ
見マス、外地ニ於テ米ヲ買上ゲル、其買
上ノ價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依ッテ一定ノ
價格以內ニ於テ買上ゲルト云フコトデアリ
マスガ、一定ノ價格ト云フコトデ、上ノ價
格ガ決ッテ居リマス、勅令デ決メラレマス其
價格以內ニ於テ時價デ御買上ニナルトシマ
スレバ、此買上價格ハ一定ノ價格以內ト云
フコトニナッテ居リマスガ故ニ、此價格ガ内
地ノ米ノ相場ヨリモ安イ時ニハ、政府ノ買

上ニ對シテ朝鮮米デモ、臺灣米デモ買上ニ
應ジマセヌ、安ケレバ其米ハ内地ニ流レテ
來マスガ爲ニ、其結果ハ内地米ヲ壓迫スル
結果ニ到達スルト思ヒマス、今日ノヤウニ
最低價格ヲ以テ満足スレバソレデ宜シイカ
モ知レマセヌケレドモ、少クトモ米穀統制
法ト云フノハ、米價ヲ最高最低ノ中位ニ置
クト云フノガ、米穀統制法ノ目的デアル以
上ハ、今ヨリモ少シク米價ガ上ラナケレバ
ナラヌト云フノガ、農民一般ノ希望デアリ、
又ソレガ米穀統制法ヲ制定セラレタ趣旨ニ
適フモノデアル、然ルニ此結果ハ一定ノ價
格ノ以內ニ於テ御買上ニナッテ、此以內ガ内
地ノ米價ヨリモ安ケレバ政府ノ買上ニ應ゼ
ズシテ、外地米ガ内地ニ移入セラレマスガ
爲ニ、内地ノ米價ヲ壓迫スルト云フ結論ニ
到達致シマスガ故ニ、總理ノ言明ノ内地ノ
米ヲ壓迫シナイヤウニスルト云フコトハ、
全ク反スル結果ヲ招來スルト思ヒマスガ、
此點ハ如何御考ヘデアリマセウカ
○齋藤國務大臣 ソレハ農林大臣カラ御話
願ッタ方ガ宜イカト思ヒマスカラドウカ左
様ニ……

○後藤國務大臣 只今ノ御尋ハ、一定價格
ノ範圍內ニ於テ時價ニ準據シテ買フト云フ
コトニ法案ガナッテ居リマスガ、此勅令ガ定

ムル一定價格ト云フモノハ、朝鮮米ノ格差
ノ關係、或ハ朝鮮米、内地米ノ需給狀況ト
云フヤウナ、其場合ノ事情ヲ見マシテ、兎
ニ角コチラガ相當豫想シタ數量ヲ買上ゲ得
ルヤウナ値段ノ範圍內ニ於テ、時價ニ準據
シテ買ハウト云フノデアリマス、無暗ニ高
イ値段ニ買フト云フコトニ制限ヲ及ボスト
云フダケニ過ギマセヌカラ、大體豫定シタ
米ヲ買ヘルヤウナ値段デ買ハウト云フノデ
アリマス、實際ノ經濟事情、格差等ヲ斟酌
致シマシテ、凡ソノ最高限ヲ決メテ置キ、
其以下ノ時價ニ於テ買ヘルヤウニシテ置カ
ウト云フノガ大體ノ建前デアリマシテ、今
ノヤウナ御懸念ハナイコト、思ヒマス

○三善委員 重ネテ農林大臣ニ御尋スル方
ガ宜シイト思ヒマスガ故ニ御尋致シマスガ、
ソレハ非常ニ御考ガ違フト思フ、一定ノ價
格ガ決ッテ居ル、此決ッテ居ルト云フノハ、或
ハ生産費、或ハ經濟事情、内地ノ米價等ヨ
リ一定價格ヲ御決メニナリ、ソレ以內デ御
買上ニナル時ニ、内地ノ米價ガ非常ニ上ッテ
居ル場合、上ッテ居ルガ故ニ、此價格ニ應ズ
ル者ハ居リマセヌ、必ズ米ハ内地ニ流込シ
テ來マス、其流込シテ來ルガ故ニ、内地ノ米
ガ上ラウトスレバ流込シテ來ルカラ、内地ノ
米ヲ壓迫スル、是ハ實際アリ得ベキコトデ

アル

○後藤國務大臣 サウナナイヤウニナル
積リデアリマス、ソレハ時價ニ準據シテヤ
ルノデアリマスカラ、時價デ買ヘナイヤウ
ニ最高價格ヲ決メテシマフトイケナイケレ
ドモ、最高價格ト云フモノヲ相當ノ所ニ決
メテ、時價ニ準據シマス、ソレデ内地ノ米
ガ可ナリ高イト云フ時分ハ、調節買上ノ必
要ノ餘リナイ時デアリマス、内地ノ米ノ價
ガ安イカラ、何トカシテソレヲ朝鮮米ノ移
入調節ニ依ッテ維持ヲ圖ラウト云フ時分ノ
所デ、調節買上ト云フモノガ行ハレルノデ
アリマスカラ、其心配ノナイヤウナ限度ヲ
決メテ置イテ、其範圍内デ時價ニ準據シテ
ヤルト云フノデアリマス

○三善委員 是ハ意見ノ相違デアリマスカ
ラ、是レ以上申上ガマセヌケレドモ、農林
大臣ノ言ハレルノハ時價ヲ以テ買上ゲルヤ
ウニシデアルカラ、應ズルト言ハレマスケレ
ドモ、内地ノ米ノ上ツタ場合ニハソレニ應ジ
ナイ、外地米ヲ内地ニ移入シタ方ガ得デア
ル、價格ガ高ク賣レルカラ得デアル、ガカ
ラ内地ノ米ガ上ラウトスト内地ノ米ヲ壓
迫スト云フコトニナリマスケレドモ、是
ハ意見ノ相違デアルカラ申上ガマセヌ
總理大臣ニ御尋致シマスガ、米ノ問題ハ餘

程困難ナ問題デアルヤウニシテ、又政策ノ
如何ニ依リマシテハサウ至難ナ問題デモナ
イト思フ、先ヅ今日ノ米ガ有餘デ居ル、有
餘デ居ル米ヲ今後相當ニ制限シナケレバ
ナラヌ、又今現在アル所ノ過剩米ヲ處分シ
ナケレバナラヌ、此二點ニアルノデアリマ
ス、此二點ニ付キマシテハ、今後調査研究
ヲ爲サルト云フコトデアリマスガ、私共ノ
考デハ、只今朴春琴君カラ或ハ差別待遇デ
ハナイカ、或ハ不公平デハナイカト云フヤ
ウナ御意見モアリマシタノデアリマスル
ガ、私共ハ決シテ外地内地ヲ差別待遇ヲシ
ヨウトカ云フヤウナコトハ、毛頭考ヘテ居
ナイノデアリマス、唯共存共榮ヲスル上ニ
付テハ如何ニスレバ宜イカト云フコトヲ念
頭ニ置イテ議論ヲ致スノデアリマスルガ故
ニ、其積リデ御聽取ヲ願ハナケレバナラヌ
ノデアリマスルガ、先ヅ内地ノ米ヲ以テ需
要供給ノ關係ハ今日ハ先ヅ權衡ガ取レテ居
ル、多少足りナイカモ知レマセヌ、足りナ
イダケノ米ハ外地カラ買入レ、バ、内地ノ
米ニ對シテノ支障ハ起ラヌト思フ、唯此場
合外地ニ出來タ米ヲドウスルカト云フコト
ガ問題ニナルノデアリマシデ、ソレハ外地
ノ希望ニ依ッテ外地ノ米ヲ政府ガ買上ゲテ
ヤレバ、外地ノ人ニ於テモ何等不安ヲ生ゼ

ズ、又心配ノ點モナイト思ヒマス、ソレダ
ケノ問題ヲ解決スレバ、内地米ノ問題ハ、
サウ別ニ買上ゲヌデモ、政府デ苦勞ヲシナ
イデモ、外地米ノ統制ヲスレバ、内地ノ米
價ハ相當保タレル、又外地ノ農民ニ對シテ
モ不安ヲ生ゼシメヌト云フコトニナリマス
ガ、動モスレバ之ヲ以テ直チニ差別待遇デ
アルトカ、或ハ外地ノ統治上支障ヲ來スト
云フ考ガ起ルノデアリマスケレドモ、斯ル
事ハ、私ハ之ヲ以テ差別待遇デアルト考ヘ
ナイシ、又外地ノ統治ノ上ニ於テ支障ハ起
ラスト思ヒマスガ、總理ハ此點ヲ如何ニ考
ヘラレマスカ

○齋藤國務大臣 ソレハ餘程ムヅカシイ問
題デアリマス、矢張詰ラナイ所カラ感情ノ疎
隔ガ起ツタリ何カシマスカラ、ソコヲ不都合
ノ起ラナイヤウニ致サナケレバナラヌト思
ヒマス、詰リ矢張外地ニ於テ餘ッタ所ノ米ヲ
政府ガ買フナリ何ナリシテ、ソコヲ保タナケ
レバナラヌト云フノガ即チ今日ノ案デアリ
マス、併シ將來ノコトニ付キマシテハ斯ノ
如キ根本ノ方針ガ定マラストイカヌノデア
リマシテ、其根本策ハ講ジナケレバナラヌ
ト云フコトヲ、先刻カラ申上ゲタヤウナ次
第デアリマス、應急ノ問題トシマシテハ此
案ヲ以テ行キタイ、斯ウ云フ考デ居リマス

○深水委員 私ハ總理ニ簡單ニ一ツ御尋シ
テ見タイト思ヒマス、東君ト高田君トノ質
問ニ對シマシテ總理ガ御答ニナリマシタコ
トハ、靜ニ此處デ拜聽致シマシタガ、私ノ
六感ニ響キマシタコトハ、洵ニ此問題ハ重
大問題デアルガ故ニ、根本的解決ヲスル爲
ニ、是非トモ臨時議會ヲ開イテヤラウト思
フト云フヤウナコトノ御見解ノヤウニ、私
ノ六感ニ響イタノデアリマス、ソコデ私ハ
非常ニ満足スルノデアリマス、其齋藤首相
ノ御決意ガ萬一行ヘナイナラバ、自分ノ進
退ヲ賭シテモヤルノダト云フダケノ御決心
ニ私ニハ矢張響イタ、サウ云フ風ニ私ハ感
ジマシタモノデアリマスカラ、ドウモアナ
タノ只今ノ御答辯ハ頗ル力ガ入ッテ居ル、又
頗ル興奮シテ居ラレタ、ドウモ實際ニ於テ
從來未ダ曾テ私ノ體驗シナイ御答辯ノヤウ
ニ感ズル、デアリマスカラ、自己ノ進退ヲ賭
シテモ必ズ諸君ノ希望ニ副フ決心デアルト
云フヤウニアナタハ思召シテ下サルト私ハ
解釋シマスガ、ソレデ宜イノデアリマスカ
○齋藤國務大臣 私ノ進退問題ト何等關係
ハゴザイマセヌ、唯此問題ノ重要ナルコト
ヲ考ヘテ、必要ガ起リマシタナラバ、此問
題ニ付テ考究シナケレバナラヌノデアリマ
スカラ、今此處ニ於テ私ガ先刻カラ申シマ

シタ通り、其事ヲ斷言スルコトハ出來マセヌ

感デアル

○深水委員 ソレカラモウ一ツハ朴君ノ質

問ニ對シテノ總理ノ御答辯ハ私非常ニ同感デアリマス、私ハ幾ラカ朝鮮ノ事情ヲ知ッテ居ルシ、朝鮮ノ諸君ノ心情モ承知シテ居ル、デアリマスカラ非常ニ御注意ニナツタ、又立

派ナ御答辯トシテ、私ハ贊成シマス、三善君モ言ハレマシタガ、朝鮮米ガ日本ニ來ル

ノヲ制限スルコト云フコトニ付テ、初メハ誰ガ言出シタコトカ、之ヲ差別待遇ト云フコ

トヲ言出シタ、此差別待遇ト云フコトヲ言出シタノガ間違デアル、決シテ差別待遇デ

ハナイ、何モ彼モ差別待遇ト云フコトヲ言フナラバ、既ニ特別會計ニナツテ居ルコトガ

差別待遇デアル、決シテ朝鮮ガ日本ノ國デハナイトカ、日本人ニ對シテ差別待遇ヲス

ルトカ、世間デ言フヤウナ意味デハナイ、ソレヲ朴君ハ失禮ナ申分デアルガ誤解ヲシ

テ居ラレルト思フ、私ノ今朝質問シマシタ通り、却テ此問題ハ内地ノ方ガ虐待サレテ

居ルノデアッテ、此案ノ通りニ致シマシタナラバ、内地ノ方ガ虐待サレル、賣言葉ニ買

言葉ノヤウナコトニナリマスガ、是ハ根本的ニ間違ッテ居ル、差別待遇デモ何デモナイ

ト云フコトノ總理ノ御辯明ハ私ハ非常ニ同

ソコデ私ガ御尋スル事ハ、拓務大臣ニモ今朝御尋ヲ致シマシタガ、マダ、農林大臣ニモ御伺シナケレバナラヌ事ガ殘ッテ居リマ

スガ、先ヅ朝鮮ノ問題カラ申シマス、二千萬ノ朝鮮ノ住民ガ、殆ド其四割位ノモノ

ガ米ヲ食ハズニ居ル、ドウシテ米ヲ食ハセ

ルカト云フ問題ガ茲ニ出テ來ナケレバナラヌ、是ハ拓務大臣バカリデハナイ、總理大

臣ニ對シテモ伺ハナケレバナラヌ重大ナ問題デアル、其四割ノ米ヲ食ハナイ者ニ米ヲ

食ハセルト云フ根本義カラ割出シテ見テ、矢張此米ヲ餘リ内地ニ持ッテ來テハ、朝鮮ノ

人ノ口ニハ入ラナイ、詰リ一面カラ申シマスト、唯米價ヲ吊上ゲルト云フコトガ、決

シテ農民ナリ一般社會ヲ救フ所以デハナクシテ、米ハ安クテモ生産費ニ利潤サヘ出來

レバ満足スベキモノデアル、米ノ價格ヲ吊上ゲルト云フコトハ、決シテ生産者モ満足

シナイガ、消費者ハ更ニ困ル、其點カラ申シマシテモ朝鮮ニハ四割米ヲ食ハナイ者

ガ居ルカラ、ソレ等ノ者ニ米ヲ食ハセルト云フ大方針カラ推シテ見テモ、是モ政策ノ

一ツニ加ヘテ、矢張米ノ制限ト云フコトヲ考ヘナクテハナラヌト思フガ、總理ハ如何ニ思ハレルカ

○齋藤國務大臣 御説ノ通りデアリマシ

テ、矢張米ヲ食フ人モ、米ノ消費量モ段々殖エテ居ルサウデアリマス、併ナガラ御話

ノヤウニ粟ヲ食ッテ米ヲ賣ッテ居ルト云フ部

分ガ大分アルト云フコトハ、是ハ決シテ褒メタコトデハナイノデアリマスカラ、總督

府ニ於テモ此事ハ能ク考ヘテ居ルノデアリマス、成ベク食ヘル程度ノ者ハ米ヲ食フヤ

ウニナル方ガ宜イト云フコトハ考ヘテヤッテ居ルト思ヒマス

○胎中委員長 河野一郎君

○河野委員 總理大臣ニ御尋致シマス、私ハ他ノ大臣ニモ澤山質問ガアルノデアリマ

スガ、今日ハ質問ノ順序上、總理ニ御尋致シマス、總理大臣ハ昨午米穀統制法ヲ衆議

院ガ審議致シマス際ニ、附帶決議ヲ附ケテアリマスガ、其附帶決議ヲ御存ジデアリマ

スカドウカ

○齋藤國務大臣 アッタコトハ覺エテ居リマスガ、今茲ニ文句ハ申上ゲ兼ネマス

○河野委員 アッタコトヲ御存ジナラバ、其附帶決議ニ付テ農林拓務兩大臣ヨリ御相談

ヲ受ケタコトガアリマスガ、乃至ハ其附帶決議ニ付テ御考慮ニナツタコトガアリマスカドウカ

農林省ニ於テ折角其通りノ精神ヲ以テヤッ

テ居ルノデアリマス、私ガ其事ニ與ッテドウシテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、委

員會ニ私ガ臨ミマス位ノコトデ、親シク其事務ニ携ッテ居リマセヌカラ、其事ハドウゾ御諒承願ヒマス

○河野委員 其附帶決議ハ順次申上ゲマスガ、非常ニ今回ノ法案ニ關係ノアルコトデアリマシテ、其附帶決議ニ對シテ現内閣ガ

如何ナル態度ヲ御執リニナツタカト云フコトガ根本ノ問題ニナツテ來ル、其附帶決議ニ

付テ、此院議ヲ現内閣ハ如何ニ尊重ナスッカドウカト云フ點ニ係ッテ來ルノデアリマ

ス、總理大臣ハ此附帶決議ニ付テ農林拓務兩大臣ヨリ御相談ヲ受ケタコトガアルカド

ウカ、其附帶決議ニ付テ何等カノ施設ヲナスツタカドウカト云フコトヲ御伺シテ居ル

ノデアリマス

○齋藤國務大臣 兩相共ニ主務ニ關シタコトニ付キマシテハ、勿論ヤッテ居ルニ違ヒナ

イノデアリマス、私ガ其事ニ付テ携ッテ居ラスト云フダケノコトデアリマシテ、兩相共

ニ熱心ニ其事ヲ交渉シテヤッテ居ルニ違ヒナイノデアリマス

○河野委員 兩大臣モ御臨席デスカラ伺ヒマスガ、兩大臣ハ此附帶決議ニ付テ御考慮

ニナツタカ、乃至其附帶決議ニ對シテ具體的ニ御研究ヲナスツカ、具體的ニ御現シナスツカドウカ御尋致シマス、兩大臣カラ銘銘御答辯願ヒマス

○後藤國務大臣 今總理ニ御尋ガアリマシタガ、實ハ附帶決議ノ内容ヲ仰シヤッテ戴クト、モット話ガハッキリシテ宜カッタと思ヒマスガ、御話ノ附帶決議ト言ハレマスノハ、生産費ノ問題等ニ付テ色々考慮ヲセヨト云フコトガアリマシタ、ソレカラ臺灣米ノ統制ニ付テ更ニ考ヘロー——文句ハ私シカリ覺エテ居リマセヌガ、サウ云フヤウナ事デアッタと思ヒマス、生産費ノ建方等ノ問題ニ付テハ、是ハ主トシテ内地ノ米穀統制法ノ運用ニ關シテ居ル問題デアリマシテ、吾々ノ方デ昨年來統制法運用ノ際ニ當リマシテ考慮致シタ點デアリマス、總理ナドニモ申上ゲタコトガアリマス

ソレカラ臺灣米ノ統制ト云フヤウナ問題ガ其次ニアリマシタ、之ニ付テハ昨年ノ秋、豐作ガ豫想サレル前後ノ頃カラ、拓務省ノ當局、朝鮮總督府ノ當局等ト色々點ニ付テ攻究モ致シマシタ、穀ノ貯藏ノ如キモ其協議ノ結果成案トシテ生レタモノデアリマス、ソレカラ更ニ進ンデ、色々ノ事柄ヲドウ云フ風ナ工合ニスルカト云フコトニ付テ

モ、拓務大臣トモ御協議シタコトガアリマスシ、總理モ見エタコトモアリマス、併シ之ニ付テハ更ニ進ンダ成案ヲ得ルト云フマデニ至ッテ居リマセヌ、今回議會ニ於テ色々御話ガ出マスシ、又内地ノ米ノ收穫豫想ガ更ニ實收調査トナリマシテ、非常ニ多量ナモノガ茲ニ現レテ參リマシタヤウナコトカラ、吾々ニ於テモ更ニ進ンダ方法ヲ何カ考ヘナケレバナラヌデヤナカト云フヤウナコトニナリマシテ、色々攻究ヲ致シテ居リマス際ニ、議會ノ方デモ色々其話ガ出タヤウナ結果デアリマシテ、種々攻究ノ結果ガ、取敢ヘズ今回ノ差當リノ政策ヲ立テ、御協賛願フデ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレ等ノコトハ能ク總理トモ御相談致シタコトナンデアリマス

○永井國務大臣 農林大臣カラ御答申上ゲタ通りデアリマス

○河野委員 農林大臣ガ只今御答ニナリマシタガ、即チ外地米ト申シマスカ、昨年ノ委員會ニ於テハ、是等ノ外地米ノ統制ニ對シテ根本策ヲ樹立スベシト云フコトガ附帶決議ニ附イテ居ル、所ガ政府ハ、只今農林大臣カラ御答辯ニナリマシタガ、此附帶決議ヲドウ云フ風ニ御取扱ニナツタカ知ラヌガ、穀ノ貯藏ハ是ハ根本對策デハアリマセヌ、政府ハ決シテ穀ノ貯藏ニ根本對策ト云フ字ヲ御使ヒニナツタコトハ一遍モナイ、所ガ根本對策ヲ作ル必要ガアルカラ、調査會ヲ是カラ開イテオヤリナリ、取敢ヘズ一年間ノ短期ノ立法ヲ此議會ニ提案ニナツタ云フコトニ付テハ、衆議院ニ於キマシテハ、昨年既ニ此必要ヲ感ジマシテ、附帶決議ヲ附ケタノデス、昨日來繰返シテ居リマスル此質問應答ヲ伺ッテ居リマシテ、昨年ノ委員會ノ速記録ヲ讀ミマス、永井拓務大臣ノ答辯ノ如キハ、昨年ノ委員會ノ速記録ノ答辯ヲ一步モ出ナイ、既ニ吾々ハ此外地米ニ對スル根本的ノ對策ヲ立テルコトガ必要デアル、統制ナリ、管理ナリ、適當ノ案ヲ立テルコトガ必要デアルト云フコトヲ、昨年ニ於テ吾々ハ豫想致シマシテ、政府ニ執拗ク迫ツタ、所ガ政府ノ方デ、直グハ出來ヌカラ、研究スルカラ暫ク待ッテ呉レト云フヤウナ昨年ノ答辯デアッタ、ソコデ附帶決議トシテ、根本對策ヲ樹立スベシト云フコトヲ附ケタ、所ガ政府ハ、此一年間ニ於テ何ヲシテ御出デニナツタカ知ラヌガ、色々研究ヲ致シタカ決マラナカッタト云フコトデアルカ知ラヌガ、今日ニナツテモ矢張去年御答辯ニナツタコト、同ジヤウナコトヲ御答辯ニナツテ、今度ハ本當ニ委員會ヲ作ッテヤ

ルカラ來年マデ待ッテ呉レト云フコトニナルト、餘リニ——是ハ先程東サン竝ニ高田サンカラ御話ニナリマシタカラ諄クハ申シマセヌガ、既ニサウ云フ経緯ヲ經テ來テ、今一箇月等閑リニスレバ、國家ハ一箇月ノ損ヲスル、同時ニ全農民モ損ヲスル、非常ニ國民ハ此爲ニ迷惑スル、吾々衆議院ニ於テハ院議ヲ以テ附帶決議ヲ一年モ前ニ附ケタモノヲ、今日ニ至ッテモ尙ホ、去年才前等ハサウ言ツタガ、政府ハ是カラ調査スルカラ一年間待ッテ呉レナドト云フコトハ、此附帶決議ガ頭ノ中ニ侵込シテ居レバ、衆議院ノ院議ヲ尊重シテ居レバ、決シテサウ云フコトハ言ヘナイト思フ、少クトモ總理大臣ヨリ、一年間色々農林大臣、拓務大臣トモ協議シタガ出來ナカッタノハ遺憾デアル、併シ今度ハ臨時議會デモ開イテヤルカラト云フヤウナ御答辯デモアルナラ、吾々ハ強ヒテソレニモ彼此レ言フ者デハナイガ、唯モウ一年待ッテ呉レト云フヤウナ同ジヤウナコトヲ言ハレルノデハ吾々ハモウ斷ジテ待テヌノデアリマス、吾々ハ唯徒ニ言葉ヲ強クシテ總理大臣ヲ責立テルモノデハナイ、色色ハムヅカシイ問題デアリマシテ、永年掛ツタガ解決シナイ問題デアリマス、是ハ他ノ委員カラモ申サレタ通りデアリマス、併

ルカラ來年マデ待ッテ呉レト云フコトニナルト、餘リニ——是ハ先程東サン竝ニ高田サンカラ御話ニナリマシタカラ諄クハ申シマセヌガ、既ニサウ云フ経緯ヲ經テ來テ、今一箇月等閑リニスレバ、國家ハ一箇月ノ損ヲスル、同時ニ全農民モ損ヲスル、非常ニ國民ハ此爲ニ迷惑スル、吾々衆議院ニ於テハ院議ヲ以テ附帶決議ヲ一年モ前ニ附ケタモノヲ、今日ニ至ッテモ尙ホ、去年才前等ハサウ言ツタガ、政府ハ是カラ調査スルカラ一年間待ッテ呉レナドト云フコトハ、此附帶決議ガ頭ノ中ニ侵込シテ居レバ、衆議院ノ院議ヲ尊重シテ居レバ、決シテサウ云フコトハ言ヘナイト思フ、少クトモ總理大臣ヨリ、一年間色々農林大臣、拓務大臣トモ協議シタガ出來ナカッタノハ遺憾デアル、併シ今度ハ臨時議會デモ開イテヤルカラト云フヤウナ御答辯デモアルナラ、吾々ハ強ヒテソレニモ彼此レ言フ者デハナイガ、唯モウ一年待ッテ呉レト云フヤウナ同ジヤウナコトヲ言ハレルノデハ吾々ハモウ斷ジテ待テヌノデアリマス、吾々ハ唯徒ニ言葉ヲ強クシテ總理大臣ヲ責立テルモノデハナイ、色色ハムヅカシイ問題デアリマシテ、永年掛ツタガ解決シナイ問題デアリマス、是ハ他ノ委員カラモ申サレタ通りデアリマス、併

ナガラ是ハ、今ノアナタノ内閣ノヤウナ場
合ニヤルノガ一番宜イ、政黨内閣デ、政民
ガ互ニ朝野ニ岐レテ居ル場合ニハ、却テ色
色ナ誤解ヲ生ムヤウナ質問ガ出タリ、色々
ナ面倒ナ質問モ出タリシマスカラ、私共眞
剣ニ此問題ヲ考ヘマス場合ニ、現内閣ノヤ
ウナ場合ニ御解決ニナルコトガ一番適當デ
アルト云フコトヲ、吾々ハ深ク信ズルノデ
アリマス、デアリマスルカラ總理大臣ハ、吾
吾ガ既ニ昨年カラ此問題ニ付テ考ヘテ居ッ
タ、其院議ヲ御尊重ニナリマシテ、一年間
待テト云フヤウナコトヲ仰シヤラズニ、此
機會ニ私ハ先程ノ高田サンノ御質問ヲ、更
ニ此處デ進ンデ局限致シマシテ、此委員會
ノ終リマスマデニ、總理ハ閣議ヲ御開キニ
ナッテ、臨時議會ヲ御開キニナルカナラヌカ
ト云フ御答辯ヲ私ハ願ヒタイト思フ、考慮
スルトカ、何レ相談スルトカ、閣議ガ決ッテ
居ラヌカラハッキリシタコトハ言ヘヌト云
フ御答辯デハ吾々ハ不満足デアリマス、此
委員會ノ終了マデニ閣議ヲ開イテ、臨時議
會ヲ開イテヤルカヤラヌカト云フ、御答辯
ノ如何ニ依ッテハ、吾々ノ本案ニ對スル態度
ガ違ヒマスカラ、誠意アル御答辯アランコ
トヲ御願シマシテ、總理大臣ニ對スル質問
ハ是デ終リマス

○齋藤國務大臣 今河野君ノ御話ハ、能ク
分リマシタカラ、何レ後カラ……

○胎中委員長 別ニ總理大臣ニ對スル質問
ノ通告ハアリマセヌカラ、本日ハ此程度ニ
於テ散會シ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シ
マス

午後五時三十一分散會

昭和九年三月十六日印刷

昭和九年三月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社